令和５・６・７年度　新座市教育委員会委嘱研究

研究紀要

令和６年度（２年次）

確かな学力を育てる

～子供たちも楽しい！教師も楽しい！生活・総合の授業づくり～

新座市立栄小学校

令和７年３月

令和６年度　（　新座市立栄小学校　）　校内研修

月　日	実施事業	テーマ 担当	付記（開催場所・人員・具体的な 事業内容）	備考
４月３日	研究検討		職員室・３名・校内研究について	
４月１１日	研究推進委員会	栄小学校グランドデザインについて	図書室・１０名・研修の回数確認・研究体制の確認・副題の“子供たちも教師も楽しい！”からビジョンの検討	
４月１５日	校内研修	副題の“子供たちも教師も楽しい！”について	職員室・２２名・校内研究について、副題の“子供たちも教師も楽しい！”についてそれぞれの視点から ブロックごとの検討	
５月２日	研究推進委員会	校内研究について	図書室・１０名・研究授業の日程などの確認、１学期の計画について、 指導案の型についての検討、協議方法	
５月１３日	校内研修	総合的な学習の授業とは？	図書室・２２名・教頭先生から総合の授業に関する講義	
５月２３日	校内研修	授業準備	図書室・２２名・学年やブロックごとに 校内研究の授業準備	
５月２７日	研究推進委員会	校内研究 指導案の型 検討	図書室・１０名・校内研究で使う 指導案の型について検討する	
６月３日	校内研修	授業準備と評価規準の検討	図書室・２２名・学年やブロックごとに校内研究の授業準備、評価規準の文例作成	
６月１０日	校内研修	授業準備と評価規準の検討	図書室・２２名・学年やブロックごとに校内研究の授業準備、評価規準の文例作成	
６月２０日	研究推進委員会	夏季休業中研修計画について、中学年ブロックの校内研究について	図書室・１０名・　夏季研修でやってみたいことや聞いてみたいことなどの話し合い、 校内研修(中学年)の役割分担と中学年から柱の発表	
６月２４日	校内研修	授業準備と	職員室・２２名・中学年→校内研修の授業準備、個別と低・高学年→年間指導計画や配列	

		年計の作成	表の作成	
7月4日	研究推進委員会	夏季休業中研修計画について	図書室・１０名・夏季休業中研修計画について	
7月8日	研究授業		３年１組　栄(地域)に関する授業	
8月２６日	校内研修	夏季研修	図書室・２２名・ストーリーの作成	
１１月１１日	校内研修	司会→飯坂 記録→門脇	職員室・２２名 活動の流れと単元計画・評価計画の作成	
１１月１８日	研究推進委員会	司会→門脇 記録→福島	図書室・１０名 活動の流れと単元計画・評価計画の作成	
１２月２日	校内研修	司会→花岡 記録→飯坂	職員室・２２名 活動の流れと単元計画・評価計画の作成 実践のまとめの作成	
１２月１９日	校内研修	司会→門脇 記録→奥澤	職員室・２２名 ３学期の授業の計画 授業の準備	
1月9日	研究推進委員会	司会→門脇 記録→齋藤	図書室・１０名・ １・５年 校内研修授業の構想について	
1月１０日	校内研修	司会→奥澤 記録→梅村	図書室・２２名 １・５年校内研修授業の構想について (3学期の単元の指導計画・評価計画の作成)	
1月２０日	校内研修	司会・記録 各部会ごと	図書室・２２名・南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問	
2月3日	研究推進委員会	司会→門脇 記録→來嶋	図書室・１０名 校内研究授業(低・高学年)の役割分担	
2月１０日	研究授業	司会 奥澤(低) 來嶋(高) 記録・写真	低・高学年	

		飯坂、浅原(低) 梅村、福島(高)		
２月２０日	研究推進 委員会	司会→門脇 記録→飯坂	図書室・１０名・ 単元配列表見直し 単元計画・評価計画の作成	
３月３日	校内研修	司会→梅村 記録→福島	図書室・２２名・ 単元配列表と 単元計画・評価計画の最終確認	
３月１０日	研究推進 委員会	司会→門脇 記録→花岡	図書室・１０名・研究紀要の確認 各学年の成果と課題について	
３月１７日	校内研修	司会→福島 記録→齋藤	職員室・２２名・次年度に向けて	

○実践のまとめについて

【昨年度の振り返りから】

2023 年度の研究の副題「自ら学びに向かう児童の育成」と設定し、各ブロックの目指す子供の姿と教職員、地域それぞれから涵養できることを設定し、研究を進めてきた。年度末の振り返りを通して、次のような成果（○）と課題（●）が見えてきた。

○総合と生活科「やってみたい！」に変容した。
○教科横断的に組み合わせてできたり、既習事項を生かしたりすることができた。
○スライドだけではなく、劇をしたり、物作りをしたりなどやれる範囲の方法でできた。
○教員がいい意味で力を抜いてできた。(子供達がやる所と教師がやる所)
○子供達の協働性が発揮できていた。
○実践型・体験型の授業ができた。
○まとめ・表現の方法の幅が広がった。
○主体的にするに目をつけてやれてよかった。
○子供達の生き生きとする姿が見られた。
○年間指導計画ができた。子供達の学びがよりよくなった。
○教師の発揮できる幅が広がった。

●子供の願いに沿ってやっていきたい。
●興味付け、もっと調べたいのしかけをもっともてるとよい。
●生活科の方も様々な意見をいただきたい。
●実態に寄り添った授業をしていきたい。
●内容を深めるための教師側の言葉がけなど手札の数(仕掛け)を増やしていきたい。
●導線が取り切れているか分からない。
●子供達の方法が固執されていた。(様々な方法があるが・・・)
●カリキュラム・マネジメントをしながら、発展できるとよい。

A　本年度の取り組み

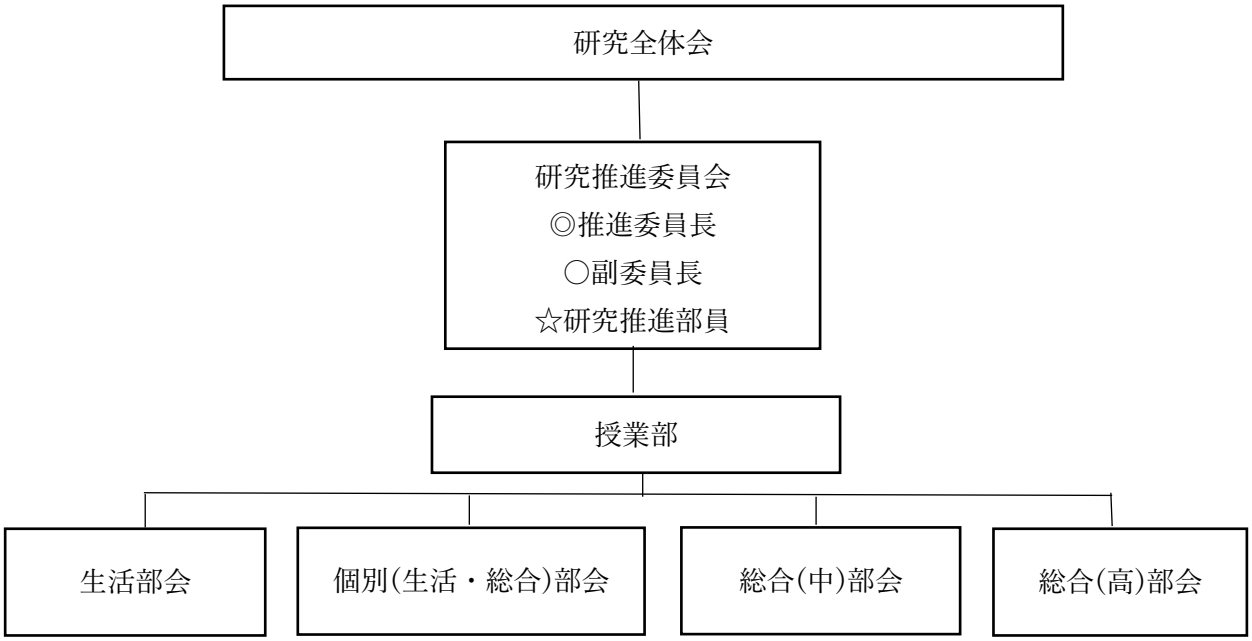
（1）　研究の概要

① 研究テーマとテーマ設定の理由

「確かな学力を育てる～子供たちも楽しい！教師も楽しい！生活・総合の授業づくり～」とは

子供たちが学びの主体者として、「～したい！」「～してみたい！」という思いと「楽しそう！」という気持ちをもって探究していくことこそが主題である「確かな学力」の結節点になる。変化の激しい時代において、目睫にある問題に目を向けて課題をもつ力を付けるためには生活科や総合的な学習の時間の力は必要不可欠である。次年度に向けて、まずは子供たちが気持ちの面で生活科や総合的な学習の時間は楽しい授業という意識をもち、行動を起点としながら夢中になって解決に向かって進められるように、教師がどのような取り組みをしていけばよいのか明らかにしていく。

② 研究組織



・低、中、高、個別の４つのブロックに分かれて行う。

低学年部会・・・◎門脇、根岸、黒瀧、☆稲葉、☆奥澤、浅原、植松

中学年部会・・・☆梅村、柴﨑、岸本、☆福島、☆花岡、廣瀬

高学年部会・・・林、☆齋藤、☆來嶋、須田、○野末

個別(総合)部会・・・櫻内、☆飯坂、教頭

③ 研究内容

研究主題に示した「確かな学力を育てる」の具現化に向けて、「単元配列表の見直し、活動の流れ、単元構想・単元の指導計画・評価計画、授業実践」という段階で研究に取り組む。その過程を通して、確かな学力を身に付けながら、目指す子供の姿に迫っていく。本校では、生活科・総合的な学習の時間の研究２年目ということもあり、発想から授業実践までの過程の手筈を丁寧に踏みながら且つ本校の子供たちや教職員の実態等を分析しながら実践に反映させてこそ意味のあるものとなる。その現状から、研究内容については、実践の拠り所となる学習指導要領の項目に沿って整理していく。

【研究構造図】

学校教育目標

確かな学力を育て、豊かな人間性を培う

○自分が好き　○なかまが好き　○栄が好き

～ウェルビーイングを実現し、児童・保護者・地域に信頼される学校づくりの推進～

生活科の目標

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次の通りに育成することを目指す。

1　活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。【知識及び技能の基礎】

2　身近な人々、社会及び自然を自分の関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。【思考力、判断力、表現力等の基礎】

3　身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

総合的な学習の時間の目標

自分と地域の人・もの・こととの関わりについて、探究活動を通して、総合的に追究する方法を身に付け、そこにある課題を主体的に見出し、仲間と協力して問題解決するとともに、自己のあり方や生き方を見つけようとする態度を育てる。

1　探究的な学習過程において、これまでに身に付けた資質・能力を生かしながら、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。【知識及び技能】

2　実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、様々な方法で集めた情報を整理・分析し、各教科で身に付けた資質・能力を生かしてまとめ・表現することができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

3　探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自分や仲間のよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

「確かな学力を育てる～子供たちも楽しい！教師も楽しい！生活・総合の授業づくり～」

【生活科・総合的な学習の時間で目指す子供の姿】

・**行動や実践から始まり、自分で課題をもつ子**（入口を子供たちを中心に置いて決める）

・**自分の課題に夢中になって解決に向かう子**（過程を思いっきり楽しむ）

・**次の(生活、総合の)授業いつやるの？という子**（その続きもわくわくする）

① 単元配列表の見直し

昨年度に作成した単元配列表の繋がりを４月に確認し、教科横断的な視点でも検討した。

②単元構想

材を設定し、その意義について学年で共通理解を図りながら、それぞれの学級の子供の思い・願いに沿って課題の設定を行い、単元を構想していく。

③小単元構想

活動の流れ、単元の指導計画・評価計画の作成

小単元ごとに課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現のスパイラルを基に内容を具体的に練っていった。目指す子供のビジョン実現に向けて、子供の思考を想定しながら進めた。

④授業の実践

小単元ごとに立てた課題の実現するために、その都度、子供たちの姿を見取りながら手立てを考え１時間１時間の授業に取り組む。

④ 今年度の校内での取り組み

（1）風土作り

生活科・総合的な学習の時間の時間割の作成…職員室の出入口に掲示し、先生方が気軽に授業を見られるように作成した。

	月	火	水	木	金
1				4の1	
2			4の2	2の2 4の2 6の2(A週)	
3			2の2 5の1 6の2(B･C週)		4の1
4	1の2		5の2 2の1		1の1 2の1 2の2
5	3の1 3の2 6の1 6の2	1の1 1の2	1の1	1の2 3の2 5の2	3の1
6		5の1 6の1	メイプル1 メイプル2		

数分でものぞいてみませんか？

1～2年生：生活科　　3～6年生、メイプル：総合

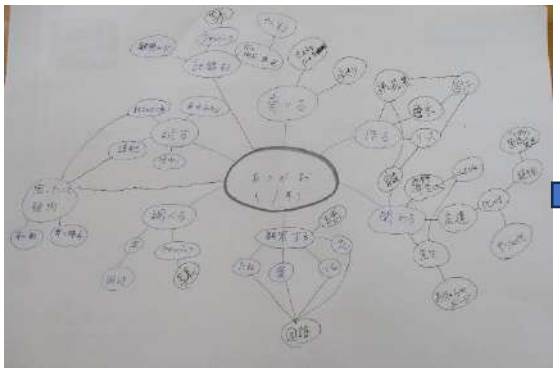
（２）研究推進だよりの発行…情報提供や他のクラスの授業の様子を共有するために月に１～２回発行した。

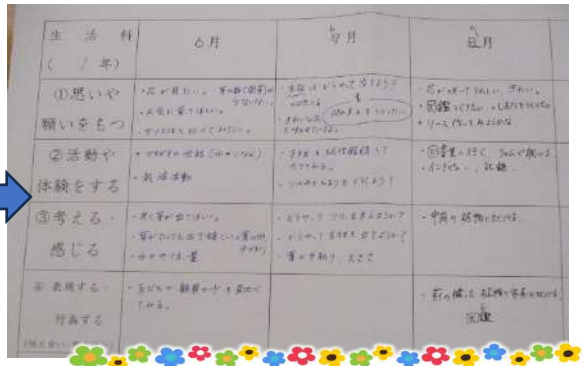
Sakaeロード

新座市立栄小学校
研究推進だより第４号
２０２４年５月２９日

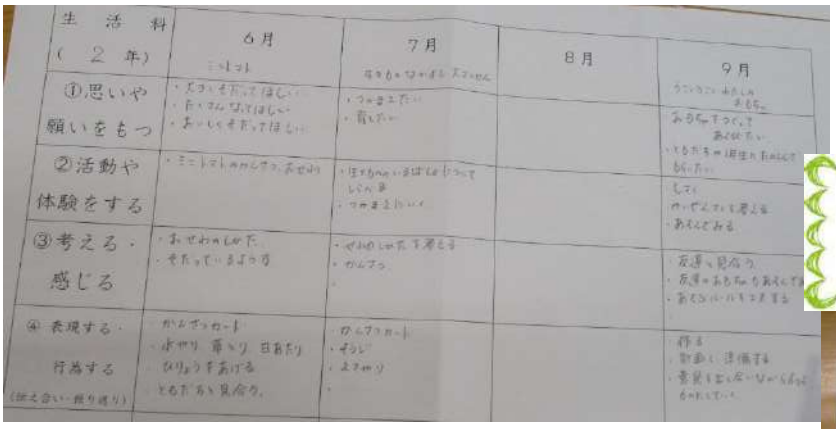
立てると見えてくる　各学年の生活・総合の眺め

５月２３日(木)の校内研修では、各学年に分かれて今後の計画を練り合いました。記録写真は下に載せた通りです。(詳しくは→ドライブ→08 研推→令和６年度：学校課題研修資料→校内研修　記録用→令和６年度 第３回 校内研修全体会)

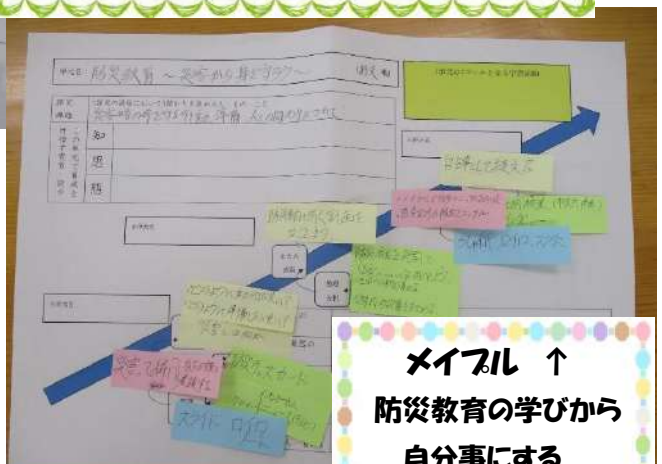




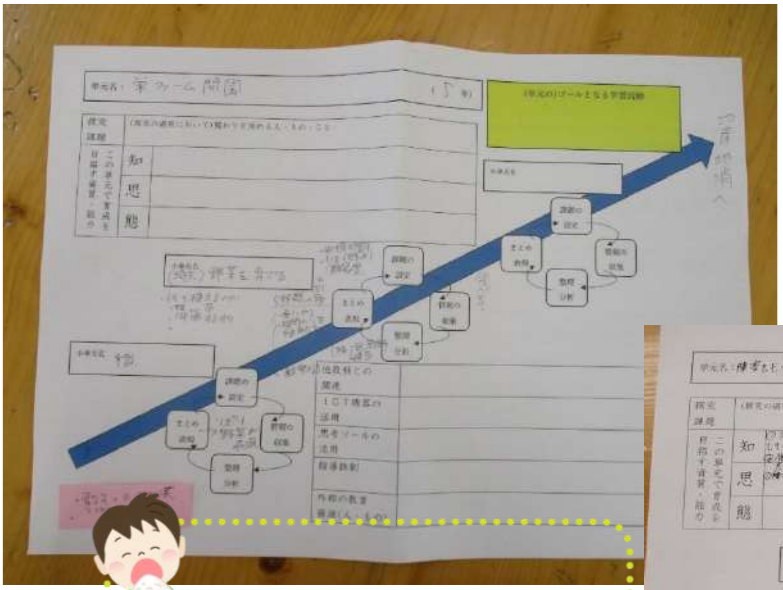
１年生 ↑
あさがおについて広げました

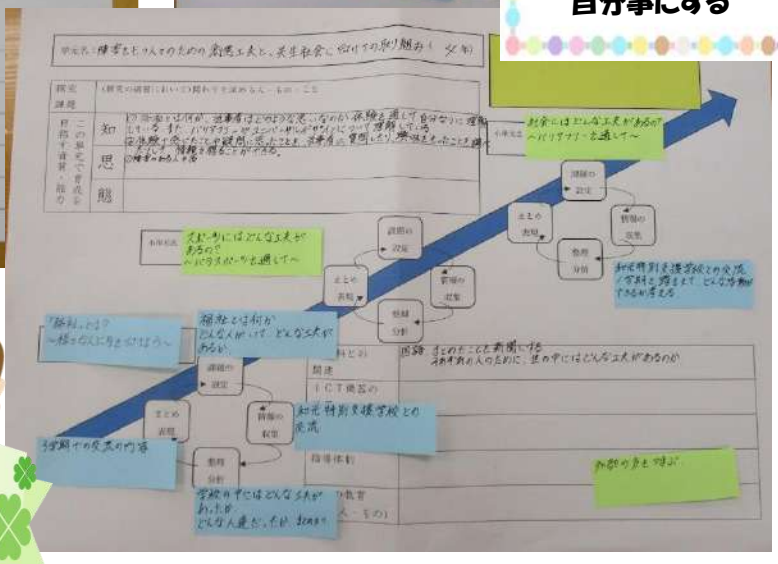


2年生
←栽培・飼育の単元についての計画



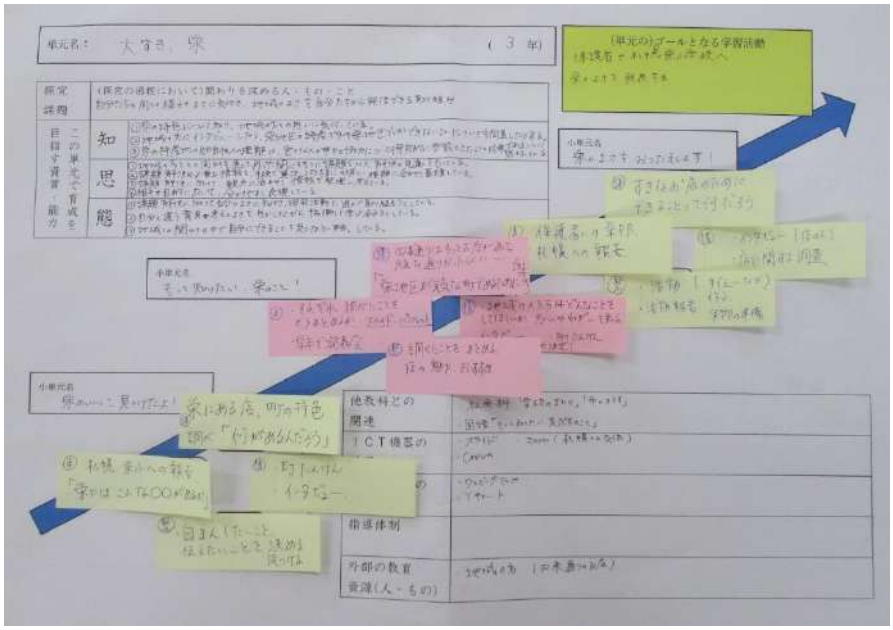
メイプル ↑
防災教育の学びから
自分事にする





5年生 ↑
栄ファーム開園から地産地消へ

4年生 →
福祉を通して…共生社会へ



3年　総合　「大すき、栄」！！

５月２４日(金)の５時間目に３年１組へ授業を観に行きました。２年生の頃に行った町探検を振り返りつつ、３年生の総合で行う「地域」に繋げていました。

クロムブックを使って**個人で地図作り**をしたり、模造紙の**地図にシールを(赤→お店、青→みんなが使う場所、黄→会社と分類しながら)貼って全体で共有**し合ったりしていました。梅村先生は、「**行きたいところのある人は書いてね！**」と**子供たちの思いを汲む声がけ**をされていました。その後、子供たちが黒板に集まってきて三・四条通り、一・二条通り、市場坂通りと書いてある紙にそれぞれ記入をしていました。３年生は身近な地域ということで、まだまだ…知らない栄の新たな発見や秘密(栄にはお宝が眠っているかも⁉)が出てきそうで子供たちもわくわくしているように感じられました。(因みに…栄小に赴任してきて３年目の私も楽しみです！３年生の子供たちからも色々教えてもらいます！)

（3)研究推進委員会による毎月の振り返り・・・学年の進捗状況を相互共有するために行った。

	研究推進委員会
1　各学年の生活科・総合的な学習の時間の授業全体の様子(進捗状況や困っていること等)	
1年	あさがおの栽培活動を継続している。夏休み中の記録も入れて、種から種までしっかり観察させる予定である。あさがお大図鑑作成とあさがお祭り（2学期開催予定）をする計画で進めている。他の植物も植えていることから、関心を途切らせないような学びを考えていきたい。
2年	野菜の世話をよくやっていた。大きくなってきた野菜を支柱で止めたり、さつまいものつるをかえしたりと、野菜の成長に合わせて世話の方法を考えていた。収穫することができた野菜と育たなかった野菜があり、野菜によっての違いを感じることができた。
3年	動画撮影を行う中で、2クラスとも内容を改善しながら取り組み、動画を完成させることができた。2 学期に向けて新たな課題を見つけ、1 学期に不十分であった整理・分析の部分を丁寧に行えるよう、夏休み中の研修時間を活用し準備をしていきたい。
4年	特別支援学校とは何か、自分たちで課題をもって取り組むことができた。 車いすにのってみたい、パラリンピック競技をやってみたい、特別支援学校の先生にインタビューしてみたい、実際に特別支援学校に行ってみたい、など、2学期につながるような言葉が沢山見られた。
5年	育てたい野菜を見つけた。稲の育て方を引き続き調べて育てた。2学期も引き続き愛着をもって育てられるようにしていく。
6年	保護者や、栄地区のお店にインタビューをすることで、子供たちなりに「働く」とはどういうことか、自分の考えをもつことができた。2学期には、もっと自分の興味のある職業について調べたい、職業図鑑を作りたいなど、子供たちの声もあったのでそこから2学期の授業を考えていきたい。
メイプル	7 月に総合を行うことができなかった。9 月に子どもたちと一緒に防災館に行く計画を立てる予定でいる。

⑤ 学力向上の取り組み

本校の課題としては、学力が二極化しており、中位と低位の児童の学力が伸び悩んでいる・受け身が当たり前になっている児童が多い・言われたことは一生懸命取り組めるが、決められたこと以上はしてはいけないと思い込んでいる児童が多いということが挙げられている。このことから、生活科・総合的な学習を通して、児童の主体性を伸ばす授業、児童が追究し、考える力をはぐくむ授業の実践をしてきた。まず、授業の発想・構想の段階で児童も教師も「たのしい」と感じる授業計画の立案をした。全体のストーリーを学年ごとにラフスケッチとして描き、生活科においては①願いや思いをもつ→②活動・行為する→③感じる・考える→④まとめる・伝え合う、総合的な学習の時間においては①課題設定→②情報収集→③整理・分析→④まとめ・表現というスパイラルを基に授業の流れが円滑に進むか、小単元のつなぎ目が右肩上がりに結び付いているかを検討しながら進めた。また、小単元の計画を立てる中で、1 時間 1 時間が子供たちにとって達成感や充実感を感じられる授業を展開するようにした。さらに、授業の中で児童が追究したくなる仕掛けと、追究の奨励及び集団で学び合う中で個性を磨き、思考を深め、学習方略・技能を習得させることを目指しながら日々の実践として形作っていった。子供たちは生活科・総合的な学習の時間のみならず、他教科で学習してきた既習事項も活用・発揮しながら双方向に授業をつくるよさや友達と意見を出し合って練り合うよさを感じ取っていたように思う。

⑥　校内研修・授業での取り組みと成果

（指導案・研究協議・指導者講評）

低学年部

第１学年１組　生活科学習指導案

令和６年２月１０日（月）　第５校時
男子９名　女子１０名　計１９名
指導者　教諭　門脇　ちひろ
場所　１年１組教室

１　単元名　「もうすぐ　２ねんせい」
～２年星（せい）にむかって、エイエイオー！～

２　単元について

(１)第１学年グランドデザイン

校内研究のテーマ　**確かな学力を育てる**

～子供たちも楽しい！教師も楽しい！生活・総合の授業づくり～

教師の願いと授業の手立て

この単元を通して、小学校に入学してから「自分でできるようになったことが増えたな！」「成長したな！」と実感し自信をもって生活してほしいと思っている。このことから、小単元１では、図画工作の「せんせい　あのね」や国語の「いいことといっぱい　一年生」、道徳の「あなたって　どんなひと」の学習と関連させることで、１年間の学習を振り返って友達に伝え合いながら自分の成長を実感してほしい。小単元２では、身近な友達と関わる活動を重ねていくことでよさや違いに気付いたり、お世話になった人や場所について考える中で何ができるのかアイデアを交流したりすることで、創り出し表現する力を付けてほしい。小単元３・小単元４では感謝を伝えることで、自分のよさや可能性を認識し、意欲と自信をもって生活しようとする態度を育てていきたい。

本校の研究テーマである楽しいという気持ちを掻き立てられるよう、手立てとして、ウェビングなどシンキングツールや付箋、マークを活用することで掲示や板書をして可視化したり、他教科との繋がりを意識させながら意欲喚起をしたり、問いかけや価値付けをすることで思考を広げ深めたり、気付きやアイデアなどの交流が活発に行える場の設定をしたりしていく。

児童の実態・思い

本学級の児童は、教科の中でも特に生活科の学習に意欲的である。これまでの生活科の学習では、学校探検で地図作り、あさがおの栽培では大図鑑づくりとあさがお祭り、水遊びで川づくり、秋の自然物でどんぐりごまや楽器づくり、自分ができることで家族をハッピーに大作戦をしてきた。授業の中では、他教科や園での経験と繋げて新しい事を生み出したり、友達と話し合い教え合いながら協働して取り組んだりするようになってきた。生活している中で、できることも多くなってきて「こうやってやるといいよ。」「こうするといいんじゃないかな。」という多様な意見も出てきている。しかし、見通しをもって行うことができず、後半になって慌てることが課題となっている。また、グループ活動を好んで行っているものの、意見が食い違うと折り合いをつけるのに時間がかかる。

２学期の国語の「てがみでつたえよう」では、家族や親戚、担任に「じてん車にのれるようになったので、見てほしいです。」や「かん字がかけるようになりました。」などできるようになったことを書いている児童が多数だった。また、１２月に行った「じぶんでできるよ発表会」では、動画や実演で自分が家族をハッピーにできたことをうれしそうに発表していた。これより、自分が成長したことを相手に伝えたいという思いの強い児童が多いことが分かる。

子供たちは、身近な友達・家族・先生方、自然・生き物、動的なことに関心が高い。

教材観
（その教材で学べること）

本単元は、学習内容(８)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動、（９）自分自身の生活や成長を振り返る活動である。自分から友達、周囲の人達へと段階的に活動を取り入れることで自分の成長を自覚したり、周囲の人々の支えや場所に対して感謝の気持ちをもって意欲的に生活したりすることができる教材である。４つの小単元構成となるが、「たのしかった！できるようになった！ことをふりかえろう」では、１年間の生活を振り返りながら、自分がレベルアップしたことやパワーアップしたことを友達と伝え合う。付箋に書き出して分類したり、整理したりすることで、自分が成長したことに気付かせたい。「おせわになった人や場所について考えよう」では、自分の成長には家族や先生方などの支えがあることに気付き、何ができるか考えてアイデアを交流し合う。既習事項などを生かしつつ、感謝の気持ちを多様な形で表現できるようにしていきたい。「家族にありがとうを伝えよう」では、保護者へ感謝の気持ちを伝える場の設定を想定している。感謝の気持ちを伝えることで、夢や希望をもって前向きに生活をしていこうという原動力にもなる。「教室にありがとうをこめよう」では、お世話になった教室に感謝をすると共に新入生を迎える準備をし、進級への期待感を膨らませていきたい。

（２）本校の目指す児童像

・**行動や実践から始まり、自分で課題をもつ子**（入口を子供たちを中心に置いて決める）
・**自分の課題に夢中になって解決に向かう子**（過程を思いっきり楽しむ）
・**次の(生活、総合の)授業いつやるの？という子**（その続きもわくわくする）

〔目指す子供たちの姿を基にした仮説〕

① 「行動や実践から始まり、自分で課題をもつ子」
・子供たちが行動や実践から単元の学習を始めれば、興味関心が高まり「！」(気付き)や「？」(疑問)を自ら見付けにいくだろう。

② 「自分の課題に夢中になって解決に向かう子」
・自分が見つけてきた！や？を学級で考えて向かう課題やめあてが決まれば安心感が生まれ、対話的になったり、没頭して取り組んだりして解決に向かえるだろう。

③「次の(生活、総合の)授業いつやるの？という子」
・次にやることの見通しがもてていれば子供たちも教師もわくわく感が自然と湧出し、そのような振り返りが見られたり、声が聞こえてきたりするだろう。

〔仮説にせまる手立て〕

＜仮説①＞
・先ずは、１年間の生活を振り返って絵に描いていくことから始める。ここまで、生活科をはじめ多くの学習や活動をしてきたことから、その中での自分の成長を多く感じ取れることとなる。その後、作文を並べたり、分類したりすることで、支えてくれる人々がいることに気付く。自分の成長を通して、支えてくれた人々や場所のために自分ができることは何なのか課題をもつことに繋げていく。→(気付きや疑問から課題の構築へ繋げる)
・子供たちの意見等を吸い上げ、教師側でマークや絵などを中心にシンキングツールを活用し黒板にまとめる。また、それらを掲示することで、可視化する。→(気付きの質の高まりと広がり)

＜仮説②＞
・授業の導入で、本時のめあてを全員で集まって[ふわふわタイム]話し合って決める。→(そのどこかで、ゴール〔課題〕が決まっていく)
・授業の中で、子供たちから出たアイデアを積極的に取り上げて対話する。子供たちの呟きや発言などをキャッチして広げる問い返し「繋がりそうなことがあるかな？」「何か他にできないかな？」「比べてみてどうかな？」等をしたり、深めていくような問いかけ「どうしてだろう？」「どうしてそう思ったの？」等をしたりする。→(手段の多様性)

＜仮説③＞
・授業の振り返りをノートに蓄積させることで知識を上書きさせ、「次はどうするか」を問うことで見通しをもたせておく。→(児童の視点で自由に書かせる)
・日頃から教室の環境作りをして、生活科に限らず他教科の授業とも結び付ける。→(教科横断的)
・教師も子供たちの目線になって一緒に楽しみ、子供たちの意識をメモしておく。また、子供たちが考えたことに対して、「そうなんだ！なるほどね！」「そのアイデア面白いね！」価値付けをする。
→（もっとやってみたいを掻き立てる）

（3）「確かな学力」とは

ア　基礎的・基本的な知識及び技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力 イ　学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等

（4） 研究主題との関わり

本校では「確かな学力を育てる～子供たちも楽しい！教師も楽しい！生活・総合の授業づくり～」を主題としている。本単元では、自分の成長を振り返り、自分から気付きや課題を見付けて主体的に行動したり、成長したことを表現したりする。また、幼児期やこれまでの経験から培ってきた基礎的・基本的な知識や技能を基に友達とアイデアを出し合ったり、試行錯誤を重ねてさらによりよく生活できるように工夫したりすることで学ぶ意欲の活性化と課題発見から問題を解決する資質や能力等を育んでいく。本学級の子供たちは、成長したことを友達や家族、先生に伝えたい児童が多い。日頃の会話でも「先生、一りん車ができるようになったから見てください！」「きょうは、ロケットをつくってきたからみんなに見せたい！」などという声が聞こえてきたり、２学期に学習した国語の「てがみでつたえよう」では家族や親戚、担任に「じてん車にのれるようになったので、見てほしいです。」や「かん字がかけるようになりました。」などできるようになったことを書いていたりする児童が多数いた。

単元の構成として、「たのしかったできるようになったことをふりかえろう」では個人で！や？を見付けて課題を決める。「おせわになった人やばしょについてかんがえよう」では自分の成長には家族や友達、先生など支えてくれる人々がいることに気付き、感謝の気持ちをどのような方法で伝えていくか考えたり、友達とアイデアを出し合ったりする。「かぞくにありがとうをつたえよう」では、出た意見を整理しながら、実際に家族へ感謝の気持ちを表現したり、伝えたりする。「きょうしつにありがとうをぎゅっとこめよう」では、お世話になった教室に感謝の気持ちをもつと共に４月に入学してくる１年生を迎える準備をする。そうしていくことで、大きな達成感や成就感に繋がりよりよく解決できたという流れになっている。単元を通して、子供たちの記録を取って意識がどこに向いているのかできるだけ毎時間確認していく。

児童は成長を振り返り表現することで、自己効力感や自己有用感を実感することができると考える。道徳の「あなたってどんな人」で友達の長所を見付け合うなど他の内容との関連を図った活動も取り入れるよう工夫していきたい。感謝の気持ちを伝える方法としては、例えば体育で学んだ「縄跳び」や「ダンス」でできるようになったことを披露したり、生活科でできるようになったことと国語で学んだことを活用してつくった「オリジナル劇」を創ったりなど他教科と関連させることで児童のアイデアを広げることでも「楽しい！」という意欲喚起に繋げていく。

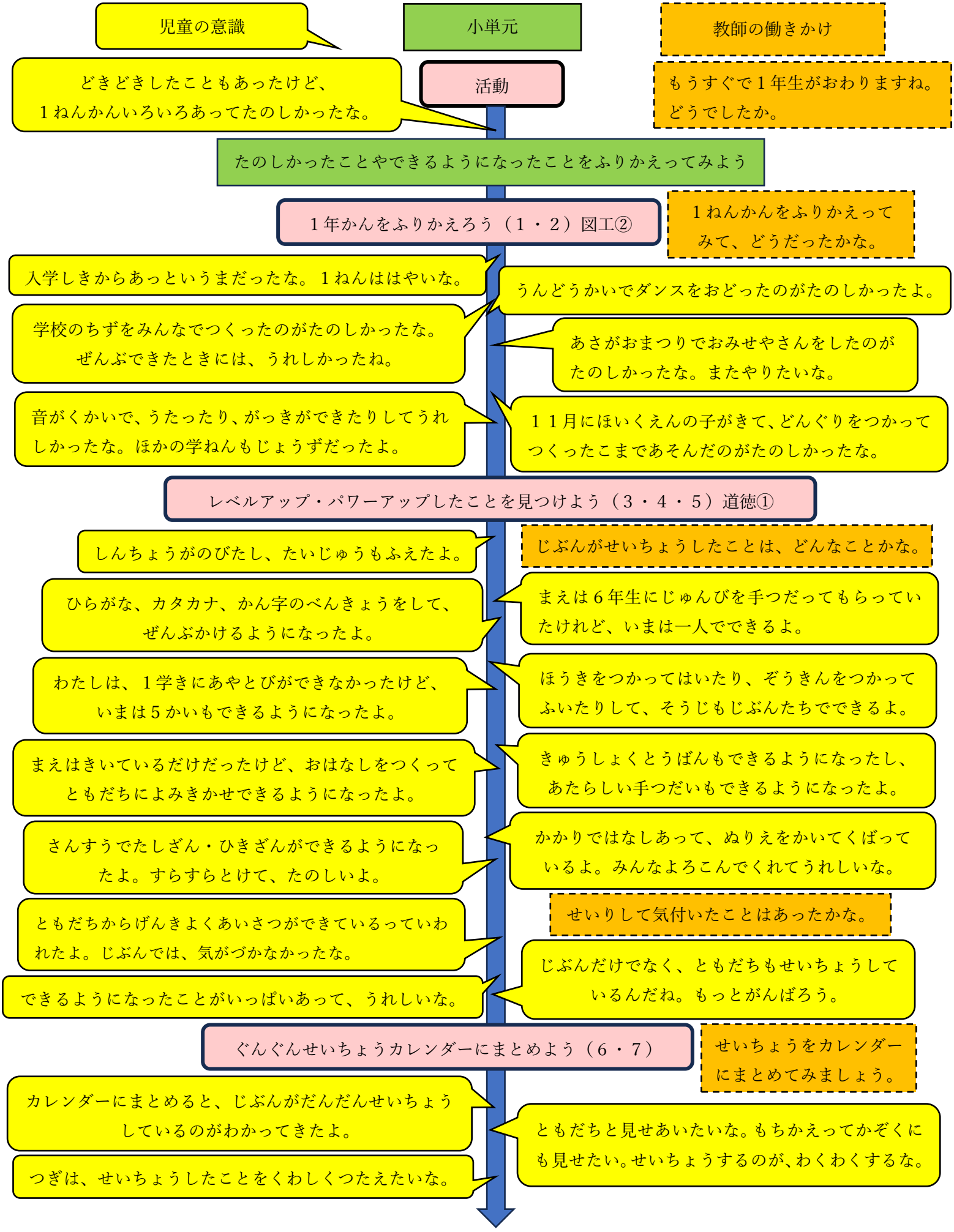
（4）単元の目標

自分自身の生活や成長を振り返りながら、支えてくれた人々や場所に感謝の気持ちを伝える活動を通して、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を考え選びながら、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことや身近な人々と関わるよさや楽しさが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々や場所に感謝の気持ちをもちつつ触れ合い交流し、２年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

(５)評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		○自分自身の生活や成長を振り返りながら、支えてくれた人々や場所に感謝の気持ちを伝える活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことや身近な人々と関わるよさや楽しさに気付いている。	○自分自身の生活や成長を振り返りながら、支えてくれた人々や場所に感謝の気持ちを伝える活動を通して、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を考え選んでいる。	○自分自身の生活や成長を振り返りながら、支えてくれた人々や場所に感謝の気持ちを伝える活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々や場所に感謝の気持ちをもちつつ触れ合い交流し、２年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。
学習活動（小単元）における評価規準	1	①―１自分が成長していることに気付いている。 ①－２友達と仲良く遊べるようになったことなど内面的な成長に気付いている。	① 以前の自分と比較しながら、自分の成長を見つめ直している。	①１年間の自分自身の成長や生活を振り返ろうとしている。
	2	②自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。	②－１自分の成長をくわしく伝えるためには、どのようにしたらよいか考えている。 ②－２これまでの生活や成長を支えてくれた相手のことを想像してアイデアを出している。	②友達の成長を認め合いながら、自ら積極的に関わろうとしている。
	3	③－１自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことが分かっている。 ③－２身近な人々と関わるよさや楽しさが分かっている。	③－１自分の成長から何ができるのかを考え決めている。 ③－２出たアイデアを基に、試したり、工夫したりしている。	③これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもちながら、触れ合い交流しようとしている。
	4			④これまでの生活や成長を支えてくれた場所に感謝の気持ちをもちながら、新入生を迎える準備をしようとしている。

3　児童の意識の流れ


児童の意識
小単元
教師の働きかけ
どきどきしたこともあったけど、
１ねんかんいろいろあってたのしかったな。
活動
もうすぐで１年生がおわりますね。
どうでしたか。
たのしかったことやできるようになったことをふりかえってみよう
１年かんをふりかえろう（１・２）図工②
１ねんかんをふりかえって
みて、どうだったかな。
入学しきからあっというまだったな。１ねんははやいな。
うんどうかいでダンスをおどったのがたのしかったよ。
学校のちずをみんなでつくったのがたのしかったな。
ぜんぶできたときには、うれしかったね。
あさがおまつりでおみせやさんをしたのが
たのしかったな。またやりたいな。
音がくかいで、うたったり、がっきができたりしてうれ
しかったな。ほかの学ねんもじょうずだったよ。
１１月にほいくえんの子がきて、どんぐりをつかって
つくったこまであそんだのがたのしかったな。
レベルアップ・パワーアップしたことを見つけよう（３・４・５）道徳①
しんちょうがのびたし、たいじゅうもふえたよ。
じぶんがせいちょうしたことは、どんなことかな。
ひらがな、カタカナ、かん字のべんきょうをして、
ぜんぶかけるようになったよ。
まえは６年生にじゅんびを手つだってもらってい
たけれど、いまは一人でできるよ。
わたしは、１学きにあやとびができなかったけど、
いまは５かいもできるようになったよ。
ほうきをつかってはいたり、ぞうきんをつかって
ふいたりして、そうじもじぶんたちでできるよ。
まえはきいているだけだったけど、おはなしをつくって
ともだちによみきかせできるようになったよ。
きゅうしょくとうばんもできるようになったし、
あたらしい手つだいもできるようになったよ。
さんすうでたしざん・ひきざんができるようになっ
たよ。すらすらとけて、たのしいよ。
かかりではなしあって、ぬりえをかいてくばって
いるよ。みんなよろこんでくれてうれしいな。
せいりして気付いたことはあったかな。
ともだちからげんきよくあいさつができているっていわ
れたよ。じぶんでは、気がづかなかったな。
じぶんだけでなく、ともだちもせいちょうして
いるんだね。もっとがんばろう。
できるようになったことがいっぱいあって、うれしいな。
ぐんぐんせいちょうカレンダーにまとめよう（６・７）
せいちょうをカレンダー
にまとめてみましょう。
カレンダーにまとめると、じぶんがだんだんせいちょう
しているのがわかってきたよ。
ともだちと見せあいたいな。もちかえってかぞくに
も見せたい。せいちょうするのが、わくわくするな。
つぎは、せいちょうしたことをくわしくつたえたいな。

おせわになった人やばしょについてかんがえよう

じぶんのせいちょうをともだちへくわしくつたえよう（１・２）国語②

せいちょうしたことがたくさんあるから、まような。

前はカレンダーにまとめましたね。国語の「いいことといっぱい１ねんせい」とくみあわせて、かきながらもう少しくわしく伝えてみよう。

ぼくは、うんどうかいのことにしようかな。
はしるのがはやくなったし、リレーせんしゅにもえらばれたよ。先生にも「はしりかたがうまい！」ってほめられたからね。

わたしは、せいかつかのことにするよ。
かぞくをハッピーに！をやって、さらあらいができるようになったからね。かぞくにも「じょうずだったね。たすかったよ。」といわれたよ。

きゅうしょくとうばんのことをかこうかな。じゅんびのしかたをおぼえてみんなにくばれるようになったよ。

せいちょうしたのは、まわりの人のおかげだね。かぞくにもせいちょうしたことをつたえたいな。見せたいな。

みんなのしょうかいをきいて、くわしくわかったよ。いろいろなせいちょうがあったね。

おせわになった人やばしょについてかんがえよう（３・４）

４月にじゅんびのしかたがわからなくて、６ねん生におそわったな。やさしくおしえてくれたよ。

どんな人におせわになっているかな。
どんなばしょをつかっているかな。

学校たんけんでは、いろいろな先生にしつもんにこたえてもらったり、しゃしんをとらせてもらったりしたよね。

そういえば、ぎゅうにゅうパックのひらきかたもおしえてもらったね。あと、そうじのしかたも。

うんどうかいでは、１・２年生の先生にダンスのれんしゅうや玉入れのしかたをおしえてもらったよ。

音がくかいのれんしゅうやじゅぎょうでは、〇〇先生におしえてもらっているよ。

本をかりたり、かえしたりするときには、としょしつにいる先生がやってくれたよ。よみきかせもしてくれたね。

よみきかせは、あさにいろんな人がきょうしつにきてやってくれたよね。いえの人たちがよんでくれたよ。

みんなとあった日からずっときょうしつですごしているよね。ここで、いろんなことがあったよね。

おせわになった人たちがたくさんいたね。ありがとうの気もちをこめて、なにかしたいな。

どのようなことができるか　アイデアをこうりゅうしよう（１）

かぞくにじぶんのせいちょうしたことを見せたいな。

おせわになった人やばしょに、なにをしたいかな。

じぶんがせいちょうしたことをえにかいてつたえるのもいいかもね。ずこうとつながりそう。

６ねん生にもおせわになったから手がみをかきたいな。こくごともつながるよ。

ほかにも、なにかならったこととつなげられないかな。
せいかつかでのおもいでをまとめるのはどうかな。

きょうしつにありがとうのきもちをこめてかざりをつけたいな。たのしみだな。

かぞくにありがとうをつたえよう

せいちょうしたよ！ありがとう会のけいかくを立てよう（１・２）

みんなのせいちょうを見てほしいから、じぶんがせいちょうしたことをじゅんばんにしょうかいするのはどうかな。

家の人へせいちょうしたことをつたえるためにけいかくを立ててみよう。

それなら、げきにしてつなげるのはどうかな。

さいごに、手がみをわたすのもいいかな。

うたをうたっておわるのもいいかもね。音がくとつながるし、みんなできょくをつくるってたのしそう。

４月から…おはなしみたいにして、みんなのせいちょうをつなげるのどうかな。

みんなでれんしゅうしたり、じゅんびしたりしよう。

じぶんのせいちょうしたすがたを見てもらえるってわくわくするね。

うん、たのしみだね。みんなのせいちょうもしりたいな。

れんしゅうやじゅんびをしよう（３・４・５・６）

ひらがな・カタカナ・かん字がかけるようになったことをしょうかいしたいな。文をつくっておもい出をはなそうかな。いっしょにやらない？

みんなのせいちょうがつたわるように、じゅぎょうさんかんまでにけいかくてきにすすめましょ

ともだちに見てもらって、アドバイスもらおうかな。

うんていのことをはっぴょうしたいな。ちょくせつ見せられないから、クロムブックでさつえいしよう。

なわとびでこうさとびができたことをはっぴょうするよ。そういえば、こうさとびができたのはかぞくにおしえてもらったからだったな。

さんすうのたしざんやひきざんのことにしようかな。もんだいをつくって、クイズみたいにしよう。

こうやってじゅんびができるのもせいちょうだね。

プログラムやかんばんもつくりたいな。

せいちょうしたよ！ありがとう会をひらこう（７）

かぞくにもよろこんでもらえてうれしいな。

かぞくにせいちょうがつたわるといいですね。

みんなもせいちょうしていて、びっくりしたよ。

みんなでせいちょうできて、うれしいね。２ねんせいまでもっとせいちょうできるようにがんばろう。

みんなのまえではっぴょうすることができて、じぶんってこんなにせいちょうしたんだ！ってかんじたよ。じしんもついたよ。

きょうしつにありがとうをぎゅっとこめよう

きょうしつにありがとうの花をさかせよう！のけいかくを立てよう（１・２）

１年かんきょうしつで、４月からいろいろなおもい出ができたよね。

まえのはなしあいで出ていたおせわになったばしょにもなにかできるかな。

きょうしつにかざりつけをして、きょうしつありがとうパーティーをしたいな。

２年生になったら、あたらしい１年生も入ってくるから、なにかかざってあげたいな。

１年かんのおもい出をえやことばにかいて、かざるのはどうかな。

学校の生かつでたのしかったことをどうがにさつえいしてしょうかいするのは、どうかな。

じゅんびをしよう（３・４・５）

１年生は、ぜんぶひらがなでかかないとね。
よみやすいように大きくかこう。

きょうしつにありがとうの気もちをこめて、あたらしい１年生のためにじゅんびをしましょう。

１年生は、ぜんぶひらがなでかかないとね。
よみやすいように大きくかこう。

４月は入学しきのことをかくよ。どきどきしたきもちがつたわるように♡をかこうかな。

いいね、みんなで１本ずつかこうよ。
どんなきょうしつになるのかな。

えも大きくかいて、カラフルにしよう。
きょうしつがあかるくなるようにしたいね。

はなたばみたいに、まとめてはるのもいいかもね。

ありがとうの気もちをこめて、お花をかいてまわりにかざるのはどうかな。

きょうしつにありがとうの花をさかせよう！（６）

わぁー！きょうしつにありがとうの花がいっぱいさいたよ。きれいだね。

きょうしつもよろこんでいるとおもいますよ。
あたらしい１年生もうれしい気もちになりますね。

１年１くみのきょうしつですごせてよかったよ。みんなといろいろできて、たのしかったな。ありがとう。

あたらしく入学する１年生がよろこんでくれるといいね。２年生になったら、見に来ようかな。

学しゅうをふりかえろう（７）

じぶんがせいちょうしていることがわかってうれしかったし、いろいろな人にささえられていてありがとうの気もちです。

１年１くみにありがとうの花がさいて、うれしいです。２年生にいってもレベルアップできるようにがんばりたいです。

4　単元の指導計画・評価計画（計２６時間）

小単元名(時数)	◎ねらい ○主な学習活動(時数)	小単元の評価時数との関連	評価規準から想定した具体的な子供の姿 評価方法 発発言分析　記記述分析　カカード分析 つつぶやき分析　行行動観察　作作品分析	●活用する資料、外部人材 ※関連する教科など
1　たのしかったことやできるようになったことをふりかえろう （７時間） 本時５／７	◎自分の１年間の成長をまとめる中で、以前の自分と比較しながら、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことに気付いている。			
	○自分の１年間を振り返る。（２）	知－①-１	・自分が成長していることに気付いている。　発　つ　記	※図画工作「せんせい　あのね」
	○レベルアップしたことやパワーアップしたことを見付ける。（３）	思①	・以前の自分と比較しながら、自分の成長を見つめ直している。　記	※道徳の「あなたって　どんなひと」
		知－①-１	・自分が成長していることに気付いている。　発　つ　記	●保護者・担任からのきらきら（成長したこと）付箋
		知－①-２	・友達と仲良く遊べるようになったことなど内面的な成長に気付いている。　発　つ　記	
	○ぐんぐんせいちょうカレンダーにまとめる。（２）	態①	・１年間の自分自身の成長や生活を振り返ろうとしている。　発　つ　記	
2　おせわになった人やばしょについてかんがえよう （５時間）	◎自分自身の生活や成長を振り返ることで、自分の成長を支えてくれた様々な人の存在、自分の成長についての様々な人との関わりに気付き、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を考え選んでいる。			
	○自分の成長をくわしく伝えるために､何ができそうか考える。（１）	思－②-１	・ぐんぐんせいちょうカレンダーや国語で書いたレベルアップ作文を見ながら、自分にできそうなことについて考えたり、友達と話したりしている。　発　つ	※国語「いいこといっぱい　１年生」
	○学年の友達とできるようになったことを紹介し合う。（２）	主－②	・友達の成長を認め合いながら、自ら積極的に関わろうとしている。　発　つ　行	
	○お世話になった人や場所につい	知－②	・自分の成長は、周囲の人々に支えられて	

	て考える。(1)		いることに気付いている。 発 つ 記	
	○お世話になった人や場所ために、何ができるかアイデアを出し合う。(1)	思－②-1	・これまでの生活や成長を支えてくれた相手のことを想像してアイデアを出している。 発 つ	
3 ありがとうをつたえよう (7時間)	◎これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活していこうとすることができるようにする。			
	○交流したアイデアを基に､計画を立てる。(2)	思－③-1	・自分の成長から何ができるのかを考え決めている。 発 記	
	○計画を基に､準備をする。(4)	思－③-2	・計画を基に、工夫できることはないか考えたり､実際に練習したり､友達と話し合って比べたりなどしながら、準備を進めている。 行 発 つ 記 作	
	○せいちょうしたよ！ありがとうかいを開く。(1)	態－③	・これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもちながら、触れ合い交流しようとしている。 行 発	
4 きょうしつにありがとうをぎゅっとこめよう (7時間)	◎これまでの生活や成長を支えてくれた場所に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活していこうとすることができるようにする。			
	○きょうしつにありがとうの花をさかせよう！計画を立てる。(2)	思③-1	・自分の成長から何ができるのかを考え決めている。 発 記	
	○計画を基に､準備をする。(3)	思―③-2	・計画を基に、工夫できることはないか考えたり､実際に練習したり､友達と話し合って比べたりなどしながら、準備を進めている。 行 発 つ 記 作	
	○きょうしつにありがとうの花をさかせよう！さ	態－④	・これまでの生活や成長を支えてくれた場所に感謝の気持ちをもちながら、新入生を迎える準備をしようとしている。	

	くせんの最終確認をする。(1) ○これまでの学習を振り返り、生活科ノートに書く。(1)	 態－④	行 発 つ ・これまでの学習を振り返り、これからも目標をもって意欲的に生活という思いを生活科ノートに書いている。 記	

5　本時の学習計画

(1)　本時の目標

○付箋の整理をして気付いたことを伝え合う活動を通して、自分が成長したことに気付き、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようという思いを高める。

(2)　評価規準と具体の子供の姿

・子供たちが付箋を整理して「自分の成長に気付く（気付きの質を高める）」やり方として有効だったか（力が十分に発揮されていたか・夢中になって取り組めていたか）

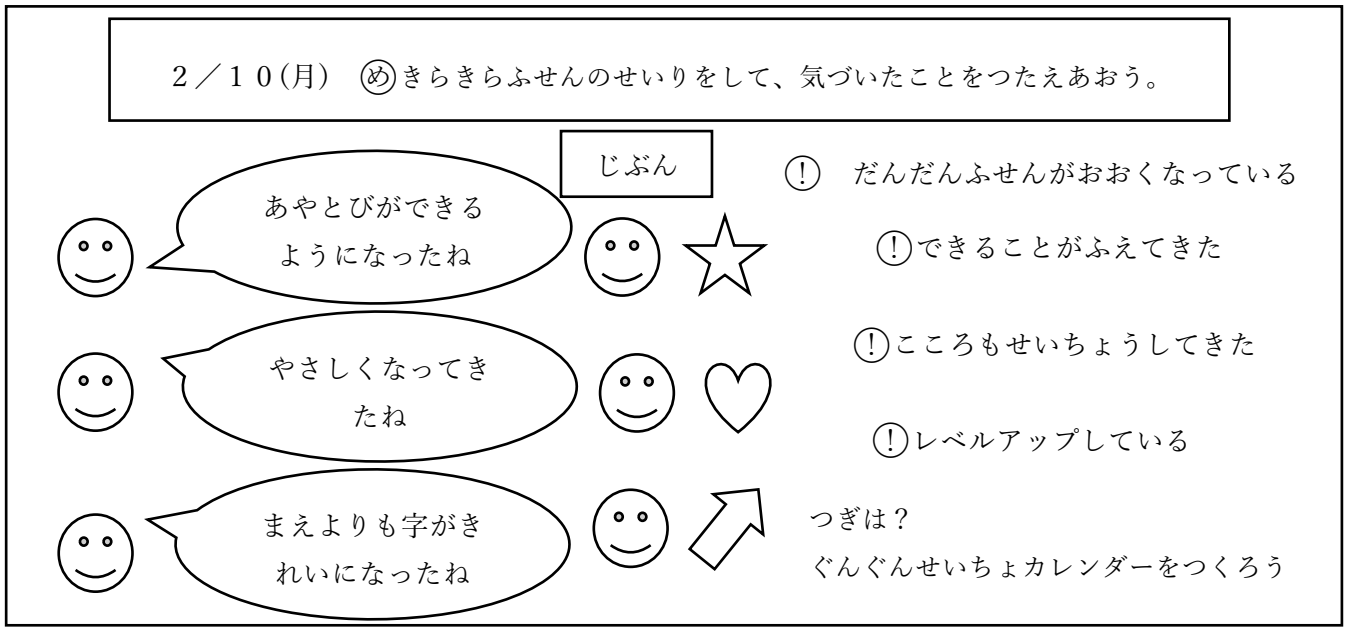
・子供たちの気付きの質を高める環境づくりになっていたか（掲示物・板書）

(3)　本時の展開

○学習活動　・予想される子どもの思考と反応	★評価規準（評価方法）　☆指導の留意点、手立て	時間
＜前時まで＞ ○友達から自分のレベルアップしたことやパワーアップしたところを付箋に書いてもらったことを想起する。	☆実物や撮った写真、掲示物を常に見られるようにしておき、想起しやすいようにする。また、前時の学習から本時のめあてを立てやすいようにしておく。	3
本時のめあて きらきらふせんのせいりをして、気づいたことをつたえあおう。		2
① 友達からもらった付箋の整理をする。 ・ともだちがじぶんのきらきらをたくさん見つけてくれたよ。うれしいな。 ・なわとびがじょうずだねってかかれているな。これは、さいきんのことかな。だから、3学きのコーナーにはりつけよう。 ・べんきょうのことでは、2学きからかん字がかけるようになったよ。 ・イライラしておこるのがへってきたよ。がまんづよくなってきたかな。 ・1学きはじゅんびをするのにじかんがかかっていたけれど、2学きから3学きははやくじゅんびができるようになったよ。 ・1学きでできるようになったこともあるけど、2学きや3学きのほうができるようになったことがおおかったよね。	☆整理するのが難しい児童には、必要に応じて友達と話し合ったり、アドバイスしたりできるようにしておく。 ☆自分で付箋を分類する中で、見て気づいたことをつぶやいている児童の言動を価値付ける。 ☆付箋の整理を進める中で、成長を感じている児童や、友達のカレンダーについて感想やアドバイスを伝えようとしている児童の言動を価値付ける。 ☆子供たちのよい気付きや発言は、写真やメモに残して伝え合うときに共有するようにする。 ☆付箋の整理が大体終わってきたところで、全体・部分で見るとどうか考えることができるよう促す。	20
発問：付箋を整理してみて、気付いたことはあったかな？		

② 気付いたことを伝え合う。 ・１学きのところよりも２学きのところからふせんがふえてきたよ。 ・はじめてうんていをしたときは、２つ目のところまでしかいけなかったけれど、３学きにぜんぶできるようになったんだよ。 ・じぶんでは気がつかなかったけれど、○○さんから「やさしくなってきたね。」ってかいたふせんをもらったよ。 ・かぞくが、さらあらいのことをかいていたよ。じぶんでも手つだいでできることがふえてきたなとおもっているよ。 ・みんなだんだんレベルアップしているね。 ・１から２学き、３学きと見ていくと、だんだんせいちょうしているかんじがするな。	☆外面的な成長と内面的な成長とを整理して板書する。 ☆「どうしてそう思ったの（書いたの）？」「どうしてそうなのかな？」など問い返しをしながら、本時の目標に迫れるようにする。 ☆発問から子供たちの発言や呟きを流れるように、マークを使用しながら板書する。その中で、成長に気付いている発言をマークで価値付ける。 ★自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどの外面的な成長や友達と仲良く遊べるようになったことなど内面的な成長に気付いている。(発言・つぶやき・記述)	１５
③ 今日の活動を振り返る。 ・じぶんがだんだんせいちょうしていることに気づきました。もっとせいちょうしたいです。つぎは、カレンダーにまとめていきたいです。 ・みんなもせいちょうしていて、すごいなとおもいました。	☆振り返りでノートに言語化することで新たに獲得した知識などを可視化できるようにする。 ☆次時のめあてを立てておき、意欲がさらに高まるようにする。	5

6　板書計画



【保護者との連携】

○子供へのきらきら付箋

小学校入学から今日までの子供たちの成長したことについて、保護者の方から付箋を５枚書いていただく。活動への取り組みの価値付けとして読んで整理できるようにする。

【担任の支援】

○子供たちが自分の成長に目を向けられるように、(図画工作「せんせいあのね」で描いた）絵や１年間を振り返ったカレンダーなどを掲示しておく。保護者には学習の内容や協力いただきたいことを学年だよりで周知する。学習を進める中での子供たちの成果は、掲示物に蓄積していつでも見られるようにしておく。

【低学年･研究協議】

○付箋は、成長に気付けていた。
▲付箋の数が手一杯だった子もいた。
▲付箋の分け方を統一しても良かった。

【低学年･指導講評】

（全体に向けて…）
・見る人たち（教員）がどう見るかが大事。近くに行ってその子のつぶやきや、気付きを見取ること。
・見取りとは、子供の学びをとらえ、解釈する教師の行為。
・主体的、対話的な学び…本時がその単元でどういう位置づけなのかが問われる。
・持っている知識でどう考え、どう活かしていくのかが大事。
・その単元で、何を学ばせたいかを明確にすること。
・「体験活動の充実」と「表現活動の工夫」、この２つを行き来することが大切。

（生活科の授業に関して…）
・じっくり考える。表現に生かしていってほしい。
・表現するには、思いや願いを高めていくこと。
・教師の支援が問われている。教師が、自分の役わりは何なのか考えてほしい。
・自分のことについて考え、本時は「友だちから価値づけてもらう」が多かった。
・本時と同じ単元が２年生でもあるが、１年生は「具体的、できた」２年生は「抽象的、心の成長」という違いがある。
・成長なので最終的には「個」で考える。
・付箋の整理をする活動は、教師の支援があったのか？
・気づいたことを伝え合う活動は伝え合あってどうするのか？
・付箋の整理、よくできていた。（活動）
・成長を嬉しく感じている子もいた。
・付箋の整理の仲間わけも良かった。
・気づきをもとに整理するのであれば、気づきを残すための支援が欲しい。「メモしておこうね」など。
・子供たちの考えを取り上げながら教師が「つなぎ」を可視化して整理する。
・これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとする姿もあった。

中学年部

令和６年度　総合的な学習の時間　学習指導案

日時：令和６年７月８日(月)　第５校時　対象：　３学年１組　計２６名
指導者：教諭　梅村　麻未子　　場所：　３年１組　教室

１　単元構想

(１)第３学年グランドデザイン

校内研究のテーマ
確かな学力を育てる
～子供たちも楽しい！教師も楽しい！生活・総合の授業づくり～

教師の願いと授業の手立て
・栄地区に関心をもち、地域の特色や人々の思いに気付かせたい。
・栄地区のよさを改めて実感し、そのよさを自分なりに表現できるようになってほしい。
・町探検、インタビュー活動、札幌栄小との交流を通して、人と関わり、協働的に学ぶことの楽しさを味わわせたい。

児童の実態・思い
・栄地区との関りに個人差がある。
・知っているつもりでいるが、まだまだ知らないことや行ったことのない場所がある。
・もっと栄地区のことを知りたい。
・わかったことを伝えたい。その良さを知ってほしい
・他の「栄地区」との違いを知りたい。

教材観
（その教材で学べること）
・これまでに気付かなかった栄地区のよさや、改めてそのよさに気付くことができる。
・人々の思いや栄地区の実際について知ることで、自分たちの地域を自分たちでよくしていこうとする態度を育てることができる。

(２)単元の展開　「大すき！栄」　全７０時間

４月　５月　６月　７月　９月　１０月　１１月　１２月　１月　２月　３月

小単元名「栄のいいとこ見つけたよ！」（２５時間）	小単元名「もっと知りたい、栄のこと！」（２５時間）	小単元名「栄のよさをお伝えします！」（２０時間）
【小単元の目標】 自分たちで見つけた栄地区のよさを、札幌栄小に伝えよう。	【小単元の目標】 栄地区の人々の地域に対する思いを知ろう。	【小単元の目標】 栄地区のために自分にできることを実行しよう。
【課題設定】 ○栄地区にある店や公共施設、町の特色を調べる。(社会、地区探検) 【情報収集】 ○学区探検に出かけたり、インターネットを使用したりして町の様子を調べる。 【整理・分析】 ○調べたことから自慢したいこと、伝えたいことを決め、発表資料を作成する 【まとめ・表現】 ○札幌栄小学校と「栄地区報告会」を行う。	【課題設定】 ○栄地区が元気な町であるために自分たちにできる課題を設定する。 【情報収集】 ○地域の方の思いや願いを聞きに行く。 【整理・分析】 ○調べたことから何を伝えるか決め、何ができるか考える。 ○スライドやパンフレットにまとめる。 【まとめ・表現】 ○学年で発表会を行う。	【課題設定】 ○お気に入りのお店のために継続してできる課題を設定する。 【情報収集】 ○お気に入りの店のために自分にできることに実際に取り組む。 【整理・分析】 ○活動の報告の仕方を考える。 【まとめ・表現】 ○授業参観で発表会を行う。

【地域人材・関係機関】
栄地区の各商店、公共施設、札幌栄小学校

(３)単元の目標

栄のよさを札幌栄小や保護者に伝える活動を通して、栄地区の独自性とそれを支える人々の思いや取り組みを理解し、栄地区を盛り上げるために自分でできることを考え、栄地区の店や施設が抱える課題の解決のために自分たちで取り組もうとしている。

(４)評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 栄のよさやそれを支える人々の思いや取り組みを理解している。 ② 地域の独自性への理解は、いろいろな人の努力と協力について探求的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 ③ 地域の方にインタビューしたり、町探検をして栄地区を調査したりして収集した情報を図や文章でまとめる方法がわかっている。	① 栄地区との関りを通して、感じた関心をもとに課題を作り、解決の見通しをもっている。 ② 課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。 ③ 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理して考えている。 ④ 相手や目的に応じて、わかりやすく表現している。	① 課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。 ② 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ③ 地域とのかかわりの中であきらめず最後まで自分にできることを見付けようとしている。

(５)本時の目標

・オンラインで効果的に相手に伝わる表現方法を考えている。

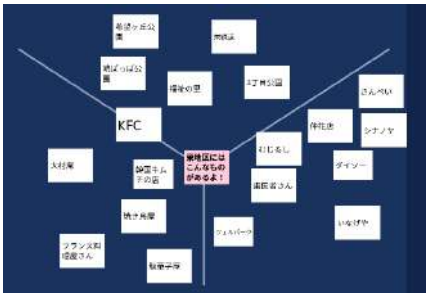
(６)本時の展開(２３／２５時)

○学習活動　・予想される子どもの思考と反応	★評価規準　☆指導の留意点、手立て	時間
＜前時まで＞ ○札幌栄小との交流会に向けて準備してきたものを確認する。 ・自分の動画を見てほしい。 ・みんなの動画を見てみたい。	☆交流会はオンラインで行うため、チームごとに発表動画を撮っておく。	５分
本時のめあて 札幌栄小によりよく栄地区のよさを伝えよう		
① 発表動画をいくつか見る。	☆栄地区のことを知らない人が発表を聞いて「行ってみたい」「見てみたい」と思うような内容を目指すことを確認する。 ☆意図的に選んだいくつかの動画を見せ、改善の視点へとつなげる。	１０分
発問：栄のよさを伝えるためにどんな工夫ができそうですか。		
② 動画をみて気付いたことを交流する。 ・お店の情報がもっと欲しいな。 ・絵があると分かりやすい。 ・具体的な情報があっていい。	☆改善の視点を発表内容に絞って気づきをまとめる。 ☆発表の仕方については、前時までに確認した「さんいち発表名人」の項目としてまとめる。	
③ 同じ通りの班同士で動画を見合い、改善点をアドバイスし合う。 ・その店ならこれが美味しいよ。 ・どのくらいの大きさか説明したらいいと思う。 ④ 練習、動画撮影を行う。 ・よし、もう一度やってみよう。 ・どうだろう、見てみよう。	☆他のグループの発表を改善の視点に沿ってみること、付け足したほうが良いことを伝えるようにする。 ☆準備ができたグループから練習を始める。 ☆撮影は地域連携室やギャラリーを使う。	２５分
⑤ 学習のまとめと振り返りを行う。 ・もう一度動画撮影したい。 ・次はもっと絵を描きたそう。 ・発表が楽しみだな。	☆発表練習をして考えたことや、本番の発表に向けての意気込み、さらに調べたいことなどを書くようにする。 ☆振り返りで本時の成果と次回やる事を明確にする。 ★オンラインで効果的に相手に伝わる表現方法を考えている。(活動の様子・ワークシート)	５分

3年「大すき！栄」　学習の足跡

4月

・社会　地区探検



四条通り商店街、市場坂通り、三丁目児童公園、緑道などの探検に行く。

・栄地区のことをどれだけ知っているかウェビングで書きだす。

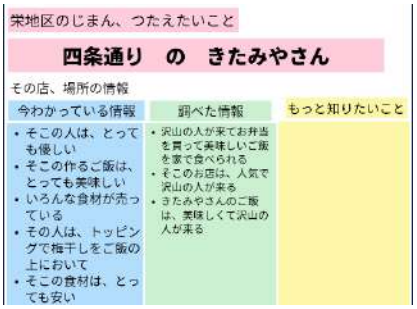
・北海道にも栄地区があることを伝え、新座栄地区のことを伝えたい、札幌栄地区のことを知りたいと発表に向けて動き出す。

5月

・栄地区の地図作りを始める。

・調べたい通りごとに地区探検に出かける。
市場坂通り、一条通り、二条通り、三条通り、四条通り

・さらに地図に店、公共施設、会社のなど付け足す。



6月

・自分の伝えたい「栄のじまん」を決める。

・オンラインで伝えるために準備したいことを考える。

・ポスターや台本など発表準備を進める。

・発表動画を撮影する。

【中学年･研究協議】

○事前に撮影したものをみるのは、よかった。

○チェックポイントもわかりやすくまとまっていた。

○子供たちからでているのはわかりやすかった。

○子供たちは自発的に動いていて、主体的にできていた。

○ゴールがはっきりしていたので、子供たちはやりやすそうだった

○発問によって子供が学びたいことへ広がっていたのがよかった。

○子供の作品を見せることによって、自分たちの内容を深めるようになったところもあった。

▲見合う時には動画を見るだけでチェックを判断するのは難しい。
→実際の原稿を見合ってもよかった。また、その場でチェックポイントをチェックシートにしてその場でロイロノートに作って配布し、チェックをさせてもよかった。その際、担当を決めるとよいのではないか。

▲動画を撮る前に原稿を見直す時間があってもよかった。

▲視点が内容のパワーアップだったが、内容というよりも表現方法にいっていた。（絵が見えない、声の大きさなど）

▲始めに見せていた動画が基準になっていたので、子供たちは手本にしていた。
→例えば、絵を3枚書いている子を見せたり、内容が伝わる児童を基準にしたりして伝えるとよい。隣のクラスのグループなど全然関係ない児童のものを見せることで、レベルが高い子も自分たちのことをしっかり考えることができるのではないか。

・わくわくドキドキのために抑揚となると、表現の方にもいってしまう。内容面を打ち出せるようにするとよかった。→内容を伝えるのはどんなやり方でもよかったのではないか。ペープサートなどでも。1・2年生など

の生活で伝える方法をやっておくと、３年生の総合でも伝え方が広がるのでは。
▲子どもの作品を見せたことで、取り上げられた班は、自分たちは完璧と思ってしまった。
▲1 人のところは話し合えずに難しそうだった。
▲２５分で進化させて撮影は短かった。
→今回は原稿の修正だけで、次回撮影にすれば、もしかしたら絵を付け足す子もいたかもしれない。
▲内容と表現方法の区別が難しい「人・物・名前」などでもよかった。
▲お店のおすすめ紹介のようになっていた。
→人や物について交流させることで、より地域のよさを感じられるようになるのではないか。
▲３年生だと、文章の型を与えてもよかったのではないか。

【中学年･指導講評】

・人から意見を聞く中で改善していくことが大切。
・今のままでは行き詰まるので、財をもっといれるようにするとよい。
・子供の持っている情報をもっといかせるとよい。
・本時の子供の姿からどのような学びをみとったか。環境構成がよかったのか、教師のかかわりがあったのか、どのような手だてがあったのか、どのような子供同士のかかわりがあったのかをみとり、記録することが大切→参観者がしっかり見ておく。発問や子供の姿に注目するとよい。
・一つの教科だけでなく横断的にやっていくことが大切。今回だと、地図を社会で行ったことや国語で５Ｗ１Ｈをやるなどするとよい。地図をどのように活用できるようにするかを考えるのが総合である。
・ネット上のものではなく、自分で取り組むべき課題をだしていくことが大切。「なんでこのお店は人が少ないのだろう」など、日頃疑問や問題に思っていたことなど。
・子供が持っている情報を整理すると、矛盾と課題がみえてくる。
・探究課題が広すぎる。探究課題とは、何について学ぶのか→探究する対象をもっと狭く。
・地域について学ぶことで、どんな力をつけるのかをしっかりとさせること。
・探究的にかかわりを深める人ものことを常に考えておくことが重要。
・学習材はたくさんある。
・子供の興味・関心②教師の意図③教材の特性　子供の実態・思いという書き方がこのままでよいのか。子供の実態を的確に捉えることが大切。
・教材観ももっとあるのではないか。指導案にも言葉で表す必要がある。もっと具体性があった方がよい。
・子供が楽しく、先生も楽しいと思えるものではないと、いけない。大前提。
・継続的に関われる人などについては、計画的にみていく必要がある。
・子供たちが葛藤したりぶつかる壁が想定されるかどうか。高すぎず低すぎず。
・教材が決まった後、活動が広がっていくかどうかを学年でストーリーを共有するとよい。広がっていくものが適している。
・地域の人や専門家からの協力は得られそうか。
・自己の生き方、横断歴な見方ができるのか。
・総合的な学習の目標が達成できるのかも考えて、教材を決定していく。
・地域を取り入れるよさ→地域への愛着を高め、豊かな生活を送れるか。地域の中で解決の場をつくっていくとよい。
・小単元ごとの設定はよい。
・子供の情報は点でいっぱいあるが、活用できないと意味がない。

・いいところを見付けたなら、２つめで調査ではなく、自分たちなりに課題を解決するところでもよい。
（実行）
・「栄のいいとこみつけた」から「栄地区のためにできること」へのつながりをどうするか？
→もっと店があったのにという地域の人の声もあった。もっと元気なところを子供に見せ、元気になるようにしたらどうかという話もできる→札幌の商店街と比較もできる
・子供の課題が更新されていくのが大切。自分たちにもできることは何かということを研究していくと単元のつなぎ目ができる。
・単元のつなぎ目が重要。
・栄地区の独自性ではなく、栄地区のよさの方が子供達にはわかりやすい。
・探究課題から、どのようなことを学んでほしいかを踏み込んで分析的に考える。「栄地区のよさ」とは何かということはぶれてはいけない。
・互いの動画を見合うことはとても意欲的だったが、実際にグループで見合う時には発表方法になってしまい、チェックとはずれてしまっていた。
・チェックポイントを引き出せば引き出すほど離れてしまっていた。環境設定の問題、そもそも子供たちが良さをつかんでいない可能性も。子供の会話から、ふりかえりをするとよい。
・アドバイスが残る工夫は？今日は動画までいかずに改善し、まとめでもよかった。その方が時間的な余裕があった。
・回数を撮ることで満足をしてしまっていた。改善という点ではできていない。
・わたしが好き＝栄地区のよさではないのではないか。まだ栄のいいとこみつけたよの段階なのではないか。情報がまだ点のままなので、点をつなげる必要があった。
・相手意識と目的意識を意識させる。好きな場所だけど実際に相手が行くかどうか…
・まとめ、表現とは、発表会をすることではない。誰かに発表しなくてもよい。整理・分析した情報をつなげ、点が線になることが大切。友達の情報と自分の情報を比較し、整理していくことがまとめとなってよい。
・整理分析のところが１学期は分析できていなかった。友達と突き合わせてみて、共通点をかこむと、共通点が多かったり真逆の点を見付けたりすることができる。
・まとめ表現の前の整理分析をしっかりと行うようにするとよい。そこがまとめ表現につながる。
・個の学びと協働的な学びのつながりが大切になる。
・相手意識をもつためには発表があるのはよいが、札幌でよいのか。

高学年部

第５学年２組　総合的な学習の時間　学習指導案

日時：令和７年２月１０日(月)　第４校時　対象：　５学年２組　計２３名
指導者：教諭　齋藤　紗也加　　場所：　５年２組教室

１　単元名　「栄ファーム開園！」

２　単元構想

（１）第５学年グランドデザイン

校内研究のテーマ　**確かな学力を育てる**

～子供たちも楽しい！教師も楽しい！生活・総合の授業づくり～

教師の願いと授業の手立て

総合的な学習の時間では教師が提案、決定するのではなく「どんなことをしたい？」「どうしたらいい？」「やってみたらどう？」「なんでもチャレンジ！」の声掛けを中心に行い、児童自身で提案、決定できるようにしてきた。１学期の初めは「先生、やり方はこれであってますか？」という質問がとても多かったが「皆に聞いてみましょう。」と児童から教師へではなく児童から児童へ質問や意見が発信されるようにしてきた。更に、栽培には時間がかかるということもあり「この時間に総合の授業がしたい。」と児童から提案があった際に総合的な学習の時間を設けるようにした。また、教師が事前にお米や野菜の栽培方法を調べ、必要になるであろう道具は用意しておき提案があったらすぐに実現できるようにした。家庭でも協力をいただき、夏休みに家庭での人参栽培、酢酸水を作る際の道具等、児童の思いを実現できるようにした。

小単元３のレシピづくりでは、児童が調味料の配合や「皆が美味しいと思うレシピとは何か」を自分たちで考えるため難しさも感じると思うが「なんでもチャレンジ！」を合言葉に課題を見つけながら解決していく。

児童の実態・思い

本学級の児童は、学習に対して非常に前向きに取り組むことができる。自分の課題が終わると友達に声をかけ、困っていると必ず声をかけて助ける姿がみられる。話し合い活動においては、積極的に自分の意見を言うことができたり、友達の意見の中で良いと感じたものは素直に取り入れたりすることができる。また、発想も豊かで一つの意見だけでなく、多様な意見を出し合いそれを認め合うことができる。１２月に行った、総合的な学習の時間に関するアンケートは以下のようになった。

「総合的な学習の時間は楽しいですか。」という質問に対しては、全ての児童が肯定的な回答を示している。理由は「自分たちの好きなことを提案でき、それを実行できるから」「提案したことが難しそうでも皆が肯定してれるから」「皆と協力して一つのものを作れるから」「自分たちが一生懸命取り組んできて、野菜の収穫が楽しみ」と主体的に学習に取り組んでいることがわかる。また、「課題をもって授業に取り組めていますか。」という質問に対しては、９割の児童が肯定的な回答を示している。しかし、１割の児童（２名）は否定的な回答がみられた。この児童は「虫が苦手で思うように作業ができなかった。」ということが理由であった。３学期のレシピを作るという活動においても野菜嫌いということもあり、課題に対して消極的になることが予想される。「誰でも美味しいと感じられるレシピ」という視点を児童が持ちながら活動することで学級全体が課題をもって取り組めるようにしていく。

教材観

（その教材で学べること）

・小単元１では、お米を育てた。これは、児童が「日本といえば」という思いをもち話し合った結果である。芽出しから田植え、その後の世話やそれを行う時期等活動の方法は全て児童が調べて行った。害虫や害鳥が発生したときの対策も児童が調べて対策をした。課題を見つけ、それを解決しながら活動していた。また、お米の栽培をすることで栽培の大変さに気付くことができた。

・小単元２では、しゃくしな、ほうれん草、人参、大根を育てた。これは、「埼玉といえば」「誰も育てたことがない珍しい野菜」という思いをもち話し合った結果である。畝作りや種を植える等の活動やその時期はお米同様、全て児童が調べて行った。栽培が上手くいかなかったときは、人参農家の並木農園にインタビューに行き、助言をいただいた。更に、それを生かして防虫剤を自作し栽培してきた。

・小単元３では、「埼玉の郷土野菜であるしゃくしなを様々な人に伝えたい。」という思いをもちながら話し合った結果、レシピを作成し、学校や地域に配るという学習活動に決定した。インターネットや本のレシピだとオリジナリティーに欠けるため自分たちで一番合う調味料や具材を決めていく。更に、児童は、紙だけでなく動画も使用し広めていきたいという思いをもっているためその思いが実現できるようにしていく。

（３）本校の目指す児童像

・**行動や実践から始まり、自分で課題をもつ子**（入口を子供たちを中心に置いて決める）
・**自分の課題に夢中になって解決に向かう子**（過程を思いっきり楽しむ）
・**次の(生活、総合の)授業いつやるの？という子**（その続きもわくわくする）

〔目指す児童の姿を基にした仮説〕

①「行動や実践から始まり、自分で課題をもつ子」
・児童が行動や実践から単元の学習を始めれば、興味関心が高まり「！」(気付き)や「？」(疑問)を自ら見付けにいくだろう。

②「自分の課題に夢中になって解決に向かう子」
・自分が見つけてきた！や？を学級で考えて向かう課題やめあてが決まれば安心感が生まれ、対話的になったり、没頭して取り組んだりして解決に向かえるだろう。

③　「次の(生活、総合の)授業いつやるの？という子」
・次にやることの見通しがもてていれば児童も教師もわくわく感が自然と湧出し、そのような振り返りが見られたり、声が聞こえてきたりするだろう。

〔仮説にせまる手立て〕

＜仮説①＞
・授業では、児童自身が課題を見つけ、それに向かってどのようにしていくか学級で話し合いを行っていく。教師は、「どうする？」「なにする？」「どうしたい？」と児童の意見には必ず疑問形で返すようにする。また、教師が児童のねらいにせまるための発言を聞き逃さず、そこから児童が話し合えるようにきっかけを作るようにする。→(手段の多様性)

＜仮説②＞
・児童が見つけた疑問、例えば、休み時間に「今、稲にカラスが来ていたがどのようにしたらよいか。」という教師との日常会話の中で発せられた疑問に対して「皆に提案してみたらどう？」と児童に話し、児童からが学級へ提案できる場を作る。→(気付きや疑問から課題の構築へ繋げる)

＜仮説③＞
・児童がやりたいことを実践させる容認性を教師がもって活動できるように支援していく。例えば、「やってみたいけどできるかな。」という児童のつぶやきに対して「やってみたらどう？上手くいかなかったらまた皆で考えれば良いよ！」のように、容認すると同時にもし上手くいかなくてもまた挑戦できる機会があるということを伝えるようにする。→（もっとやってみたいを掻き立てる）
・児童が総合的な学習の時間をいつ行いたいのか教師に提案し、それに合わせて活動するようにする。児童の「やりたい！」という思いを大切にし、それを叶えることで児童が新たな課題を積極的に見つけて解決できるようにしていく。→（もっとやってみたいを掻き立てる）

3　単元の目標

農作物を育てたり、その農作物を使って調理したりする活動を通して、農作物を生産する喜びや苦労を実感し、農作物の生産に携わる人々の思いや願いに気付くとともに、農作物と自分たちの生活を結び付け、「食」についての見方・考え方を深めることができる。

4　評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 稲や野菜の育て方を理解する。（概念的な知識） ② JA の方にインタビューしたり、調理の仕方を調べたりする。（技能） ③ 埼玉県の特産物を地域に広めたり良さを伝えたりしている。（探究的な学習のよさの理解）	① 農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定） ② 課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報の収集） ③ 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理・分析） ④ 相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。（まとめ・表現）	① 課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。（自己理解・他者理解） ② 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。（主体性・協働性） ③ 地域との関わりの中で自分にできることを見付けようとしている。（将来展望・社会参画）

5　単元の指導計画・評価計画　全７０時間

探究の過程	○主な学習活動 ・学習内容 「　」予想される児童の反応	◇指導上の留意点（配慮・手立て） ★評価　評価方法 発 発言分析　記 記述分析 つ つぶやき分析　行 行動観察　作 作品分析	●活用する資料、外部人材 ※関連教科等
課題設定	○どのようなことをやりたいのか決める。 ・話し合い決定する。 ・稲の育て方を調べる。 ・稲の芽だしをする。 ・バケツ稲の準備をする。 ・田植えをする。 ・水やりや育てるうえでの注意点などを調べる。 ・害虫・害獣対策を講じる。 ・常時、水やりをする。	◇教師側の押し付けにならないように児童から出た意見を活用する。 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定） ★稲や野菜の育て方を理解する。（概念的な知識）農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）　発　記　つ	●JA の HP ※社会科「くらしを支える農業・庄内平野」
情報収集	○育て方を調べて実行する。 ・シンキングツールのフィッシュボーン、クラゲチャートを使って工程をまとめる。 ・必要なものがあるときもどのようにしたらそれが手に入るのかを考えさせ、自分たちで尋ねたり頼んだりする。 ○他のものも育てたいな。 ・稲が育つまで時間があることや子どもたちが決めた最終目標はレシピを作りた	★課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報の収集）　発　記 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）　記　行	●JA の HP

	いということだったためそれを伝えると、それ以外にも何か育てたいという話を出させる。		
整理分析	○収穫後、精米したので、これをどう生かす。 ・お米を実際に食べる。家庭科の学習内容「食べて元気に」と連携	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理・分析）	※家庭科「食べて元気に」
まとめ 表現	・お米を炊いて食べる。 ・自分たちが育てたお米を食べた経験から、何ができるか。どうしたいかをまとめ、次につなげる。 →お米を作ることの大変さを知ることで、農家への感謝 →お米を使ったレシピを考え地域に広める。	★埼玉県の特産物を地域に広めたり良さを伝えたりしている。（探究的な学習のよさの理解） ★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。（まとめ・表現）	
課題設定	○２学期に何を育てたいのかを決める。 ・話し合い、決定する。 ・１組・・・小松菜 ・２組・・・ほうれん草、しゃくしな、人参、大根	◇教師側の押し付けにならないように児童から出た意見を活用する。 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定） ★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。（主体性・協働性）	●野菜農家との連携
情報収集	○育て方を調べて実行する。 ・シンキングツールのフィッシュボーン、クラゲチャートを使って工程をまとめる。 ・必要なものがあるときもどのようにしたらそれが手に入るのかを考えさせ、自分たちで尋ねたり頼んだりする。 ・土の状態を野菜にあったものにする。 「ほうれん草、人参、大根はアルカリ土壌が適しているらしい。石灰を入れてアルカリ土壌にしよう。」 小松菜について 「密植すると葉も薄くなり、株張りも悪くなるから、５CM くらい間をあけて植えないといけないね。」	★稲や野菜の育て方を理解する。（概念的な知識）発　記 ★農作物への関わりを通して課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）つ　記	JA の HP ※社会科「山のすそ野に広がる高原」
整理分析	○情報の取捨選択を行う。 ・話し合い活動を通して、自分が調べた情報の中で何が使えるのかを話し合い実践できるように手順をまとめる。	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理･分析） 発　記	

まとめ 表現	○実践する。 ・土の状態を整える。 「石灰を○グラム入れるとアルカリ土壌になるようだ。ほうれん草は強アルカリ土壌だから多く石灰を入れよう。」 「土を整えたら１週間置くといいらしい。１週間後に種を植えよう。」 ・植える 「２、３粒ずつ植えていこう。」「土が柔らかくなってきたな。」	★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 （主体性・共同性）行　発 ★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。（まとめ・表現）行　記　作	※度特「美しい夢―ゆめぴりかー」
課題設定	○より美味しく育てるにはどうしたらよいだろうか。 ・虫対策 ・栄養を与える	★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）発　記	
情報収集	○調べる。 ・それぞれの野菜につく虫を調べたり病気にかかっている葉を調べたりする。 ・地域の人参農家さんへインタビューする。その際、野菜の写真を見せて、アドバイスをもらう。 ・害虫対策について調べる。	★課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報の収集）発　記	●JA の HP
整理分析	○自分の持っている情報と野菜を比べる。 ・自分たちの育てている野菜の写真とサイトを比べる	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理・分析）　記　行	
まとめ 表現	○実践する。 ・病気になっている葉を取る。 ・酢酸水を作り吹きかける。		
課題設定	○どのようなことをやりたいのか決める。 ・どのようなレシピを作るのかを話し合い、決定する。 「オリジナルのレシピを作りたい。」 「レシピを広めたい。」	◇教師側の押し付けにならないように児童から出た意見を活用する。 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）つ　記	●JA の HP ※家庭科「食べて元気に」
情報収集	○調べる。 ・「生」、「ゆで」、「焼く」でそれぞれ食してみてどのような調理方法が美味しいかを試す。 ・どんな調味料があるかを調べる。 ・調味料や一緒に合う食材を試す。	★稲や野菜の調理に仕方を理解する。 （概念的な知識）　発　つ　記	●栄養士さん・給食調理員さん

整理分析	○友達の意見と比べる。 ・使用する調味料や分量を友達と話し合いながら決定する。	★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。（主体性・協働性）　発 つ　記	
まとめ 表現	○レシピを作る。 ・クラスで考えたオリジナルレシピを作る。	★埼玉県の特産物を地域に広めたり良さを伝えたりしている。（探究的な学習のよさの理解）　記　作	●JA の HP ※家庭科「献立を工夫して」
課題設定	○レシピの広め方を考える。 ・レシピをどこにどのように広めるか意見を出し合う。	★課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。（自己理解・他者理解）つ　記	●地域のスーパーマーケット ●地域の商店街
情報収集	○調べる。 ・どのようなレシピが目を引いたり手に取ってもらえたりするのかを調べる。	★課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。（自己理解・他者理解）記　発	
整理分析	○友達と意見を出し合う。	★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。（主体性・協働性）つ　発 記	
まとめ 表現	○レシピを作成し、学校や地域に配布する。	★地域との関わりの中で自分にできることを見付けようとしている。（将来展望・社会参画）　作　つ　記 ★埼玉県の特産物を地域に広めたり良さを伝えたりしている。（探究的な学習のよさの理解）　作　つ　記	●地域のスーパーマーケット ●地域の商店街

6　本時の学習

（1)本時の目標

自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。

〈主体性・協働性〉

（2)本時の展開(５７／７０時)

	○学習活動　・予想される児童の思考と反応	★評価規準　☆指導の留意点、手立て	時間
つかむ	1　前時までの学習を振り返る。 2　本時のめあてを確認する。 皆に作ってもらえるような料理にするためにどのような工夫ができるか考えよう。	☆前時までの学習とのつながりを意識させる。	2
かんがえる	3　情報を整理する。 調味料や食材を試して「皆が美味しく食べれるか。」という視点を持って整理する。	☆話し合いをしながら情報を整理させる。 ☆共有ノートで情報を整理させる。	１５
あらわす	4　より美味しくなる方法を模索する。 ・この調味料を足してみよう。 ・シーチキンを入れてみよう。	☆前時と比較してより美味しくなった調味料を共有ノートに書かせる。 ★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 〈発言・共有ノート〉	２０
ふりかえる	5　本時の学習を振り返る。 6　次時への見通しをもつ。	☆振り返りを、ロイロノートで提出させ、模範となる児童を意図的に指名し発表させる。 ☆次回も自分たちが決めた調味料等で調理することを伝える。	6 2

（２）　活動の流れ

４月　５月　６月　７月　９月　10月　11月　12月　１月　２月　３月

小単元名「農作物を育てよう」
（２５時間）

【小単元の目標】
お米を栽培しよう。

【課題設定】
○「食」というテーマで自分たちが育てたい農作物を考える。
【情報収集】
○お米の栽培方法をインターネットや本を見て育て方を調べる。
【整理・分析】
○調べたことから、どの時期にそれを行うべきか整理・分析する。
【まとめ・表現】
調べたことを実践する。

小単元名「農作物を育てよう」
（２５時間）

【小単元の目標】
自分たちの決めた野菜を栽培しよう。

【課題設定】
○自分たちが育てたい野菜を考える。
【情報収集】
○野菜の栽培方法をインターネットや本、インタビューを通じて育て方を調べる。
【整理・分析】
○調べたことから、どの時期にそれを行うべきか整理・分析する。
【まとめ・表現】
○調べたことを実践する。

小単元名「埼玉の野菜を発信しよう」
（２０時間）

【小単元の目標】
埼玉県の野菜の魅力を伝えよう。

【課題設定】
○埼玉県の野菜の魅力の伝え方を考える。
【情報収集】
○様々な調理方法を試す。
【整理・分析】
○野菜に合う調理方法を選ぶ。
【まとめ・表現】
○レシピにまとめ、学校や地域に配布する。

【地域人材・関係機関】
栄地区の各商店、公共施設

【高学年･研究協議】

○児童が主体的に話し合いをし、広がっていた。
▲レシピの基準があればよかったのではないか。
▲グループによる差があった。紙でもよかった。
▲使っていい食材を明確にするとよい。
▲ファシリテーターとしての教師の介入が必要。
▲友達だけでなく家の人、栄養士さんからのアドバイスをもらえるとよい。
▲ほかの班の写真を見せてこんなこともできると共有できるとよい。

【高学年･指導講評】

・R4 学習指導要領実施状況調査から
　⇒友達や地域の人と進んで関わっている肯定的な解答７０％を下回る
　⇒他者と協働、地域の方とを重視
　⇒地域の人、専門家との交流によって課題を見出す。
・探究課題「何について学ぶか」（探究する対象）
・探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力
・本時の探求対象は？食をめぐる問題？物づくり？
・概念的な知識と探求課題の結びつき→どのようなことを学んでほしいか・・・
・調査・活動・発信のループ、活動が充実していれば発信したいとつながるのではないか
・主体性・協働性の狙いを達成するための手立ては？
・教師の声掛けで児童の活動が戻ってきた⇒前時の振り返りを見ることから始めてもよかったのでは
・誰に（相手）何のために（目的）食べてもらいたいのか
　⇒何のためによりも料理を作ることに意識がいっていなかった
・広げることより、調味料に焦点化したかった。自分たちのレベル感はどの程度か。
・身近な食としてとらえること。⇒その道の専門家との関わりの必要性。大人の専門家からのフィードバックを受けることができるような機会が必要ではないか。

Ｂ　単元配列表→活動の流れ→単元の指導計画・評価計画→研究仮説からの成果と課題(各学年より)

第一学年単元配列表

	令和６年度　第１学年		年間指導計画									
	スタートカリキュラム											
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	3月
学校行事	始業式、入学式、着任式 １年生を迎える会 健康診断	三中学区合同引取り訓練 全校遠足 体力テスト	校内硬筆展 授業参観	１学期終業式	２学期始業式		運動会 親子ふれあい除草	校外学習(動物園) 音楽発表会・授業参観	２学期終業式	３学期始業式 校内書初め展	授業参観	修了式、卒業式 ６年生を送る会
児童活動	栄っ子グループ遊び		栄っ子グループ遊び・清掃			栄っ子縄跳び大会練習	栄っ子縄跳び大会					
国語(書写) (３０６)	はるがきた おはなしできたいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく **こんなものみつけたよ** うたにあわせてあいうえお	こえに　だしてよもう よくきいて、はなそう ことばを　さがそう はなのみち としょかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくろう ねことねっこ	わけをはなそう おばあさんと　おばさん あいうえおであそぼう **つぼみ** おもちやと　おもちゃ **おおきく　なった** おおきな　かぶ	はをへを　つかおう すきな　こと、なあに おむすび　ころりん **こんな　ことがあったよ** としょかんとなかよし		こえを　あわせて　よもう みんなに　しらせよう ことばを　みつけよう やくそく かたかなを　みつけよう うみの　かくれんぼ かずと　かんじ	くじらぐも まちがいを　なおそう **しらせたいな、見せたいな** かん字の　はなし ことばを　たのしもう	じどう車くらべ じどう車ずかんを　つくろう かたかなを　かこう どんな　おはなしが　できるかな たぬきの糸車	日づけと　よう日 てがみで　しらせよう むかしばなしをよもう おかゆの　おなべ	なりきって　よもう くわしく　きこう ことばで　あそぼう どうぶつの　赤ちゃん ものの　名まえ	わらしべちょうじゃ かたかなの　かたち ことばあそびをつくろう **これは、なんでしょう** ずうっと、ずっと、大すきだよ	にて　いる　かん字 **いい　こと　いっぱい、一年生**
算数 (１３６)	なかまづくりとかず	なんばんめ **あわせていくつ　ふえるといくつ**	あわせていくつ　ふえるといくつ のこりはいくつ　ちがいはいくつ	のこりはいくつ　ちがいはいくつ どちらがながい		わかりやすくせいりしよう １０よりおおきいかず なんじなんじはん	３つのかずのけいさん どちらがおおい	たしざん かたちあそび	ひきざん	おおきいかず	どちらがひろい なんじなんぷん	たしざんとひきざん かたちづくり
生活 (１０２)	**がっこうだいすき**	**がっこうだいすき** はなをさかせよう	**はなをさかせよう** なつがやってきた	**なつがやってきた**		**いきものと　なかよし**	**たのしい　あき　いっぱい**	**たのしい　あき　いっぱい** じぶんでできるよ	**じぶんでできるよ**	**ふゆをたのしもう**	**ふゆをたのしもう** **昔遊び** **もうすぐ２ねんせい**	**もうすぐ２ねんせい**
音楽 (６８)	うたって　おどって なかよく　なろう	はくを かんじとろう	はくにのって リズムを　うとう	**みの　まわりの** **おとに　みみを** **すまそう**		どれみと なかよく　なろう	**せんりつで** **よびかけあおう**	**がっきと** **なかよく　なろう**	ようすを おもうかべよう	**にほんの　うたを** **たのしもう**	みんなで　あわせて たのしもう	**みんなで　あわせて** **たのしもう**
図画工作 (６８)	すきなかたちやいろなあに どんどんかくのは　たのしいな	ねんどでごちそうなにつくろう ちょきちょきかざり	**すなやつちとなかよし**	カラフル　いろみず		いっしょに　おさんぽ せんせい　あのね	**さわりごこち　はっけん** **ならべて　ならべて**	**たいせつ　ボックス** **わくわく　おはなし　すごろく**	おはなし　だいすき	スルスルビューン いっしょにあそぼう　ぱくぱくくん いろいろなかたちのかみに	せんのぼうけん はこで　つくったよ	うつした　かたちから
体育 (１０２)	体ほぐし 固定施設を使った運動遊び	多様な動きをつくる運動 (体のバランス・力試し) 水遊び	水遊び 鉄棒を使った運動遊び 走の運動遊び（くねくねコース）	**ボール投げゲーム** **(まとあてゲーム)**		**多様な動きをつくる運動** **(体の移動・用具)** 固定施設を使った運動遊び マットを使った運動遊び	表現遊び・リズム遊び	鉄棒を使った運動遊び 跳の運動遊び(幅跳び遊び)	固定施設を使った運動遊び 跳び箱を使った運動遊び	多様な動きをつくる運動 (バランス・用具) 走の運動遊び (ハードルコース)	ボール蹴りゲーム	鬼遊び
外国語活動	あいさつをしよう	ごきげんいかが	数であそぼう	体の名前を知ろう		体を動かそう	すきないろなあに	すきなどうぶつなあに	すきなたべものなあに①	すきなたべものなあに②	いろいろなかたち	1年間のまとめをしよう
道徳(３４)	**たのしいがっこう** ありがとう	ふたりのゆうた あいさつの　ある　いちにち なにを　して　いるのかな	なかよし あとかたづけ うまれたての　いのち どうしてかな	つぼめ がっこうへ　いく　とき		にっぽんの　おかし ひつじかいの　こども そろって　いるけど かばちゃの　つる	どちらが　いいかな かずやくんの　なみだ はしの　うえの　おおかみ **ルン　ルン　ルン**	わたしが　おねえさんよ んじんばたけで おふろばそうじ 二わの　ことり	学校の　かえりみち おおひとやま	**ひむかかるた** うちゅうせんに　のって やめろよ	ふたりだけで あなたって　どんな　人？ 休みじかん １２０てんの　そうじ	花の　かんむり ハムスターの　赤ちゃん ①学校を　休んだ ②ぼくは　小さくて　白い ③スポーツを　とおして
特別活動(３４)	学校のきまり 給食の約束 清掃の約束	遠足事前指導 避難訓練事前事後指導	虫歯をなくそう プールでの約束 安全な登下校	夏休みについて		二学期を楽しく過ごそう 目を大切にしよう	本をたくさん読もう 初めての運動会	大切な友だち うんこの旅	落し物をなくそう **冬休みの過ごし方**	今年のめあてをたてよう 給食週間の取組	風邪に負けない体をつくろう みんなでつかうもの	**６年生ありがとう** **もうすぐ２年生**

１年生　材：栄小学校の自然物【２学期　内容(５・６)】

単元名　たのしい　あきいっぱい～あきあそび　おもいっきりけんきゅうたい～

単元の目標(＿＿：**知識・技能**、＿＿＿：**思考・判断・表現**、＿＿：**学びに向かう人間性等**)

身近な秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、春や夏との違いを比べたり、秋の自然物を使った遊びや遊びに使うものを工夫をして作ったりすることで、季節の変化や面白さに気付くとともに、秋のものを取り入れて生活を楽しくしつつ、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。

単元の評価規準(★)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 色や形、においなど秋の校庭の自然の様子と春や夏の校庭の自然の様子との違いに気付いている。 ② 季節によって楽しめる遊びが変わったり、生活の様子が変わったりすることに気付いている。 ③ 自分が創り出した遊びで、みんなと一緒に楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。	① 秋とその他の季節を比べながら、違いや特徴を見付けている。 ② 秋の自然物を使うとどんな遊びができるかを思い描きながら、遊びに使う自然物を選んでいる。 ③ さまざまな自然物を試しながら、みんなでより楽しく遊べるように工夫し、おもちゃを作っている。	① 秋の自然と関わりたいという思いをもち、自然物を生かしたものを創ろうとしている。 ② 秋の自然物を生かして遊ぶことの楽しさを感じ、試行錯誤しながら季節の遊びを楽しもうとしている。 ③ 身近な自然物を使って、みんなと遊ぶことの面白さを実感し、これからも季節の遊びを創り出そうとしている。

○小単元の授業の展開構想【生活科１年　たのしい　あきいっぱい　(全２４時間)】

＜目指す子供たちを実現するための具体的な手立て＞

①　行動や実践から始まり、自分で課題をもつ子　　②自分の課題に夢中になって解決に向かう子

③次の(生活、総合の)授業いつやるの？という子

子どもの意識［　］　学習のストーリー（○）気付き［＿＿］　ねらい◎　評価★　教科横断＿＿	備考
校庭にはどんな秋のものが　あるんだろう？⑥（生活②　国語②　図画工作②）	
◎校庭で秋の自然を見付け、五感を通して色や形、においなど、秋の校庭の様子と春や夏の校庭の様子との違いに気付いて表現しながら、もっと関わりたいという思いをもつことができるようにする。(目指す子供たちの姿①秋の自然を見付けたり、春や夏の校庭の様子と比べたりして気付いたこと等を付箋に書かせる・③秋のものを使ってどうしていきたいかを問うことや相手意識をもたせることで、次時以降の学習にも意欲をもてるようにする。)	
○**秋探しをすることになり、栄小学校の校庭を探索する**ことになった。	
１０月に行った図画工作の『さわりごこち　はっけん』では、触覚を生かした授業を展開する中で校庭に落ちている物に興味をもっていた児童もいた。例えば、木は「ざらざら」・どんぐりは「つるつる」・栗の毬は「ちくちく」・葉っぱは「ぱりぱり」といったようにオノマトペで表現している児童もいれば、物と物とをかち合わせて音で表現したり、体の動きを使って表現したりする児童もいた。触り心地の違いや面白さを感じながら、楽しさや喜びを味わっていた。 「先生！どんぐりが落ちていたよ！」「ぼうしがついているのとついていないのがあるね！」「色も緑色や茶色があるけれど…どうして？」「落ち葉がたくさんあるな。」「何かパリパリしているね。」と子供たちは秋の物をたくさん見付け始めた。中には、「クロムブックで写真をとりたいな。」という児童の声も聞こえてきた。	※図画工作『さわりごこち　はっけん』との横断的な学習
校庭で見付けた様々な秋の物について、国語の『しらせたいな、見せたいな』で学んだことを使って色・形・大きさ・手触りなどを詳しく言語表現しながら記録カードにかいたり、付箋紙に書いて整理したりして掲示した。「見つけたもので、何かできないかな？」 その後、図画工作の「ならべて　ならべて」という単元と合科的に授業を進めた。秋のものを並べてみると、どんぐり・くぬぎ・落ち葉・木の枝・木の実などが集まった。「秋は実がいっぱい落ちているね！」「葉っぱの色も変わっている！」などの発言から気付きを得ているように感じた。同時に、秋のよさを感じている様子だった。	※国語『しらせたいな、見せたいな』、図画工作『ならべて　ならべて』との横断的な学習
「次は、何してみたい？」と問うと、「葉っぱや実で遊んでみたい！」と返ってきた。日頃からものづくりに興味をもっていたこともあり、「早くおもちゃ作りたいな！」と言っている児童が多かった。さらに、「遊びを作ったら、どうしたい？」と聞くと、「誰かに遊んでもらいたいな。」と呟く児童がいた。このことから、**「そういえば！１１月にね、たけのこ保育園のみんなが来るんだよ！」と伝える**と、「自分も去年の今頃に来たよ！」「だったら、保育園の子におもちゃを作って遊ばせるってどうかな？」「秋のオリジナルおもちゃ祭り！」「いいね！」「楽しそう！」「面白そう！」と心を躍らせている子供たちだった。 ★知（①）、思（①）、主（①）	
秋は実やどんぐりがたくさん落ちていたよ！/いろいろな大きさや形、色があるんだね。/せみの声が聞こえなかったね！/まだ少し暑いけれど、夏よりは暑くないかな！/落ち葉を踏むと、パリパリという音が鳴ったよ！/**早くおもちゃ、創りたいな。/**	

さかえしょうのあきのものをつかって　つくりたいな！⑦（生活⑦）

◎　**秋の自然物を使うとどんな遊びができるか思い描きながら遊ぶ中で、季節によって遊びが変わったり、生活の様子が変わったりすることに気付き、試行錯誤して遊びを楽しむことができる。（目指す子供たちの姿①集めてきた材料を使って、何ができるのか試してみる。栄小の秋のもの、見つけたよ！作ったよ！コーナーを設置することで、自分の課題をもつことができるようにする。自由に遊ぶ時間を設ける。・③おもちゃをもっと〇〇したい！という思いがもてるようにしていく。）**

実際に秋の自然物を使って遊ぶことになった。図工室にあるプリンのカップやトレーなども使用しながら、好きな材料を選んで遊んでみた。自分が拾ってきたものを並べたり、掲示物を見たりしながら、「何ができるかな？」と考え始めた。**「どんぐりがいっぱい取れたから、まずはこまを作ってみようかな！」「どんぐりを入れて、マラカスにチャレンジしてみようかな！」などと言いながら、おもちゃ作り始めた。**

作った後は、みんなで**自由に遊ぶ時間を設けた。「どんぐりごま、簡単にできたよ！」「でも、もっと面白くできないかな？」、「マラカスもできたけど、あまり音が鳴らないな。どうしたらいいかな？」「もっと材料があったら、改造できるのに！！」**などどのようにしたらたけのこ保育園の園児たちが楽しく遊べるかさらに発想を膨らませていた。

遊んだ後は、秋の自然を生かして遊べる遊びを出し合って、さまざまな遊びの可能性について話し合いをした。拾ってきた材料から子供たちは、「落ち葉のベッドはどうかな？」「でも、散らかっちゃうんじゃない。」「給食で出たゼリーのカップを使って、木の実をどれだけ入れられるかみたいなおもちゃが作れそう！」「夏の水遊びで作ったようにどんぐり的当てはどうかな？」などの発言があった。幼児期に学んだことや既習事項を想起しつつ様々なおもちゃや遊び、秋の物のよさを感じられるアイデアが数多く出揃った。黒板に子供たちから出た意見をまとめていくと、「マラカスは音楽の勉強に繋がるね！だから、他の楽器も作って合奏できないかな？」「前は牛乳パックで的当てを作ったけど、次はカップにして秋のものを入れる遊びにして点数をつけて１００点以上いったらプレゼント！面白いし、たけのこ保育園の子も喜ぶんじゃないかな！」「この前やった図工のすごろく楽しかったから、秋の冒険のお話を作って…やってみようかな！」「紙芝居の方がいいんじゃない？」など合科的になって思考がどんどん広がっていった。**板書したことは、前時の気付きに続けて模造紙にまとめ掲示した。**友達との対話も弾み、子供たちは少しお兄さん・お姉さんとしての力を発揮したい気持ちと早くやってみたい気持ちでいっぱいだった。

「次は、何してみたい？」と問うと、「他の遊びと合わせて、もっと面白い遊びを作ってみたい！」「先生、他の材料持って（取って）来てもいいかな？」という児童がいて、出た言葉を組み合わせ**「もっと材料を使って工夫して、みんなでおもちゃを楽しく遊べるようにレベルアップさせたいってことかな？」**と「そうそう！」「いいね！」とノリノリの子供たち。

活動したことを振り返ると、**「また遊んでみたいです。」「夏の水遊びも楽しかったけど、秋の遊びはもっと楽しそうです。」「秋は木の実がたくさんありました。もっと材料を集めてきて、保育園の子を笑顔にしたいです。」**と前向きな子供たちだった。

★知（②）、思（②）、主（②）

※音楽『がっきとなかよくなろう』、図画工作『わくわく　おはなしすごろく』との横断的な学習

秋の木の実を使えば、おもちゃが作れるね！/マラカスやすごろく、けん玉、的当ていろいろ作れて楽しい！/落ち葉の絨毯もできるし、秋のお話も作れそう！/栄小学校に落ちている物でおもちゃを作れるって分かったよ！/おもちゃは簡単に作れるけれど、もっと楽しくできる方法はないかな？/

みんなでアイデア出し合って　もっとたのしく　レベルアップしよう！(生活⑤)

◎　遊んだことを振り返って、自然物を集め選んで試行錯誤しながら楽しいおもちゃを創り出そうとしている。(目指す子供たちの姿②遊びを振り返って、もっと楽しく遊べるおもちゃを創れないか考えさせるようにする。)

○幼児期の事を想起したり、既習事項を基に考えたりして、どんぐりごま・マラカス・的当てなど簡単なおもちゃを創っていた子供たち。「もっとレベルアップしたい」という思いから、**休み時間や家から持ってきた材料を使っておもちゃを創り始めた。自分がレベルアップさせて創りたいおもちゃを選び、自分で考えて動かしてみたり、友達と一緒に試したりする中で閃きがあったりしながら、もっと楽しくレベルアップするようなヒントを多く得ていた。「どんぐりだけでなく、木の実を入れて試してみようかな？」「落ち葉をならべるときれいだから、看板をつくってみたい！」「葉っぱに絵を描いて、魚みたいにしてみたよ！」**などという発言があった。試行錯誤していく中で、子供たちの多くの工夫が見られてきた。

　創り終えると、友達と紹介し合う時間を設けた。「私と違って、音が大きいね！何でだろう？」「こまがよく回っていて、いいね！」「ただの的当てじゃなくて、あきのものを使っていろいろな大きさにしていていいなあ！」など友達の工夫点に気付いて認め合う姿が見受けられた。友達からの工夫を得た子供たちは、さらにおもちゃの改良を始めた。「いろんな種類のこまから選んで、対戦させるといいかな？」「保育園の子だから、もう少し簡単にできて楽しいものがいいよね！」と自分の工夫と友達の工夫、そして保育園の子供たちの目線で考えるようになってきた。

★思（③）

だんだん面白くなってきたよ！/早く遊びたいし、遊んでもらいたいな！/友達も自分と違う工夫をしていて、すごかったよ！/保育園の子に合わせた遊びも考えてみたいな！/ルールとかもつけると、ゲームみたいになって楽しいね！/

ようこそさかえしょうへ！ほいくえんのみんなをしょうたいするじゅんびをしよう！(生活⑥)

◎　一緒に楽しめる遊びやおもちゃを工夫してつくり、自分の遊びを創り出したことでみんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付き、これからも遊びを創り出そうとすることができるようにする。(目指す子供たちの姿③遊びを振り返って、自分が作ったおもちゃで友達や保育園の子供たちが楽しく遊んでいることに喜びを感じさせ、これからも遊びを創っていきたいという気持ちを持たせる。)

○「わあー！わくわくするね！」「来てくれる日が楽しみ！」と言いながら、保育園の子供たちを招待するための準備が始まった。毎年行われる幼保小連携と繋げての試みである。おもちゃを作って遊ぶ中で、「秋のものの手ざわりゲームだと、さわるだけでいいから簡単かな！」「的当てはいいけれど、的が小さいからもう少し大きくしてみたらどうかな？」「せっかく来てくれるし、思い出に残してほしいから秋のものでプレゼントを創るといいかな！」などと自分たちで遊ぶよりも分かりやすく簡単なルールにしたり、保育園の子供たちに喜んでもらえるよう秋のものを付けたお手紙やプレゼントを創ったりしていた。

「いいのができたけど、喜んでもらえるかな？」「準備しているけど、成功するかな？」と少し不安げな子供たち。「やる前に、お客さんの役をしてもらってリハーサルしてみたい！」という発言があって、リハーサルをすることになった。

「秋のものをもう少し付けて分かるようにした方がいいよ！」「ルールが難しいからもっと簡単にして、紙に書いたらいいと思うよ！」「マラカスとかで合奏するといいんじゃないかな！」などアドバイスをもらったことで、改良する点が見付かって付け足しや手直しをしていた。

そして、保育園の子供たちが来る日がやってきた。子供たちは「保育園の子が喜んでくれるといいな！」「リハーサルもしたし、大丈夫だよ！」「小学校は楽しいところだって思ってくれるといいね！」と言いながら、お兄さん・お姉さんになった気持ちで保育園の子供たちに接していた。**「面白い！」「楽しいな！」と言って、夢中になって遊ぶ保育園の子供たち。プレゼントももらって、喜んでいた。保育園の子供たちは、笑顔で「ありがとう！！」と言っていた。それを聞いた子供たちもとても嬉しそうだった。**

振り返りでは、「秋のものを使っておもちゃを作って、喜んでもらえてよかったです！家でも創って家族に教えたいです。」「秋のものを使うと、いろいろなおもちゃが作れるって分かりました。冬のものでもチャレンジしてみたいです。」など楽しいからまた挑戦してみたいという記載があった。１２月の単元「じぶんで　できるよ」や、１月からの単元「ふゆいっぱい」にも繋がるものとなる価値の高い経験となった。

★知（③)、主（③)

だんだん面白くなってきたよ！/早く遊びたいし、遊んでもらいたいな！/
友達も自分と違う工夫をしていて、すごかったよ！/保育園の子に合わせた遊びも考えてみたいな！/ルールとかもつけると、ゲームみたいになって楽しいね！/

評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋の自然の変化の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付いている。	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと遊びを創り出そうとしたりしている。
学習活動（小単元）における評価規準	1	①色や形、においなど秋の自然の様子と夏の自然の様子との違いに気付いている。	①秋とその他の季節を比べながら、違いや特徴を見付けている。	
	2			
	3			④ 秋の自然と関わりたいという思いをもち、自然物を生かしたものを創ろうとしている。
	4	⑤ 季節によって楽しめる遊びが変わったり、生活の様子が変わったりすることに気付いている。	②秋の自然物を使うとどんな遊びができるかを思い描きながら、遊びに使う自然物を選んでいる。	②秋の自然物を生かして遊ぶことの楽しさを感じ、試行錯誤しながら季節の遊びを楽しもうとしている。
	5		③さまざまな自然物を試しながら、みんなでより楽しく遊べるように工夫し、おもちゃを作っている。	
	6	③自分が創り出した遊びで、みんなと一緒に楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。		③身近な自然物を使って、みんなと遊ぶことの面白さを実感し、これからも季節の遊びを創り出そうとしている。

単元の指導計画・評価計画（計２４時間）

小単元名(時数)	◎ねらい ○主な学習活動(時数)	小単元の評価時数との関連	評価規準から想定した具体的な子供の姿 評価方法 発発言分析　記記述分析 つつぶやき分析　行行動観察　作作品分析	●活用する資料、外部人材 ※関連する教科など
1　こうていであきをみつけよう （３時間）	◎幼児期や日常の経験を思い起こして、校庭で五感を通して秋の自然を見付けて、色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と夏の校庭の自然の様子との違いに気付くことができ			
	○校庭で､秋見つけをする。（２）	思－②	・幼児期に秋の自然物と関わった経験や、日常生活の中で見付けた秋の変化について話している。　行　つ	●木の専門家 ※図画工作の「さわりごこち　はっけん」 「ならべてならべて」
	○校庭で見付けた気付きや疑問について話し合い、記録カードにかく。（１）	知－①	・幼児期や日常生活の中で見付けた秋の自然物と同じ物を見付けたり､似た場所を見付けたりしている。　行 ・自分が見付けた葉や木の実の色や形、においなど秋の自然物の特徴や、気温など､秋の様子について､記録カードにかいている。　行　発 ・夏に校庭で見付けた物と比較している。　行　発	
2　こうえんであきをみつけよう （３時間）	◎身近な自然の様子を観察したり、自然物を利用して遊んだりしながら、秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探し、身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付くことができる。			
	○中庭で､秋見つけをする。（２）	思－②	・夏に中庭で見付けた物や様子について、友達と話している。　発	
	○中庭で見付けた気付きや疑問について話し合い、記録カードにかく。（１）	知－①	・幼児期や日常生活で秋の自然と関わった経験について話し合いながら､中庭で秋の自然物を見付けている。　発　行 ・茶色や黄色の葉など夏にはなかった自然物などを探し、友達と見せ合っている。　行 ・夏から秋になって､身近な自然の様子が変化していることを記録カードにかいている。　カ	
3　はっぱやみであ				

そぼう (３時間)	◎秋の自然と関わりたいという思いをもち、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選び出し、試行錯誤しながら秋の自然を生かした遊びを楽しむことができるようにする。			
	○秋の自然の中で遊ぶ活動について話し合ったり、秋の自然の中で遊んだり、葉や実などの自然物を使って遊んだりする。	態－①	・何度も自然物を探しに行ったり、いろいろな種類の自然物を試したり、友達と相談したりしながら秋の自然物を使って遊びやおもちゃをつくっている。 行 作 ・友達と一緒に遊んだり、見たり、聞いたりすることで、自分でももっと秋の自然物を使って遊びたいと話している。 つ 発	●どんぐり、栗、落ち葉、アメリカセンダングサ、木の実、さつまいもの蔓
4　あきのことをつたえよう (２時間)	◎秋の自然と関わったことを振り返り、夏の遊びと秋の遊びを比べ、季節によって生活の様子が変わることに気付き、季節を生かして遊ぶことに楽しさを感じて、これからも季節の遊びを楽しもうとすることができるようにする。			
	○秋の遊びを振り返り、見付けたことや気付いたことを話し合い、記録カードにかく。（１）	思－② 知－② 態－②	・自分がしてみたい、秋の自然物を使った遊びについて話している。 発 ・自分がしたい遊びについて話しながら、集めた自然物を色や形、大きさなどで仲間分けして、使う物を決めている。 発 行 ・校庭や中庭で見付けた秋や、秋の自然物を使って遊んだことを友達に話している。 発 ・夏に見付けた物と秋に見付けた物の違いや、夏の遊びと秋の遊びの違いを、友達に話している。 発 ・「秋っていいな」などと、秋の季節のよさについて、友達と話したり、記録カードにかいたりしている。 発 カ	※国語の「しらせたいな、見せたいな」
	○秋の自然の中で活動したことを振り返り、友達と紹介し合う。（１）			

5　あきのおもちゃをつくろう （7時間） 本時2／7	◎集めた自然物を試しながら比べて材料を選び、自分のおもちゃをつくる中で、試行錯誤して楽しいおもちゃを創り出そうとすることができる。			
	○秋の自然物を使っておもちゃをつくる。（3） ○つくったおもちゃを紹介し合い、工夫したり、改良したりする。（4）	思－③	・さまざまな自然物を組み合わせたり、動きを比べたりしながら、自然物の特徴について友達と話している。 発 ・自然物を選んでおもちゃをつくり、試しに選んでみてはその結果を観察するということを繰り返し、自分のつくりたいおもちゃに適した自然物を決めている。 発 行	※図画工作「たいせつ　ボックス」「わくわく　おはなし　すごろく」 ●どんぐり、栗、落ち葉、アメリカセンダングサ、木の実、さつまいもの蔓、木の枝、紙コップ、ペットボトル、紙皿、空き箱、プラスチック容器、糸、画用紙など
6　ようこそさかえしょうへ！あきのおもちゃまつり（仮）をひらこう （6時間）	◎一緒に楽しめる遊びやおもちゃを工夫してつくり、自分の遊びを創り出したことでみんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付き、これからも遊びを創り出そうとすることができるようにする。			
	○保育園の子供たちと遊ぶ計画を立て、準備する。（1） ○作ったおもちゃを2組の友達に紹介し、遊んでもらう。（1） ○アドバイスをもらったことを生かし、足りないところや改良した方がいいところを確認する。（1）	知－③	・遊ぶ計画を立てる中で、ルールを変えたり、工夫したりすると遊びが楽しくなることを友達に話している。 発	

	○作ったおもちゃを保育園の子供たちに紹介し、遊んでもらう。(1) ○おもちゃをつくったことや遊んだことを振り返り、生活科ノートに書く。(1)	態－③	・これからも遊びを創り出したいという思いを生活科ノートに書いている。 記	

○成果

・栄小学校の校庭や中庭を散策したり、みんなで探検をしたりしながら、**いろいろな自然物（樹木・花など）があることに気づく**ことができた。

・いろいろな自然物を触ったり、集めたりする経験を重ねたことで、より興味が広がり気づきが深まった。

・図工（さわりごこちはっけん、ならべてならべて）や国語（しらせたいな、見せたいな）、音楽（リズムを打とう、がっきとなかよくなろう）と関連付けた学びができた。**教科横断的**な学びが深まった。

・学校で見つけた秋の自然物を利用して、**自分が遊んでみたい、作ってみたいと思うおもちゃ**を作った。

１１月に保育園児が小学校訪問に来たので、１年生が作ったおもちゃを紹介して一緒に遊んだ。自分たちが作った、考えたおもちゃで遊んでもらうにあたり、**遊び方やルールを考え、丁寧に説明ができるよう練習をしたり、もっと楽しく遊ぶには・・・と考えて作り直しをしたり、工夫を重ねたりしてブラッシュアップ**を図った。**幼保小との関わりの中で、生活科をつないだ活動**が出来てよかった。**子供たちの成長**にもなった。

◎訪問の最後には、１年生からのプレゼントとして「秋のペンダント」を作製した。画用紙に落ち葉やどんぐりを貼りつけ、リボンを通したペンダントをもらって、**園児たちはとても喜んでいた。その様子を見て、１年生の子供たちも笑顔**になっていた。この経験は３学期の生活の単元「もうすぐ２年生」にもつながっていく。自分たちがお兄さん、お姉さんになるんだという喜びを味わえたことが心の糧となっていくだろう。

●課題

・秋のおもちゃ作りでは、自分の作りたいおもちゃのアイデアが浮かばなかったり、うまく形にできない児童も見られたりしたので、「１から自由に考えてみて」と丸投げするのではなく、**ある程度のヒントや導き、アドバイスなどは必要**だと感じた。

・栄小学校に自然物は多くあったが、おもちゃによっては（例えばどんぐりごまなど）レベルアップが難しいものもあった。**教師での声がけを工夫することが大事**だと思った。

・経験したことをノートやプリント、クロムブックで記録することが大切であるが、様々な方法で使い分けながらすると子供たちの気付きなどの蓄積が難しい。**子供たちが蓄積して実感を味わえるものを作成するとよい。**

お互いの目指す子供像を確認しながら、幼保小との関わりをもう少し増やせるといい。他者との関わりが希薄化しているため、年間を通して連携していくなどの活動があると子供たちのさらなる成長や自信につながると感じている。その際には、**教師側でも人・こと・ものとの出会わせ方を目的や子供たちの実態に沿って考えながら検討していく必要がある**と思った。

今回の取り組みは、**研究にもつながる一歩になった**と感じている。目の前にいる子供たちをじっくり観察したり、発言や呟きを積極的に取りあげたりしながら目指す子供像に合わせて今後も学習を進めていきたい。

第二学年単元配列表

	令和６年度　第２学年		年間指導計画									
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	3月
学校行事	始業式、入学式、着任式 １年生を迎える会 健康診断	三中学区合同引取り訓練 全校遠足 体力テスト	校内硬筆展 授業参観	１学期終業式	２学期始業式		運動会 親子ふれあい除草	校外学習(動物園) 音楽発表会・授業参観	２学期終業式	３学期始業式 校内書初め展	授業参観	修了式、卒業式 ６年生を送る会
児童活動												
国語(書写) (３１５)	こくごの　学びを　見わたそう じゅんばんに　ならぼう 絵を　見て　かこう つづけて　みよう ふきのとう 図書館たんけん 春が　いっぱい 日記を　書こう ともだちは　どこかな／[コラム]声の　出し方に　気を　つけよう	たんぽぽの　ちえ [じょうほう]じゅんじょ かんさつ名人になろう	いなばの　白うさぎ 同じ　ぶぶんをもつ　かん字 スイミー かん字の　ひろば① [じょうほう]メモを　とるとき こんな　もの、見つけたよ／[コラム]丸、点、かぎ	あったらいいな、こんなもの 夏が　いっぱい お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし		雨のうた ことばでみちあんない みの回りのものを読もう 書いたら、見直そう かんじのひろば② どうぶつ園のじゅうい かたかなひろば ことばあそびをしよう	なかまのことばとかん字 かん字のひろば③ 国語の学びを見わたそう お手紙 主語と述語に気をつけよう かん字の読み方 秋がいっぱい そうだんにのってください	紙コップ花火の作り方／おもちゃの作り方をせつめいしよう はんたいのいみのことば、はんたいのいみのことば せかい一の話 かん字のひろば④ みきのたからもの	お話のさくしゃになろう 冬がいっぱい	ねこのこ／おとのはなびら／はんたいことば かたかなで書くことば ことばを楽しもう ロボット ようすをあらわすことば	見たこと、かんじたこと カンジーはかせの大はつめい すてきなところをつたえよう スーホーの白い馬	かん字の広場⑤ 楽しかったよ、二年生 二年生をふりかえって
算数(１７５)	学びのとびら わかりやすく　あらわそう たし算の　しかたを　かんがえよう	ひき算の　しかたを　かんがえよう どんな　計算に　なるのかな？	長さを　はかって　あらわそう １００より　大きい　数を　しらべよう	水のかさを　はかって　あらわそう 時計を　生活に　生かそう		計算の　しかたを　くふうしよう ひっ算の　しかたを　考えよう	さんかくや　しかくの　形を　しらべよう 新しい　計算を　考えよう	九九を　つくろう	九九を　つくろう	１０００より　大きい　数を　しらべよう	長い　長さを　はかって　あらわそう 図を　つかって　考えよう 分けた　大きさの　あらわし方を　しらべよう	はこの　形を　しらべよう ２年のふくしゅう
生活(１０５)	春だ　今日から２年生 ぐんぐんそだて　わたしの　野さい	ぐんぐんそだて　わたしの　野さい どきどき　わくわく　まちたんけん	生きもの　なかよし　大作せん	生きもの　なかよし　大作せん		うごくうごく　わたしのおもちゃ	みんなでつかうまちのしせつ	もっと　なかよし　まちたんけん	つながる　広がる　わたしの　生活	あしたへ　ジャンプ	あしたへ　ジャンプ	あしたへ　ジャンプ
音楽(７０)	音楽で　みんなと つながろう	はくの　まとまりを かんじとろう	ドレミで　あそぼう	せいかつの　中に ある　音を　楽しもう		リズムを　かさねて 楽しもう	くりかえしを みつけよう	いろいろな　がっきの 音を　さがそう	ようすを おもいうかべよう	日本の　うたで つながろう	みんなで　あわせて 楽しもう	みんなで　あわせて 楽しもう
図画工作(７０)	すきなこと　なあに ねん土が　うごき出す！ 新聞と　あそぼう	ぼかしあそびで ふしぎな　いきものあらわれた	みんなで　ワイワイ！紙けん玉 えのぐじま くっつき　マスコット	大きく　そだて、びっくりやさい		こんにちは、むぎゅたん 見つけたよ、わたしの色水 “いろいろ　もよう（形と色でショートチャレンジ）”	のりのり　おはながみで えのぐを　たらしたかたちから	えのぐひっぱ　レインボー しぜんからの　おくりもので	どうぶつさんと　いっしょに すけるん　たんじょう	あなの　むこうは　ふしぎな　せかい	めざせ！カッターナイフ名人 まどのある　たてもの	いっぱい　うつして かぶって　へんしん
体育(１０５)	体ほぐし ボール投げゲーム （まとあてゲーム）	多様な動きをつくる運動 (体のバランス・力試し) 水遊び	水遊び 鉄棒を使った運動遊び 走の運動遊び（くねくねコースリレー）	ボール投げゲーム (投げ入れゲーム)		多様な動きをつくる運動 (体の移動・用具) 固定施設を使った運動遊び マットを使った運動遊び	表現遊び・リズム遊び	鉄棒を使った運動遊び 跳の運動遊び(高跳び遊び)	固定施設を使った運動遊び 跳び箱を使った運動遊び	多様な動きをつくる運動 (バランス・用具) 走の運動遊び (ハードルコース)	ボール蹴りゲーム	鬼遊び
外国語活動	あいさつをしよう	ごきげんいかが	数であそぼう	体の名前を知ろう		体を動かそう	すきないろなあに	すきなどうぶつなあに	すきなたべものなあに①	すきなたべものなあに②	いろいろなかたち	1年間のまとめをしよう
道徳(３５)	大きく　なったね 金の　おの 本がかりさん　がんばって　いるね	ぽんたと　かんた ありがとうって　言われたよ 一りん車	がまんできなくて 虫が　大すき－アンリ・ファーブル－ 三びきは　友だち およげない　りすさん	ぎおんまつり タヒチからの　友だち		花火に　こめられた　ねがい あぶないよ おじさんからの　手紙 ねえ、聞いて	りえさんの　よい　ところ きつねと　ぶどう わりこみ お月さまと　コロ	さて、どうかな やくそく おばあちゃん　お元気ですか くりの　み	わたしたちの　校歌 なんどでも	きまりの　ない　学校 どうして　ないてるの ぐみの木と　小鳥	ある　日の　くつばこで 七つの　星 なまけにんじゃ 森の　ゆうびんやさん	ハッピー・バースデー 生きて　いるから ①ドッジボール ②あいさつが　きらいな　王さま ③どうぶつの　かくれんぼ
特別活動(３５)	２年生になって	遠足事前指導 避難訓練事前事後指導 ライオンさんが強いわけ	大人の歯と子どもの歯 安全な登下校	夏休みについて		二学期を楽しく過ごそう	家庭学習の仕方 本をたくさん読もう	友だちと仲良く きれいにしよう通学路や公園	物を大切にしよう 冬休みの過ごし方	今年のめあてをたてよう 給食週間の取組	風邪に負けない体をつくろう みんなで使うもの	６年生ありがとう もうすぐ３年生

２年生　材：夏野菜【２学期　内容(７)】

単元名　ぐんぐんそだてわたしの野さい

単元の目標（＿＿：知識・技能、＿＿：思考・判断・表現、＿＿：学びに向かう人間性等）

野菜を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、野菜の変化や成長の様子を関心をもって働きかけ、野菜が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。

単元の評価規準（★）				
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		野菜を継続的に栽培する活動を通して、野菜が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	野菜を継続的に栽培する活動を通して、野菜の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	野菜を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。
学習活動（小単元）における評価規準	1	①たねや苗を植える中で、野菜はたねや苗から育っていることに気付いている。	①自分の育てたい植物を、栽培する時期や場所などの条件で分類しながら、これから育てる植物を決めている。	
	2	①自分の育てている植物が成長していることに気付いている。	①１年生での経験や身近な人に聞いたことを基に、植物の成長の様子を思い描きながら世話の仕方を決めている。	①野菜の様子や必要な世話について、紹介し合ったり、話し合ったりしようとしている。 ②育てている野菜の状況に応じて、詳しい人に世話の仕方を聞いたり本で調べたりして、世話の仕方を変えようとしている。
	3	①異なる植物にも、同じような特徴や性質があることに気付いている。 ②自分が育てている野菜に適した育て方に気付いている。	①友達と自分の世話の仕方を比べながら、自分の野菜に適した世話の仕方を決めている。 ②育ててきた野菜について、振り返りながら、成長についての自分なりに自分に合ったまとめ方を選んでいる。	①適切な方法で、植物の世話をしている。
	4	①自分が世話を工夫したことで、野菜が大きく成長したことに気付いている。		①植物を育てることのよさを実感し、植物に親しみをもって、これからも植物と関わろうとしている。

○小単元の授業の展開構想【生活科２年　ぐんぐんそだてわたしの野さい　(全１２時間)】

目指す子供たちを実現するための具体的な取り組み【手立て】

① 野菜を育てやすい環境づくり（ベランダに植木鉢を設置する等）
② 野菜の育て方をネットで調べる（動画で調べることで、低学年でもわかりやすい）
③ 育てたい野菜を決定させることで意欲をもたせる

子どもの意識 ［　］ 学習のストーリー（○）気付き［　］ ねらい◎　評価★　教科横断＿	備考
夏野菜をそだてたいな（生活） ○夏野菜にどんなものがあるか、教科書をもとに確認したり、教科書に載っているもの以外にどんなものがあるかクロムを使って調べたりする。ミニトマトとサツマイモ、他に自分で育ててみたい野菜を決める。 ミニトマトは各クラスで植木鉢に、サツマイモは学年で一斉に畑に植える。各自で決めた野菜（とうがらし、ししとう、ピーマン、きゅうり、トマト、落花生、なす、かぼちゃ　とうもろこし）も学年で一斉に植える。（ミニトマトはベランダで育てた） 適宜観察する時間を取り、観察カードを書かせる。（ロイロで写真を撮り、メモをする→観察カードにまとめる）また、本やクロムで野菜の育て方や病気について調べ、できそうなものを実践していく。（重曹スプレー、わき芽を取る、病気の葉を取り除くなど） ミニトマトや各自植えた野菜など、収穫できそうなものについては各自で収穫し、自宅に持ち帰ったり、給食の時間に食べたりした。夏休み中は水やりができるときにはするよう声掛けをした。 ミニトマト：中川さん さつまいも：中川さん 各自できめた野菜：ホームセンターで購入 良く育ったもの　　きゅうり　なす　ししとう　ピーマン 育たなかったもの　とうもろこし　トマト　落花生　かぼちゃ　とうがらし ★知（①）、思（①） うどん粉病っていう病気があるよ。重曹スプレーやお酢スプレーがいいみたいだよ。 ミニトマト甘くておいしい。野菜の育て方もっと調べたいな。 わき芽をとると成長するみたいだよ。鳥に食べられて悔しい。防鳥ネットがいいみたい。	※国語『たんぽぽのちえ』

単元の指導計画・評価計画（１２時間）

小単元名(時数)	◎ねらい ○主な学習活動(時数)	小単元の評価時数との関連	評価規準から想定した具体的な子供の姿 評価方法 発発言分析　記記述分析 つつぶやき分析　行行動観察　作作品分析	●活用する資料、外部人材 ※関連する教科など
そだてる野さいをきめよう（２時間)	◎野菜を育てたいという思いをもち、栽培する時期や場所などの条件で分類しながら、自分の育てたい植物を決めようとすることができるようにする。			
	○自分で栽培する野菜を決める。(１)	思１―①	・季節や場所など、野菜を育てられる条件を図鑑などで調べ、育てる野菜を決めている。 行　発	●野菜のたねや苗 ●野菜を育てるための本 ●近所の農家
	○たねをまいたり、苗を植えたりしながら、気付いたことを記録カードに書く。(１)	知１―①	・１年生のときの経験を基に、苗の植え方を友達と相談しながら、苗を植えている。 行　発	※国語「たんぽぽのちえ」
野さいのせわをしよう（６時間)	◎これまでの経験を基に、植物の成長の様子を思い描きながら世話の仕方を決め、植物の状況に応じて聞いたり調べたりして世話の仕方を変えていく中で、植物が生命をもっていることに気付くことができる。			
	○野菜の様子を紹介し合い、必要な世話について話し合う。(１)	態２―①	・水やりや肥料など、１年生のときに行った世話の経験について話し、これから育てる野菜に必要な世話について調べたり話したりしている。 発　行	●育てている野菜 ●野菜の世話の仕方の本 ●近所の農家 ※図画工作の「大きくそだて、わたしのやさい」
	○必要に応じた世話をして、野菜の成長の様子や世話の様子を記録カードに書く。(５)	思２―② 態２―②	・育てている野菜について、困ったことや心配なことなどを詳しい人に聞いたり本で調べたりなどしながら、世話を続けている。 行	
		知２―①	・これまでに書いた記録カードをそろえ、野菜が大きく成長していることについて友達と話したり新たに記録カードを書いたりしている。 発　作	
野さいのようすをつたえ合おう(２時間)	◎友達の世話の仕方と、自分が育てている野菜の特徴、変化や成長の様子を関連付けながら、自分の世話の仕方を見直す中で、異なる植物にも、同じような特徴や性質があることに気付くことができるようにする。			

	○野菜の成長の様子や世話の仕方の報告会を通して、気付いたことを話し合う。（1）	知３―① 態３―①	・友達の野菜の様子についての発表を聞き、違う野菜でも同じような特徴があることについて友達と話している。 発	●育てた野菜 ●記録用カメラ ●記録カード
	○話し合ったことを生かし、自分の育てている野菜に必要な世話を行い気付いたことや思ったことを記録カードに書く。（1	思３―① 知３―② 思３	・友達から聞いた世話の中から、自分の野菜にも使えそうな世話の仕方を選び、試してみたい方法を決めて、記録カードを書いている。 作 ・野菜の世話を時系列に沿って、振り返りながら、自分の世話のことや野菜の成長について、作品にまとめようとしている。 作　行	※国語「かんそう名人になろう」
野さいをしゅうかくしよう（２時間）	◎自分が世話を工夫したことで野菜が大きく成長したことや上手に世話をすることができるようになったことに気付くとともに、野菜を育てることのよさを実感し、植物に親しみをもって、これからも植物と関わろうとすることができるようにする。			
	○収穫したことを振り返り、気付いたことを話し合う。（2）	知４―①	・収穫時を迎えた野菜の成長について、友達と話している。 発	●作品作りの材料 ●図鑑 ●記録カード
	○書き溜めてきた記録カードをまとめ、まとめたものを紹介し合う。（1）	態４―①	・自分が世話を続けてきたことや、それが野菜の成長につながったことなどについて、発表している。 発　作	

２年生の実践記録

本年度の取り組み

○夏野菜について、教科書をもとに確認したり、教科書に載っているもの以外にどんなものがあるのかクロムを使って調べたりした。調べたことをもとに、自分で育ててみたい野菜を決定した。（ミニトマト＋サツマイモ＋自分で育ててみたい夏野菜）
○ミニトマトは植木鉢に植え、さつまいもと夏野菜は学年の畑に植えた。
○適宜観察する時間をとり、観察カードを記入していく。ロイロノートで観察カードを配付し、写真を張り付けさせたり、観察したことをまとめさせたりした。
○本やクロムで野菜の育て方や病気について調べ、できそうなものについては実践した。（重曹スプレー、わき芽を取る、病気の葉を取り除くなど）
○収穫できそうな野菜は各自で収穫し、自宅に持ち帰ったり、給食の時間に食べたりした。

①実践しての成果

○夏野菜について調べ、自分で育ててみたい野菜について決定したため、育てようとする意欲が高かった。
○野菜に興味をもち、病気や虫、鳥への対策についてじっくり調べることできた。実践できるものは実践したため、「自分たちがやってみたいものが実現できる」というところから、意欲がさらに高まったと思う。
○情報収集や観察カードの記入でクロムを活用したことで、ICT の活用の仕方が定着してきた。
○さつまいもは１年生も植えていたため、２学期にさつまいも交流会を行うことができた。異学年交流を行う機会を増やすことができ、１年生との仲を深める良い機会になった。

②実践しての課題

○低学年で育てることが難しい野菜はなかなか実らず、結実しやすい野菜と比べ収穫数に差が大きくついてしまったため、教員側で低学年でも育てやすい野菜について、十分に調べておく必要がある。
○楽しく野菜を収穫したが、自分は食べずに家族だけ食べたという児童もいたため、自分で食べられるように指導を計画していく必要があると感じた。
○どのような形でまとめるかや誰に向けて伝えるかなど、児童と話し合いながら進めていくことで、楽しさだけでなく、目的意識をもって活動に取り組むことができると考えられる。

第三学年単元配列表

年間指導計画(第６学年)	単元目標　自分たちが住んでいる地域の人々や関わる活動や町探検を通して、自分たちの周りの様子やよさに気付き、地域のよさを自分たちから発信できるようにする。

４月 / ５月 / ６月 / ７月 / ８・９月 / １０月 / １１月 / １２月 / １月 / ２月 / ３月

教科	単元
総合的な学習の時間(７０)	**栄のいいとこ見つけたよ！～自分たちの町を見つめよう～（２０時間）** 〇総合の授業のオリエンテーションをする。 〇栄地区のお店や施設を調べる。 〇栄地区のいいところを整理する。 〇栄地区のいいとこマップを完成させる。 **もっと知りたい、栄のこと～自分たちの町を深く知ろう～（３５時間）** 〇栄地区が元気な町であるためにできることを考える。 〇お店や施設の方の願いや思いを知る。 〇調べたことを整理し、地域の方の共通の思いに気付く。 〇栄地区のためにできることを報告し合う。 **栄のよさをお伝えします！～自分たちの町を広めよう～（２５時間）** 〇２学期に考えた取り組みを継続して行う。 〇PR作品を作るための情報を集める。 〇これまでの取り組みを学年発表会で伝え合う。
国語(２４５)	よく聞いて、じこしょうかい / どきん / わたしのさいこうの一日 / 春風をたどって / 図書館たんていだん / 国語辞典を使おう / 漢字の広場① / 春のくらし / もっと知りたい、友だちのこと [コラム] きちんとつたえるために / 漢字の音と訓 / 漢字の広場② / 文様 こまを楽しむ [じょうほう] 全体と中心 / 気もちをこめて、「来てください」 / 漢字の広場③ / まいごのかぎ / 俳句を楽しもう / こそあど言葉を使いこなそう / [じょうほう] 引用するとき / 仕事のくふう、見つけたよ 【コラム】符号など / 夏のくらし / 本で知ったことをクイズにしよう 鳥になったきょうりゅうの話 / わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる / こんな係がクラスにほしい / ポスターを読もう / 書くことを考えるときには / 文の組み立て / ローマ字 / ちいちゃんのかげおくり / 修飾語を使って書こう / 秋のくらし / おすすめの一さつを決めよう / すがたを変える大豆 食べ物のひみつを教えます / ことわざ・故事成語 / 漢字の意味 / 短歌を楽しもう / 漢字の広場④ / 三年とうげ / わたしの町のよいところ / 冬のくらし / 詩のくふうを楽しもう / 四まいの絵を使って / カンジーはかせの音訓かるた / 漢字の広場⑤ / ありの行列 / つたわる言葉で表そう / たから島のぼうけん / お気に入りの場所、教えます / モチモチの木 / 漢字の広場⑥ / 三年生をふり返って
社会(７０)	導入(オリエンテー / 学校のまわり / 市のようす / 導入(オリエンテー / 農家の仕事 / 店ではたらく人 / 導入(オリエンテー / 火事からくらしを守る / 事故や事件からくらしを守る / 導入(オリエンテー / 市の様子と人々のくらしのうつりかわり
算数(１７５)	学びのと / かけ算 / 時こくと時間のもとめ方 / わり算 / たし算とひき算の筆算 / 長いものの長さのはかり方と表し方 / ぼうグラフと表 / 暗算 / あまりのあるわり算 / 大きいな数のしくみ / かけ算の筆算(1) / 大きい数のわり算、分数とわり算 / どんな計算になるかな？ / 円と球 / 小数 / 重さのたんいとはかり方 / 分数 / □を使った式 / かけ算の筆算(2) / 倍の計算 / 三角形と角 / そろばん / 考える力をのばそう / ３年のふくしゅう
理科(９０)	生き物を調べよう / 植物の育ち / 植物の体のつくり / チョウの育ち方 / こん虫の育ち方 / 風の力 / ゴムの力 / 大きく育つころ / 花をさかせたあと / こん虫の体のつくり / こん虫のいる場所や食べ物 / 花をさかせたあと 植物の育ち / かげと太陽 / 日なたと日かげ / 光の進み方 / 光を重ねる・集める / 音が出ているとき / 音がつたわるとき / 形をかえたものの重さ / 体積が同じものの重さ / 明かりがつくつなぎ方 / 電気を通すもの・通さないもの / じしゃくにつくもの・つかないもの / じしゃくと鉄 / じしゃくのきょく / 作って遊ぼう
音楽(６０)	音楽で心をつなげよう / 歌って音の高さをかんじとろう / リコーダーのひびきに親しもう / 拍にのってリズムをかんじとろう / せんりつのとくちょうをかんじとろう / せんりつの重なりをかんじとろう / いろいろな音のひびきに親しもう / ちいきに伝わる音楽でつながろう / 思いを音楽で表そう / みんなで楽しく(年間)
図工(６０)	かいて見つけるわたしのすきなもの / 切ってかき出してくっつけて / 絵の具＋水＋ふで＝いいかんじ！ / うごいて楽しいわりピンワールド / ひもでつないで / 立ち上がった絵の世界 / 空きようきのへんしん / あの日あの時の気持ち / トントン　どんどん　くぎうっ / 土をかんじて / お気に入りの葉 / ぬのでえがくと / ここがすみか / これでかきたい / ことばから思いうかべて / クミクミックス / だんボールの形をかえて / 顔を出したらなんだかワクワク / いろいろうつして / マグネット・マジック / 絵を見て話そう / ねん土マイタウン
体育(１０５)	体ほぐし運動 / 鉄棒運動 / かけっこ・リレー / 多様な動きをつくる(体のバランス・力試し) / 保健（健康な生活） / マット運動 / 水泳運動 / タグラグビー / 多様な動きをつくる運動(体の移動・用具・組み合わせ) / 表現・フォークダンス / セストボール / 多様な動きをつくる運動(バランス・力試し) / 小型ハードル / セストサッカー / 跳び箱運動 / 鉄棒運動 / 幅跳び
外国語活動(３５)	あいさつをして友だちになろう / ごきげんいかが / 数えてあそぼう / すきなものをつたえよう / 何がすき？ / アルファベットとなかよし / カードをおくろう / これなあに？ / きみはだれ？
道徳（３５）	いのちのまつりヌチヌグスージ / もっと調べたかったから / やさしさのバトン / 気づいていなかったこと / きいているかいオルタ / さと子の落とし物 / 心をしずめて / あこがれの人 / きまりはだれのため？ / ふろしき / 同じ小学校でも / ごめんね、サルビアさん / 学級しょうかい / 王様のサンドイッチ / うまくなりたいけれど / あの日のこと / お母さんの「ふふふ」 / 同じなかまだから / たからさがし / バスの中で / お母さんのせいきゅう書 / みんなのわき水 / まどガラスと魚 / 水族館ではたらく / れいぎ正しい人 / ぼくを動かすコントローラー / いちばんうれしいこと / 助かった命 / ぼくのボールだ / これ、全部東京産 / いつもありがとう / ダブルブッキング / たっきゅうは四人まで / ジュースの空きかん / 光の星 / がんばれ友ちゃん / なんにも仙人 / どんどん橋のできごと
学級活動(３５)	３年生になって / 遠足事前指導 / 虫歯の予防 / 夏休みについて / 二学期を楽しく過ごそう / 本をたくさん読もう / きれいにしよう通学路や公園 / うんこの旅 / 友だちの良いところを見つけよう / 冬休みの過ごし方 / 今年のめあてを決めよう / 給食週間の取り組み / みんなで使うもの / 寒さに負けない体をつくろう / ６年生ありがとう / もうすぐ４年生

SDGsとの関連

活動の流れ　全７０時間

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

小単元名「　栄のいいとこ見つけたよ！　」
（２５時間）

【小単元の目標】
３年生のみんなで栄地区のいいとこマップを作ろう

【課題設定】
○栄地区にある店や公共施設、町の特色を調べる。（社会、地区探検）
【情報収集】
○学区探検に出かけたり、インターネットを使用したりして町の様子を調べる。
【整理・分析】
○調べたことから自慢したいこと、伝えたいことを決め、発表資料を作成する
【まとめ・表現】
○学年発表会を行い、栄地区のいいとこマップを完成させる。

小単元名「　もっと知りたい、栄のこと！　」
（２５時間）

【小単元の目標】
栄地区の人々の地域に対する思いを知り、自分たちにできることを考えよう

【課題設定】
○栄地区が元気な町であるために自分たちにできる課題を設定する。
【情報収集】
○地域の方の思いや願いを聞きに行く。
【整理・分析】
○調べたことから何を伝えるか決め、何ができるか考える。
○スライドにまとめる。
【まとめ・表現】
○学年で中間報告会を行う。

小単元名「　栄のよさをお伝えします！　」
（２０時間）

【小単元の目標】
栄地区のために自分にできることを実行しよう

【課題設定】
○栄地区のお店や施設のために継続してできる課題を設定する。
【情報収集】
○自分にできることを継続的に取り組む。
○お店や施設と関わる中で、その良さを見つける。
【整理・分析】
○活動の報告の仕方を考える。
○お店や施設の紹介パンフレットを作成する。
【まとめ・表現】
○授業参観で発表会を行う。

【地域人材・関係機関】
栄四丁目商店会（魚双、喜多見屋、まぜこぜ食堂、肉のまきたなど）、並木農園、福祉の里など

単元名　大すき、栄！

単元の指導計画・評価計画（７０時間）

探究の過程	○主な学習活動 ・学習内容 「　」予想される児童の反応	◇指導上の留意点（配慮・手立て） ★評価　評価方法 発発言分析　記記述分析 つつぶやき分析　行行動観察　作作品分析	○言語活動 △活用する力 （SDGｓ、関連教科等） ●活用する資料、外部人材
課題設定	○栄地区について知っていること、まだ知らないことなどを明確にしていく。 ・栄地区について知っていることを、ウェビングで書き出す。 「四条通りを見に行きたいな」 ○地区探検に出かける。 （市場坂通り、福祉の里、栄交番、三丁目公園、栄緑道） ・調べてきたことを基に、栄地区の地図作りを行う。 ・地図に店、公共施設、会社などを付け足す。 「四条通りにはお店がたくさんあることがわかったよ」 「市場坂通りにもう一度行って調べてきたいな」 課題：栄地区いいとこマップを完成させよう	◇社会「わたしのまち　みんなのまち」が始まるので、それに合わせて関連を図りながら進める。 ★栄地区との関りを通して、感じた関心をもとに課題を作り、解決の見通しをもっている。（課題の設定）　発　記	△社会「わたしのまち　みんなのまち」 △SDGｓ１１ ○調べたことを伝え合い、地図に書き表す。 ●学区地図（紙とロイロノートで配布）
情報収集	○学区探検に出かけたり、インターネットを使用したりして町の様子を調べる。 ・チームに分かれ調べたい通りに行き、調べる。 ①　市場坂通り→一条通り ②　一条通り→二条通り ③　四条通り→三条通り ・店の情報をインターネットで調べる。	◇栄地区の全体的な情報はわかってきたが、通りによって詳しく調べられたところとあまり詳しく調べられなかったところがあったので、さらに詳しく調べに行く。 ★課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報収集）　発　記　行 ★課題解決に向けて自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。	△社会「わたしのまち　みんなのまち」 ●四丁目商店会、市場坂通りの店や施設

		（自己理解・他者理解）つ　行	
整理分析	○調べたことから自慢したいこと、伝えたいことを決め、発表資料を作成する ・調べたことから伝えたいことを整理する。 ○○さんたちはこのお店について発表したいんだね。今わかっている情報は？ 「このお店は○○が有名！」 「○○ができるよ」 ・マップに載せる情報を選び、表現方法を考える。	★栄地区のよさやそれを支える人々の思いや取り組みを理解している。（概念的な知識）発　つ　記 ★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理・分析）記	△社会「わたしのまち　みんなのまち」 ○調べてわかったことについて話し合う。
まとめ 表現	○学年発表会を行い、栄地区のいいとこマップを完成させる。 ・調べたことを発表する。 「四条通りには○○というお店があります。おすすめは○○です。」 「市場坂通りの○○について発表します。○○では～をすることができます。」 ・それぞれの情報をマップに掲載する。	★相手や目的に応じで、分かりやすく表現している。（まとめ・表現）発　行　作 ★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとしている。（主体性・協働性）発　つ　記	△社会「わたしのまち　みんなのまち」 ○調べたことについて伝え合う。
課題設定	○栄地区が元気な町であるために自分たちにできる課題を設定する。 四条通りの探検中、喜多見屋さんが「昔はもっとお店も人も多かったんだけど…」とお話をしてくれていた。 「昔の商店街のように活気が戻ってほしい！」 「商店街のために何かしたい！」 課題：栄地区が元気な町であるためにできることは何だろう。	◇夏休み中に、四丁目商店街の会長や商店街のお店の方を訪問する。 ★栄地区との関りを通して観じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）発　記 ★課題解決に向けて自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。（自己理解・他者理解）つ　行	△社会「農家の仕事」「店ではたらく人」 ○これまでに調べたことや自分が知っていることをもとに話し合う。 △SDGｓ２，１５

情報収集	○具体的に何ができるか考えを出し合う。 何をしたい？ 「お店の人の手伝いをしたい。」 「お店のもの買いたい。」 「おそうじする。」 地域の人が言っていたの？ 「言っていない。」 「ぼくたちがやりたいこと。」 「本当にしてほしいことがわからない。」 「地域の人に聞きたい。」 ○地域の方の思いや願いを聞きに行く。 ○栄四丁目商店会について、地域の人がやってほしいことについてインタビューをする。 お互いに気持ちよくインタビューをするには、どんなことに気を付ければいいのかな。 「自己紹介する。」 「丁寧な言葉づかい。」	◇具体的にどうしていけるかを考えさせる。 ◇地域の人に実際に聞く必要感を持たせる。 ◇インタビューの仕方については、学年で確認する。 ★地域の方にインタビューしたり、町探検をして栄地区を調査したりする。(技能)記　行 ★課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。(情報の収集)発　つ　記	△社会「農家の仕事」「店ではたらく人」 ●栄地区の施設・お店 （ポチの家、喜多見屋、シナノヤ、まぜこぜ食堂、宮川商店、焼き鳥中川、福祉の里、いなげや、仲花苑） ○地域の方にインタビューする。
整理分析	○調べたことから何を伝えるか決め、何ができるか考える。 ○ロイロノートを使って、情報収集したものを整理する。(個人→全体) （ベン図・・・自分がしたいこと、お店の人がしてほしいこと→共通点、相違点） ○店は違っても、地域の方の思いには共通点があることに気付かせ、それを今後の活動のテーマとする。 ○スライドにまとめる。	★地域の独自性への理解は、いろいろな人の努力と協力について探求的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 （探求的な学習のよさの理解）　記　発　行 ★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理して考えている。(整理･分析)発　記　作	○調べたことについて話し合う。
まとめ 表現	○インタビューをしてきて、地域の人がやってほしいこと、自分たちができそうなことを中間報告会で報告し合う。 「お店の掃除を頼まれた。」 「新しいメニューを作ってほしいそうです。」	★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。(まとめ・表現)行　作 ★地域との関わりの中で自分にできることを見つけようとしている(将来展望･社会参	△国語「ポスターを読もう」 「わたしの町のよいところ」 ○報告会で伝え合う。

	「PR の音楽なら作れる！」 「お店の宣伝をしたいから CM を作ろうかな。」 「POP やポスターで PR できる！」 ○テーマを決めて活動を始める。１つのお店と関わり、関係を深めていく。 「また来たいと思えるお店にするために○○します！」	画）　発　記	
課題設定	○栄地区のお店や施設のために継続してできる課題を設定する。 「ポスターを作ってお店の宣伝をしよう。」 「CM を撮ろうよ。」 課題：栄地区のために私たちができる取り組みを続けていこう	★栄地区との関りを通して観じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）発　記 ★課題解決に向けて自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。（自己理解・他者理解）発　つ　記	●栄地区の施設・お店 （ポチの家、喜多見屋、シナノヤ、まぜこぜ食堂、宮川商店、焼き鳥中川、福祉の里、いなげや、仲花苑） ○どんなことに取り組むか話し合う。 △SDG s １１
情報収集	○自分にできることを継続的に取り組む。 ○PR の作品作りに向けて、お店に対しての調査をする。 栄地区の施設について、学校から作品が作れるように必要な情報を決め、インタビューをする。 お互いに気持ちよくインタビューをするには、どんなことに気を付ければいいのかな。 「自己紹介する。」 「丁寧な言葉づかい。」 「どんな目的でインタビューするのか」 ○お店や施設と関わる中で、その良さを見つける。 ○インタビューを動画に撮り、確認する。 「目線も考えなくちゃ」 「聞きたいことは覚えておかないと」	◇インタビューの仕方については、学年で確認する。 ◇インタビュー原稿を作成する際は、自己紹介･インタビューの目的･必要な情報の洗い出しを行うよう指導する。 ★地域の方にインタビューしたり、町探検をして栄地区を調査したりする。（技能）行　記 ★課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報の収集）発　行　記	△国語「お気に入りの場所、伝えます」 ○地域の方にインタビューをする。
整理分析	○クラスでそれぞれ調べてきた情報を確認し合う。 「このお店は○○がおすすめです。○○がほかとは違うところです。」	◇チラシやポスターを見る人が見やすくなるようにするにはどんな情報を強調するべきかなどを考えさせる。	△国語「ポスターを読もう」 △音楽「ちいきに伝わる音楽でつながろう」

	○活動の報告の仕方を考える。 ○集めた情報をもとに、PR の作品を作り始める。 「この商品がおすすめだからこの商品のチラシを作る。」 「お店の紹介のためのポスターを作りたい。」	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理して考えている。(整理･分析)発　記　作	○調べてことについて話し合う。
まとめ 表現	○作品を通して、栄地区の魅力について発表会をする。 「私たちは、○○の○○について、PR する作品を作りました。」 「いいね、お家の人と行ってみよう。」 ○一年間の活動を振り返る。	◇どんな商品・取り組みなどをどんな作品で表現したのかを発表する。 ★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。(まとめ・表現)発　行　作 ★地域の独自性への理解は、いろいろな人の努力と協力について探求的に学習してきたことの成果であることに気付いている。(探求的な学習のよさの理解)発　記	○発表会で取り組みを報告し合う。 ○これまでの自分の活動を振り返り、成果と課題を書く。

３年生の実践記録

① 実践しての成果

・新しい教科である社会と総合を並行で進めることで、児童は意欲的に活動をすることができた。児童によって行動範囲や生活経験が違うので、知っていることと知らないことを明確にし、課題づくりにつなげることができた。

・自分が調べたいお店や施設を決めたことで活動の中心となる部分が決まり、益々意欲的に活動が進んだ。調べていく中で「分からないことがあったから聞いてみよう」、「もっと調べよう」と自然と次にやるべきことを見つけられるようになった。

・札幌栄小に栄地区のことを伝えるために資料を作成したり、動画撮影をしたりしたことで調べたことを相手に伝えるために必要なスキルについて３年生なりに考えることができた。動画撮影をしたことで自分がどう見られているのかを確認することができたり、反省を生かしてより伝わる発表にしようと粘り強く取り組んだりすることができた。

② 実践しての課題

・社会の学習や見学に合わせて総合の活動ができるよう、年間を通して社会との関連の見通しをもつこと。（４月学区探検、９月スーパーの仕事、１１月農家の仕事）

・伝える相手が遠すぎたので伝え方、伝える内容を深めきれなかった。３年生の児童が相手意識を明確にするためには、身近な対象にするとよい。そして、課題からぶれることなくどの活動にも取り組むことができるよう、常に相手意識を持たせることが大切。

・整理・分析では、個人で調べたことを全体で共有し、さらに情報を広げたり深めたりできるとよい。

・児童の活動を深めるためには、教師と地域が深くつながりを築いていくことが大切。お願いするだけでなく、地域の中で買い物をしたり継続的にコミュニケーションをとったりしていくことで winwin な関係を作っていきたい。

第四学年単元配列表

年間指導計画(第4学年)

単元目標　世の中の様々な人々に目を向け、交流したり体験活動をしたりする中で、高齢者や障害のある方々などの思いや考えに気が付き、福祉的な見方・考え方をもち、自己との関わりについて考え、これからの行動や生き方に生かすことができる。

4月　5月　6月　7月　8・9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

総合的な学習の時間(７０)

「福祉」とは？～様々な人に目を向けよう～（２０時間）

○「福祉」とは何かを知る。
（バリアフリーやユニバーサルデザインという言葉もおさえる）
○アイマスク体験や車いす体験をする。
○体験活動から、浮かんだ疑問や考えたことをもとに、当事者の方（社会福祉協議会）の話を聞く。

スポーツにはどんな工夫があるの？～パラスポーツを通して～（３０時間）

○様々な人のためにどんな工夫があるのか探すために福祉の里や特別支援学校を見学をする。
○パラスポーツに目を向け、障害のある人でも楽しめるようにどんな工夫があるのか知る。
○手話や点字などのコミュニケーションツールについても知る。
○和光特別支援学校との交流会をする。

みんなが一緒に社会で生活していくには？~パラスポーツを通して～（２０時間）

○学んだことを振り返り、
栄小のみんなに伝えたいこと・したいことを考える。
○どうしたら実現できるかまとめる。
○栄小のみんながができるように、考える。
○体験ブースをつくり、パラスポーツを広める。

国語(２４５)

社会(９０)

導入(オリエンテーション)　水はどこから　ごみのしょり　利用　導入(オリエンテーション)　風水害からくらしを守る　導入(オリエンテーション)　残したいもの　伝えたいもの　谷に囲まれた台地に水を引く　導入(オリエンテーション)　国際交流に取り組むまち・仙台市　美しい景観を生かすまち・松島町／古いまちなみ生かすまち・登米市登米町(選択)　いかす(第５単元全体)

算数(１７５)

学びのとびら　大きい数のしくみ　折れ線グラフと表　わり算の筆算(1)　角の大きさ　小数のしくみ　考える力をのばそう　そろばん　わり算の筆算(2)　倍の見方　がい数の表し方　算数で読みとこう　計算のきまり　垂直、平行と四角形　分数　変わり方に注目して調べよう　面積のくらべ方と表し方　小数のかけ算とわり算　どんな計算になるのかな？　底方体と立方体　考える力をのばそう　４年生のふくしゅう

理科(１０５)

季節と生き物　記録を整理しよう　天気による気温の変化　体のつくりと運動　電流のはたらき　夏と生き物　夏の星　広がる科学の世界　わたしの研究　雨水と地面　月の位置の変化　とじこめた空気や水　秋と生き物　ものの温度と体積　もののあたたまり方　人の生活と自然環境

音楽(６０)

音楽で心の輪を広げよう　歌声のひびきを感じ取ろう　いろいろなリズムを感じ取ろう　せんりつのとくちょうを感じ取ろう　せんりつの重なりを感じ取ろう　いろいろなひびきを楽しもう　日本の音楽でつながろう　思いを音楽で表そう

図工(５０)

絵の具のぼうけん、たのしさ発見！　つけて、のばして、生まれる形　木々を見つめて　つないで組んで、すてきな形　つながれ、広がれ！だんボール　へんてこ山の物語　どろどろカッチン　本から飛び出した物語　わくわくネイチャーランド　飛び出すハッピーカード　何をかこうかな　キラキラワールド 学校なりあげマスコット (選択)　絵から聞こえる音　つくって、つかって、たのしんで　ほって表す不思議な花　トントンつないで ゆめいろランプ (選択)

体育(１０５)

体ほぐし運動　鉄棒運動　かけっこ・リレー　多様な動きを作る (体のバランス・力だめし)　保健 体の発育・発達　マット運動　水泳運動　ティーボール　多様な動きをつくる運動(体の移動・用具・組み合わせ)　表現・リズムダンス　キャッチバレーボール　多様な動きを作る (体のバランス・力だめし)　小型ハードル　ゼストサッカー　跳び箱運動　鉄棒運動　高跳び

外国語活動(３５)

世界のいろいろな言葉であいさつしよう　すきな遊びを伝えよう　すきな曜日は何かな？　今、何時？　おすすめの文房具セットをつくろう　アルファベットで文字遊びをしよう　ほしいものは何かな？　お気に入りの場所をしょうかいしよう　ぼく・わたしの一日

道徳(３５)

学級活動(３５)

4年生になって　遠足事前指導 避難訓練事前指導　清掃の仕方 虫歯の予防　夏休みについて　二学期を楽しく過ごそう　本をたくさん読もう　友達の良いところを見つけよう　冬休みの過ごし方　今年のめあてを決めよう　給食週間の取り組み　風邪に負けない体をつくろう　６年生ありがとう　もうすぐ５年生

SDGsとの関連

活動の流れ

4月　5月　6月　7月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

小単元名「福祉」とは？～様々な人に目を向けよう～（２０時間）

【小単元の目標】
世の中の様々な人々に目を向け、福祉について理解を深める

【課題設定】
○世の中にはどんな人々がいるのか考える。
【情報収集】
○障がいのある人たちなどについて、インターネットや本から情報収集をする。
【整理・分析】
○障がいやバリアフリーについて調べた情報から考える。
【まとめ・表現】
○分かったことを新聞やロイロノートを活用してまとめる。

小単元名：スポーツにはどんな工夫があるの？～パラスポーツを通して～（３０時間）

【小単元の目標】
様々な人のための生活の工夫について理解を深める。

【課題設定】
○障害のある人でもできるパラスポーツの工夫にはどんなものがあるか考える。
【情報収集】
○体験学習やインタビューを通して、パラスポーツの工夫や障害のある人たちについて知る。
【整理・分析】
○交流会の内容を学習したことから選ぶ。
【まとめ・表現】
○特別支援学校の児童えと交流会を行う。

小単元名みんなで一緒に生活していくためには？～パラスポーツを通して～（２０時間）

【小単元の目標】
様々な人が一緒にできるパラスポーツを考えよう

【課題設定】
○これまでの体験活動や交流から、自分たちができることを考える。
【情報収集】
○様々な立場の人が一緒にできるようなパラスポーツについて調べる。
【整理・分析】
○栄小学校のみんなとやってみたいパラスポーツを考え、実現させるために自分たちができることを考える
【まとめ・表現】
○栄小学校の友達と交流する。

【地域人材・関係機関】
明日チャレ、埼玉県障碍者交流センター、新座市社会福祉協議会、和光特別支援学校

単元名「福祉」とは？～様々な人に目を向けよう～

単元の指導計画・評価計画（７０時間）

探究の過程	○主な学習活動 ・学習内容 「　」予想される児童の反応	◇指導上の留意点（配慮・手立て） ★評価　評価方法 発発言分析　記記述分析 つつぶやき分析　行行動観察　作作品分析	○言語活動 △活用する力 （SDGｓ、関連教科等） ●活用する資料、外部人材
課題設定	小単元１ 「福祉」とは？～様々な人に目を向けよう～ ◌オリエンテーション ・単元のねらい、内容や計画を確認する。 ◌「特別支援学校」について、今の自分たちが知っていることを話し合う。 「車いすの人が行っている」 「バスで向かうのを見たよ」 「そもそも、特別支援学校って、なんだろう？」 「車いすの人が行ったり、バスで通学したりしているのは知っているけど…」 「自分たちの通っている小学校とは、何が違うのかな？調べてみたいな」 ○課題設定をする。 ・特別支援学校についての、自分の課題を決める。	★特別支援への関わりを通して感じた関心をもとに課題を作り、解決の見通しをもっている。（課題の設定） 発　つ	△道徳「ええことをするのは、ええもんや！」 ○話し合い活動をする。
情報収集	○特別支援についての情報を調べる ・本やインターネットで調べる。	◇特別支援学校に行っている人は、５つ（肢体不自由・視覚障害・聴覚障害・病弱・知的障害）の障害があることを、教師から示す。 ★課題の解決に必要な情報を、手段を選択し	○話し合い活動をする。

		て多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報の収集） 発　記	
整理分析	○調べたことを整理する。 ・言葉やイラスト、写真を使い、ロイロノートやパンフレットにまとめる。	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理・分析） 記　行　つ ★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。（主体性・協働性） 発　行	○話し合い活動をする。
まとめ 表現	○クラスの友達が調べた特別支援学校の情報を見合う。 「特別支援学校は障害によっていろいろな人が通っているんだな。」	★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。（まとめ・表現） 作　発 ◇見合った後、率直な意見を振り返りに書くようにさせる。	国語「新聞を作ろう」 ○相手につたわるようにまとめる
課題設定	小単元２ スポーツにはどんな工夫があるの？～パラスポーツを通して～ ○「特別支援学校」について、さらに調べることを決める。 ・「特別支援」について知るために、もっとできる体験などはないか考える。 「車いすに実際に乗ってみたい。」 「アイマスク体験をしてみたい。」 「特別支援学校との交流学習ができないだろうか。」	◇児童の「やりたい！」という思いを汲み取り、実際に体験したいもの・行いたいことを何個か絞り、管理職の先生にお願いに行かせたい。（車いす・アイマスク・パラスポーツ・特別支援学校の先生に質問、特別支援学校に訪問して交流するなど） ★特別支援への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定） 発　つ	○話し合い活動をする。
情報収集	○体験学習を行う。 ・車いす体験・アイマスク体験を行う。 ・パラスポーツについて、詳しい人から話を聞く。	★課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報の収集）	○話し合い活動をする。 ●明日チャレ（パラスポーツ体験型出前授業）

	○特別支援について調べる。 ・本やインターネットから調べる。 ・特別支援学校の先生に質問する。	行　つ ★特別支援学校やあすチャレに関わる人々の思いを理解する。(知識・技能) 発　行	●埼玉県障碍者交流センター（ブラインドスポーツ） ●新座市社会福祉協議会（アイマスク・車いす体験） ●和光特別支援学校 ●明日チャレ（パラスポーツ体験型出前授業）
整理分析	○体験したことや調べたことを整理する。 「車いすの立場だと、スポーツや運動を行う上で大変なことがたくさんあることがわかった」 ○「特別支援学校との交流」の実践計画を立てる。 ・和光特別支援学校との交流について話し合う。 「和光特別支援学校の人たちと会うときに、どんなことに気を付けたらいいかな」 「和光特別支援学校の先生に質問したいな」 「ボッチャなら、特別支援学校の人たちとも一緒に楽しめそうだな」	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。(整理・分析) 行　つ ★課題解決に向け、自分の良さに気づき、探究活動に進んで取り組もうとしている。(自己理解・他者理解) 行　つ	話し合い活動をする。 △体育「キャッチバレーボール」
まとめ 表現	○和光特別支援学校との交流会を行う。 ○「特別支援学校の交流会」について振り返り、クラス全体で報告する。 「機械を使用して生活している子供も、自分たちも、同じく楽しむことができた。」 「相手のために考えたことで、特別支援学校の人たちに喜んでもらえた」 「特別支援学校の人たちに、お礼の手紙を書きたいな」 ○お礼の手紙を書く	★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。(まとめ・表現) ◇交流する際は、特別支援学校の児童に配慮して活動するよう指導する。(マスクの着用・器具への配慮等) 発 ★特別支援学校やあすチャレの人との関わりの中で、自分にできることを見つけようとしている。(将来展望・社会参画) 行　つ	△国語「もしものときにそなえよう」 ○相手に伝わるように話す。

課題設定	小単元３ 社会にはどんな工夫があるの？～バリアフリーを通して～ ◌2 学期までの活動を振り返る。 「和光特別支援学校の子たちと一緒にボッチャを楽しむことができた」 「パラリンピックのメダリストから話を聞くことができた」 「車椅子やアイマスクの体験をしたな」 ○3 学期の活動を考える。 「自分たちのやってきたことを栄小のみんなに紹介したいな」 「ボッチャ以外のゲームも紹介したいな」	★特別支援学校との交流の中での関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定） つ　発	○話し合い活動をする。
情報収集	○栄小のみんなに紹介できるパラスポーツを見つける。 ・本やインターネットから調べる。	★課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し種類に合わせて蓄積している。（情報の収集） 記　つ	△体育「セストサッカー」 ○話し合い活動をする。
整理分析	○友達と話し合い、紹介の仕方を決める。 ・何のパラスポーツを紹介するかを決める。 ・どんな紹介の内容にするかを決める。	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理・分析） 記　行　つ	○話し合い活動をする。
まとめ 表現	○他学年と交流し、自分たちの調べたパラスポーツや体験から学んだことを紹介する。	★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。（まとめ・表現） 行　発	○相手に伝わるように話す。

４年生の実践記録

① 実践しての成果

〇特別支援について理解を深めることができた。

〇どの活動にも目的意識をもって主体的に活動することができた。

〇相手意識をもって活動することができた。

〇車いす・アイマスク体験や、パラスポーツ講師による講話等様々な体験活動をすることができた。

〇和光特別支援学校との交流会をすることができた。

②実践しての課題

〇体験活動は、予約の関係で時期が定まらないので学習の見通しが立てづらい部分があった。

〇外部との連携が多いので、児童からの意見を反映しづらい部分があった。

五学年単元配列表

年間指導計画(第5学年)

単元目標　農作物を育てたり、その農作物を使って調理したりする活動を通して、農作物を生産する喜びや苦労を実感し、農作物の生産に携わる人々の思いや願いに気付くとともに、農作物と自分たちの生活を結び付け、「食」についての見方・考え方を深めることができる。

月：4月 / 5月 / 6月 / 7月 / 8・9月 / 10月 / 11月 / 12月 / 1月 / 2月 / 3月

総合的な学習の時間(７０)

栄ファーム開園！（２０時間）（4月〜7月）

〇農作物を育てる。
〇農作物の育て方について調べる。
〇生産に携わっている方（農家、JA等）にインタビューをする。
〇調べたことやインタビューしたことを基に、自分たちにできる育て方の改善方法を考える。
〇経過報告を発表する。

栄ファーム開園！（２５時間）（8・9月〜12月）

〇農作物を栽培・収穫する。
〇農作物の育て方について調べる。
〇生産に携わっている方（農家、JA等）にインタビューをする。
〇調べたことやインタビューしたことを基に、自分たちにできる育て方の改善方法を考える。
〇経過報告を発表する。

栄ファーム開園！（２５時間）（12月〜3月）

〇調理方法や生かし方について調べる。
〇収穫した農作物を使って、レシピを作成する。
〇レシピを学校全体や地域に広める。

国語(１７５)

ひみつの言葉を引き出そう / かんがえるのっておもしろい / 名前を使って、自己しょうかい / 銀色の裏地 / 図書館を使いこなそう / 漢字の成り立ち / 春の空 / きいて、きいて、きいてみよう / 見立てる 言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果 / 話し言葉と書き言葉 / 敬語 / 日常を十七音で / 漢字の広場① / 古典の世界(一) / 【情報】目的に応じて引用するとき / みんなが使いやすいデザイン / 同じ読み方の漢字 / 夏の夜 / 作家で広げるわたしたちの読書モモ / かぼちゃのつるがわれは草なり / どちらを選びますか / 新聞を読もう / 文章に説得力をもたせるためには / 漢字の広場② / たずねびと / 漢字の広場③ / 方言と共通語 / 秋の夕 / よりよい学校のために / 浦島太郎—「御伽草子」より / 和語・漢語・外来語 / 固有種が教えてくれること 自然を守るために 【コラム】意見が対立したときには / カンジー博士の暗号解読 / 古典の世界(二) / 漢字の広場④ / やなせたかし—アンパンマンの勇気 / あなたは、どう考える / 冬の朝 / 好きな[illegible]のよさを伝えよう / 言葉でスケッチ / 熟語の読み方 / 漢字の広場⑤ / 想像力のスイッチを入れよう / 複合語 / 言葉を使い分けよう / もう一つの物語 / 「子ども未来科」で何をする / 大造じいさんとガン / 漢字の広場⑥ / 五年生をふり返って

社会(１００)

導入(オリエンテーション) / 世界の中の日本 / 国土の地形の特色 / 低い土地のくらし / 高い土地のくらし / 国土の気候の特色 / あたたかい土地のくらし / 寒い土地のくらし / 導入(オリエンテーション) / くらしを支える食料生産 / 米作りのさかんな地域 / 水産業を消費する日本 / これからの食料生産とわたしたち / 導入(オリエンテーション) / くらしを支える工業生産 / 自動車をつくる工業 / 工業生産を支える輸送と貿易 / これからの工業生産とわたしたち / 情報産業とわたしたちのくらし / 情報を生かす産業 / 情報を生かすわたしたち / 導入(オリエンテーション) / 自然災害を防ぐ / わたしたちの生活と森林 / 環境を守るわたしたち

算数(１７５)

整数と小数のしくみをまとめよう / 直方体や立方体のかさの比べ方と表し方を考えよう / 変わり方を調べよう（１） / かけ算の世界を広げよう / わり算の世界を広げよう / 小数の倍 / 形も大きさも同じ図形を調べよう / 図形の角を調べよう / 整数の性質を調べよう / 分数と小数、整数の関係を調べよう / 分数のたし算、ひき算を広げよう / ならした大きさを考えよう / 比べ方を考えよう（１） / 面積の求め方を考えよう / 比べ方を考えよう（２） / 割合をグラフに表して調べよう / 変わり方を調べよう（２） / 多角形と円をくわしく調べよう / 立体をくわしく調べよう

理科(１０５)

天気の変化 / 植物の発芽や成長 / メダカのたんじょう / ふりこ / 花から実へ / 台風接近 / 流れる水と土地 / 川と災害 / 電流が生み出す力 / もののとけ方 / 人のたんじょう / 受けつがれる生命

音楽(５０)

歌声をひびかせて心をつなげよう / 音の重なりを感じ取ろう / いろいろな音の響きを味わおう / 和音のひびきの移り変わりを感じ取ろう / 曲想の変化を感じ取ろう / 詩と音楽の関わりを味わおう / 日本の音楽に親しもう / 思い出を思想に生かそう / 歌いつごう 日本の歌（年間）

図工(５０)

感じたことを伝え合う / 心のもよう / 形に命をふきこんで / あんなところがこんなところ / 消してかく / 糸のこすいすい / ビー玉のぼうけん 楽しいパズル（選択） / あの時あの場所 わたしの思い / 美しく立つはり金 ふれて伝えるストーリー 伝えるもの (選択) / 水から発見 ここきれい！ / 言葉から思いを広げてのぞいてみると (選択) / 笑顔が生まれるしかけ / まだ見ぬ世界 / 光と場所のハーモニー 〜暗い場所で〜 〜明るい場所で〜 (選択) / ミラクルミラーワールド / ほり進めて刷り重ねて けずって見つけたいい形 (選択) / 紙から生まれるすてきな明かり / ICTでチャレンジ 〜プログラミングで表そう〜 〜デジタル スタンプ〜 〜もようTシャツ〜（選択）

体育(９０)

体ほぐし運動 / マット運動 / 体の動きを高める運動 / 鉄棒運動 / 水泳運動 / タグラグビー / 保健（心の健康） / 体の動きを高める運動 / バスケットボール / 表現・フォークダンス / ハードル走 / 体の動きを高める運動 / 鉄棒運動 / 走り幅跳び / 体の動きを高める運動 / 跳び箱運動 / 保健（けがの予防） / サッカー

家庭科(６０)

学んで変わるよわたしたち / 毎日の生活を見つめてみよう / クッキングはじめの一歩 / ソーイングはじめの一歩 / 整理・整頓で快適に / できるよ、家庭の仕事 / ミシンで楽しくソーイング / 食べて元気に / 生活を支えるお金と物 / 着方の工夫で快適に / 暖かい住まい方で快適に / いっしょにほっとタイム

外国語(７０)

Hello! / 名前、誕生日など、自分のことを伝え合う / 好きな教科や、ふだんよくすることを伝え合う / 自己紹介をして、自分のことをもっと知ろう / 世界のお話 / This is my hero. / 友だちや家族を紹介し合う / できることを伝え合う / さまざまな人のできることや得意なことを伝え合う / 憧れの人を紹介して、その人の素晴らしさを知ってもらう / 一日の生活 / ケンの冒険 / 世界のおはなし / Let's go to Thailand. / おすすめの場所と、そこでできることを伝え合う / 行きたい国と、そこでしたいことを伝え合う / おすすめの場所とそこでできることを友だちに紹介して、魅力を共有する

道徳(３５)

のび太に学ぼう / あいさつ運動 / マンガ家手塚治虫 / やさしいユウちゃん / 「命」 / ソフトボールに恩返しを-上野由岐子- / サタデーグループ / ひとふみ十年 / 古いバケツ / ふくらんだリュックサック / ぼくたちの夏休み自由研究 / 母さんの歌 / 和太鼓調べ / ことばのカタチ / のりづけされた詩 / 真由、班長になる / 名前のない手紙 / 折れたタワー / 住みよいマンション / ヘレンと共に-アニー・サリバン- / 父の仕事 / 流行おくれ / 家族のために / 命の種を植えたい-緒方洪庵- / うばわれた自由 / くずれ落ちただんボール箱 / ミスター・トルネード藤田哲也 / 森の絵 / 「ありがとう」がつながる / マインツからの便り / すれちがい / 知らない間のできごと / ながらって / これって不公平？ / かぜのでんわ / 美しい夢-ゆめぴりか- / 友のしょうぞう画 / ペルーは泣いている

学級活動(３５)

高学年になって / 遠足事前指導 / 学習の決まりを考えよう / 夏休みについて / 二学期を楽しく過ごそう / 野菜のパワー / 本をたくさん読もう / オンラインゲームとの正しいつき合い方 / 友達の長所を見つけよう / スクリーンタイムと健康 / 冬休みの過ごし方 / 今年のめあてをたてよう / 給食週間の取り組み / 丈夫な体をつくろう / 最高学年への進級を考えよう

SDGsとの関連

活動の流れ

4月　5月　6月　7月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

小単元名「農作物を育てよう」
（２５時間）

【小単元の目標】
お米を栽培しよう。

【課題設定】
○「食」というテーマで自分たちが育てたい農作物を考える。
【情報収集】
○お米の栽培方法をインターネットや本を見て育て方を調べる。
【整理・分析】
○調べたことから、どの時期にそれを行うべきか整理・分析する。
【まとめ・表現】
調べたことを実践する。

小単元名「農作物を育てよう」
（２５時間）

【小単元の目標】
自分たちの決めた野菜を栽培しよう。

【課題設定】
○自分たちが育てたい野菜を考える。
【情報収集】
○野菜の栽培方法をインターネットや本、インタビューを通じて育て方を調べる。
【整理・分析】
○調べたことから、どの時期にそれを行うべきか整理・分析する。
【まとめ・表現】
○調べたことを実践する。

小単元名「埼玉の野菜を発信しよう」
（２０時間）

【小単元の目標】
埼玉県の野菜の魅力を伝えよう。

【課題設定】
○埼玉県の野菜の魅力の伝え方を考える。
【情報収集】
○様々な調理方法を試す。
【整理・分析】
○野菜に合う調理方法を選ぶ。
【まとめ・表現】
○レシピにまとめ、学校や地域に配布する。

【地域人材・関係機関】
栄地区の各商店、公共施設

単元名　栄ファーム開園

単元の指導計画・評価計画（７０時間）

探究の過程	○主な学習活動 ・学習内容 「　」予想される児童の反応	◇指導上の留意点（配慮・手立て） ★評価　評価方法 発発言分析　記記述分析 つつぶやき分析　行行動観察　作作品分析	○言語活動 △活用する力 （SDGｓ、関連教科等） ●活用する資料、外部人材
課題設定	○どのようなことをやりたいのか決める。 ・話し合い決定する。 ・稲の育て方を調べる。 ・稲の芽だしをする。 ・バケツ稲の準備をする。 ・田植えをする。 ・水やりや育てるうえでの注意点などを調べる。 ・害虫・害獣対策を講じる。 ・常時、水やりをする。	◇教師側の押し付けにならないように児童から出た意見を活用する。 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定） ★稲や野菜の育て方を理解する。（概念的な知識）農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定） 発　記　つ	●JA の HP ○話し合い活動をする。 △社会科「くらしを支える食料生産」
情報収集	○育て方を調べて実行する。 ・シンキングツールのフィッシュボーン、クラゲチャートを使って工程をまとめる。 ・必要なものがあるときもどのようにしたらそれが手に入るのかを考えさせ、自分たちで尋ねたり頼んだりする。 ○他のものも育てたいな。 ・稲が育つまで時間があることや子どもたちが決めた最終目標はレシピを作りたいということだったためそれを伝えると、それ以外にも何か育てたいという話を出させる。	★課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報の収集）発　記 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）記　行	●JA の HP ○話し合い活動をする。 △社会科「米作りのさかんな地域」 △理科「植物の発芽や成長」 △国語「目的に応じて引用するとき」
整理分析	○収穫後、精米したので、生かせる方法を探す。 ・お米を実際に食べる。家庭科の学習内容「食べて元気に」と連携	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理・分析）	○話し合い活動をする。 △家庭科「クッキングはじめの一歩」

まとめ 表現	・お米を炊いて食べる。 ・自分たちが育てたお米を食べた経験から、何ができるか。どうしたいかをまとめ、次につなげる。 →お米を作ることの大変さを知ることで、農家への感謝 →お米を使ったレシピを考え地域に広める。	★埼玉県の特産物を地域に広めたり良さを伝えたりしている。（探究的な学習のよさの理解） ★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。（まとめ・表現）	△家庭科「食べて元気に」
課題設定	○２学期に何を育てたいのかを決める。 ・話し合い、決定する。 ・１組・・・小松菜 ・２組・・・ほうれん草、しゃくしな、人参、大根	◇教師側の押し付けにならないように児童から出た意見を活用する。 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定） ★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。（主体性・協働性）	○話し合い活動をする。
情報収集	○育て方を調べて実行する。 ・シンキングツールのフィッシュボーン、クラゲチャートを使って工程をまとめる。 ・必要なものがあるときもどのようにしたらそれが手に入るのかを考えさせ、自分たちで尋ねたり頼んだりする。 ・土の状態を野菜にあったものにする。 「ほうれん草、人参、大根はアルカリ土壌が適しているらしい。石灰を入れてアルカリ土壌にしよう。」 小松菜について 「密植すると葉も薄くなり、株張りも悪くなるから、５CM くらい間をあけて植えないといけないね。」	★稲や野菜の育て方を理解する。（概念的な知識）発　記 ★農作物への関わりを通して課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）つ　記	JA の HP ○話し合い活動をする。 ○相手に伝わるようにまとめる。 △社会科「山のすそ野に広がる高原」 △理科「植物の発芽や成長」 △国語「目的に応じて引用するとき」
整理分析	○情報の取捨選択を行う。 ・話し合い活動を通して、自分が調べた情報の中で何が使えるのかを話し合い実践できるように手順をまとめる。	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。(整理・分析)発　記	○話し合い活動をする。 △国語「目的に応じて引用するとき」 △社会「これからの食糧生産とわたしたち」

まとめ 表現	○実践する。 ・土の状態を整える。 「石灰を○グラム入れるとアルカリ土壌になるようだ。ほうれん草は強アルカリ土壌だから多く石灰を入れよう。」 「土を整えたら１週間置くといいらしい。１週間後に種を植えよう。」 ・植える 「２、３粒ずつ植えていこう。」「土が柔らかくなってきたな。」	★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 （主体性・共同性）行　発 ★相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。（まとめ・表現）行　記　作	○話し合い活動をする。 ●JA の HP
課題設定	○より美味しく育てるにはどうしたらよいだろうか。 ・虫対策 ・栄養を与える	★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）発　記	
情報収集	○調べる。 ・それぞれの野菜につく虫を調べたり病気にかかっている葉を調べたりする。 ・地域の人参農家さんへインタビューする。その際、野菜の写真を見せて、アドバイスをもらう。 ・害虫対策について調べる。	★課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報の収集）発　記	●JA の HP ●野菜農家との連携 ○相手に伝わるように話す。 △話し言葉と書き言葉 △国語「目的に応じて引用するとき」
整理分析	○自分の持っている情報と野菜を比べる。 ・自分たちの育てている野菜の写真とサイトを比べる。	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理・分析）　記　行	△国語「目的に応じて引用するとき」
まとめ 表現	○実践する。 ・病気になっている葉を取る。 ・酢酸水を作り吹きかける。		●JA の HP
課題設定	○どのようなことをやりたいのか決める。 ・どのようなレシピを作るのかを話し合い、決定する。 「オリジナルのレシピを作りたい。」 「レシピを広めたい。」	◇教師側の押し付けにならないように児童から出た意見を活用する。 ★農作物への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。（課題の設定）つ　記	●JA の HP ○話し合い活動をする。 △家庭科「食べて元気に」

情報収集	○調べる。 ・「生」、「ゆで」、「焼く」でそれぞれ食してみてどのような調理方法が美味しいかを試す。 ・どんな調味料があるかを調べる。 ・調味料や一緒に合う食材を試す。	★稲や野菜の調理に仕方を理解する。（概念的な知識） 発 つ 記	●栄養士さん・給食調理員さん ○話し合い活動をする。 △国語「目的に応じて引用するとき」 △家庭科「食べて元気に」
整理分析	○友達の意見と比べる。 ・使用する調味料や分量を友達と話し合いながら決定する。	★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。（主体性・協働性） 発 つ 記	○話し合い活動をする。
まとめ 表現	○レシピを作る。 ・クラスで考えたオリジナルレシピを作る。	★埼玉県の特産物を地域に広めたり良さを伝えたりしている。（探究的な学習のよさの理解） 記 作	●JA の HP △家庭科「食べて元気に」
課題設定	○レシピの広め方を考える。 ・レシピをどこにどのように広めるか意見を出し合う。	★課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。（自己理解・他者理解） つ 記	●地域のスーパーマーケット ●地域の商店街 ○話し合い活動をする。
情報収集	○調べる。 ・どのようなレシピが目を引いたり手に取ってもらえたりするのかを調べる。	★課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。（自己理解・他者理解） 記 発	
整理分析	○友達と意見を出し合う。	★自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。（主体性・協働性） つ 発 記	△国語「あなたは、どう考える」 ○相手に伝わるように書く。
まとめ 表現	○レシピを作成し、学校や地域に配布する。	★地域との関わりの中で自分にできることを見付けようとしている。（将来展望・社会参画） 作 つ 記 ★埼玉県の特産物を地域に広めたり良さを伝えたりしている。（探究的な学習のよさの理解） 作 つ 記	●地域のスーパーマーケット ●地域の商店街 △国語「文章に説得力をもたせるには」

5年生の実践記録

①実践しての成果

〇稲や野菜の育て方を知ることができた。

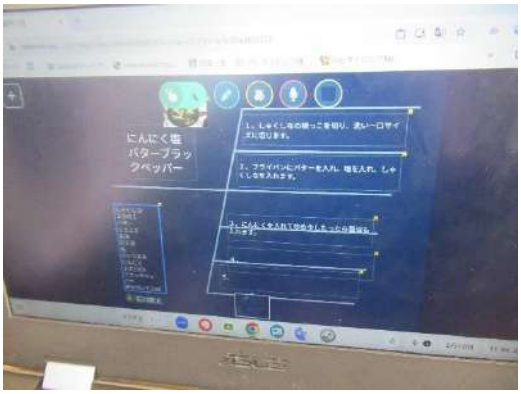
〇農家の大変さを身をもって知れた。

〇意欲的に活動することができた。

〇主体的に活動することができた。

〇相手意識をもって活動することができた。

〇埼玉県の野菜を知ることができた。



②実践しての課題

〇稲を作ることが天候に左右されるので難しい。

〇野菜を作ることが天候に左右されるので難しい。

〇育たないとその後の活動ができなくなる。

〇講師の先生を探すのが難しい。

第六学年単元配列表

年間指導計画(第６学年)

単元目標　地域で働く人々や自分が目指す職業の方々と関わる活動を通して、理想の自分を見つめ必要なことに気付き、自己の将来について考え、自らの今後の生活や行動に生かすことができるようにする。

４月　５月　６月　７月　８・９月　１０月　１１月　１２月　１月　２月　３月

総合的な学習の時間(７０)

「働く」とは・・・？～夢に向けて踏み出そう～（２５時間）

〇地域で働く人々へなぜその職業についているのかインタビューしに行く。
〇気付いたことや疑問点などを話し合う。
〇集めてきた事を整理し、深めたいことを調べる。
〇「働く」ことについて、自分なりの考えを新聞にまとめる。

理想の自分に近づくために必要なこととは・・・？～夢に向けて歩いていこう～（３５時間）

〇自分がなりたい職業について調査し、魅力や特徴、なるまでにどのような過程を経るかを知る。
〇出前授業、インタビュー等を通して、自分のなりたい職業について理解を深める。
〇職業について知ったことをマンダラチャートに整理したり、職業ブックにまとめたりして紹介し合う。

理想の自分に近づくために今の自分にできることとは・・・？～夢に向かって羽ばたこう～（２０時間）

〇自己分析をし、自分が身に付けたい力を見付ける。
〇今の自分にできることを整理する。
〇未来への展望を発表する。

国語(１７５)

つないで、つないで一つのお話／春の河／小景異情／視点の違いに着目して読み、感想をまとめよう（帰り道）／漢字の形と音・意味・春のいぶき／聞いて、考えを深めよう／漢字の広場①／笑うから楽しい／時計の時間と心の時間／【情報】主張と事例／話し言葉と書き言葉／たのしみは／文の組み立て／天地の文／【情報】情報と情報をつなげて伝えるとき／私たちにできること／夏のさかり／私と本　星空を届けたい／せんねん　まんねん　名づけられた葉／いちばん大事な物は／インターネットでニュースを読もう／文章を推敲しよう／漢字の広場②／やまなし【資料】イーハトーヴの夢／漢字の広場③／熟語の成り立ち／秋の深まり／みんなで楽しく過ごすために【コラム】伝えにくいことを伝える／話し言葉と書き言葉／古典芸能の世界　狂言「柿山伏」を楽しもう／『鳥獣戯画』を読む　発見、日本文化のみりょく／ガンジー博士の漢字学習の秘伝／漢字の広場④／ぼくのブック・ウーマン／おすすめのパンフレットを作ろう／冬のおとずれ／詩を朗読してしょうかいしよう／知ってほしい、この名言／日本の文字文化【コラム】仮名づかい／漢字の広場⑤／考えることとなやむこと　考えることを考え続ける　考える人の行動が世界を変える／使える言葉にするために／日本語の特徴／今,私は,ぼくは／海の命／漢字の広場⑥／中学校へつなげよう　生きる　人間は他の生物と何がちがうのか

社会(１０５)

わたしたちを支えるしくみ／わたしたちのくらしと日本国憲法／国の政治のしくみと憲法／子育て支援の願いを実現する政治／震災復興の願いを実現する政治／日本の歴史／縄文のむらから古墳のくにへ／天皇中心の国づくり／貴族のくらし／武士の世の中へ／今に伝わる室町文化／戦国の世から天下統一へ／江戸幕府と生活の安定／町人の文化と新しい学問／明治の国づくりを進めた人々／世界に歩み出した日本／長く続いた戦争と人々のくらし／新しい日本，平和な日本へ／日本とつながりの深い／〈選択単元〉中国と日本　韓国と日本　サウジアラビアと日本　アメリカと日本／世界の未来と日本の役割

算数(１７５)

対称な図形／文字と式／分数のかけ算を考えよう／分数のわり算を考えよう／分数の倍　どんな計算になるのかな？　算数で読みとこう／拡大図と縮図　データの調べ方／円の面積／角柱と円柱の体積／およその面積と体積／考える力をのばそう／比例と反比例／並べ方と組み合わせ方／考える力をのばそう　算数で読みとこう／データを使って算数を見なおそう／算数の学習をしあげよう／算数卒業旅行

理科(１０５)

物の燃え方と空気／人や他の動物の体／植物の体／生き物と食べ物・空気・水／てこ／土地のつくり／地震や火山と災害／月の見え方と太陽／水溶液／電気の利用／人の生活と自然環境

音楽(５０)

歌声をひびかせて心をつなげよう／いろいろな音色を感じ取ろう／旋律の特徴を生かして表現しよう／いろいろな和音のひびきを感じ取ろう／曲想の変化を感じ取ろう／詩と音楽の関わりを味わおう／日本や世界の音楽に親しもう／音楽で思いを伝えよう／歌いつごう日本の歌（年間）

図工(５０)

わたしのお気に入りの絵／今の気持ちを形に／いろどり、いろいろ／木と金属でチャレンジ／入り口の向こうには…／ゆらゆら、どきどき／カット、ペッタと、すてきな形／きらめき劇場／時空をこえて　みんなのお話始まるよ　(選択)／学校へようこそ／竜を見る(鑑賞)／墨から生まれる世界／ひびき合う形と色を求めて／バランス・アンバランス　わたしはデザイナー　１２さいの力で　夢の新製品　(選択)

体育(９０)

体ほぐし運動／マット運動／体の動きを高める運動／ソフトボール／鉄棒運動／保健（病気の予防）／水泳運動／体の動きを高める運動／ソフトバレーボール／表現・フォークダンス／陸上運動／鉄棒運動／走り高跳び／体の動きを高める運動／跳び箱運動／保健（病気の予防）／サッカー

家庭科(５５)

生活時間をマネジメント／できることを増やしてクッキング／クリーン大作戦／すずしく快適に過ごす住まい方／すずしく快適に過ごす着方と手入れ／生活を豊かにソーイング／こんだてを工夫して／共に生きる地域での生活／持続可能な社会を生きる／成長したわたしたち　中学生に向かって

外国語(７０)

地域のことを伝えよう／We are from Indea.／We have Children's Day in May.／思い出を伝えよう／I went to the beach.／It was green.／We had the sports day in October.／将来の夢を伝えよう／I want to be a singer.／I want to join the brass band.

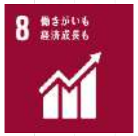
道徳（３５）

スポーツの力／命のアサガオ／ほんとうのことだけど・・・・・／それじゃ，ダメじゃん／言葉のおくり物／母の仕事／おかげさまで／ぼくのお茶体験／心づかいと思いやり／東京オリンピック国旗にこめられた思い／緑の闘士－ワンガリ・マータイ－／カスミと携帯電話／ぼくたちの学校／地球一周を歩いた男－伊能／初めてのアンカー／上村さんのちょうせん－ひさい犬と共に－／ぼくだって／ロレンゾの友達／天下の名城をよみがえらせる－姫路城－／手品師／エルトゥールル号－日本とトルコのつながり－／その思いを受け継いで／団地と子犬／青の洞門／自由行動／杉原千畝－大勢の命を救った外交官－／人間をつくる道－剣道－／自分を守る力って？／二十五人でつないだ金メダル／ブランコ乗りとピエロ／わたしのせいじゃない／ips細胞の向こうに／消えた本／最後のおくり物／のぼさんの夢－正岡子規－／自分にできること／創志くんと子牛／杉山の声を聞く画家－豊田三郎－

学級活動(３５)

６年生になって／遠足事前指導／友達の長所を見つけよう／夏休みについて／二学期を楽しく過ごそう／本をたくさん読もう／わたしたちの体／冬休みの過ごし方／SNSとの付き合い方／今年のめあてを決めよう／給食週間の取り組み／丈夫な体をつくろう／もうすぐ中学生

SDGsとの関連



職種によって
関連事項が異なる

活動の流れ

4月　5月　6月　7月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

小単元名
「働く」とは・・・？～夢に向けて踏み出そう～
（２５時間）

【小単元の目標】
「働く」とは何か、自分の考えをもとう。

【課題設定】
○自分の未来について考える。
【情報収集】
○地元で働く人々にインタビューをする。
【整理・分析】
○インタビュー等調べてきたことを共有する。
【まとめ・表現】
○自分なりに「働く」とは何かまとめる。

小単元名
理想の自分に近づくために必要なこととは・・・？
～夢に向けて歩いていこう～
（３５時間）

【小単元の目標】
自分の興味のある職業、自分に合った職業について知ろう。

【課題設定】
○世の中の職業について話し合う。
【情報収集】
○興味のある職業について、ネットやインタビューなどで調べる。
【整理・分析】
○集めた情報から自分の興味のある仕事に必要な力を、マンダラチャートに整理する。
【まとめ・表現】
○自分のつけたい力についてまとめる。

小単元名
理想の自分に近づくために今の自分にできることとは・・・？～夢に向かって羽ばたこう～
（２０時間）

【小単元の目標】
自分に必要な力をつけるために、今できることに取り組もう。

【課題設定】
○つけたい力を身に付けるために、今何ができるか考える。
【情報収集】
○その職業の人にインタビューしたり、本を読んだりする。
【整理・分析】
○集めた情報の中から、自分が今できそうなことを整理する。
【まとめ・表現】
○自分が取り組んだことについて、まとめる。

【地域人材・関係機関】
栄地区の飲食店、スーパーなど

単元名　未来へ踏み出そう！

単元の指導計画・評価計画（７０時間）

探究の過程	○主な学習活動 ・学習内容 「　」予想される児童の反応	◇指導上の留意点（配慮・手立て） ★評価　評価方法 発発言分析　記記述分析 つつぶやき分析　行行動観察　作作品分析	○言語活動 △活用する力 （SDGｓ、関連教科等） ●活用する資料、外部人材
課題設定	○自分の未来について考え、課題を設定する。 ・未来予想図のワークシートに記入する。 「書けない。」「まだ決まっていない。」 ・どんな風に生きていきたいか問いかける。 「自分らしく生きたい。」 「楽しくいきたい。」 ・自分らしく生きるとはどんなことか考える。 「働いてお金を稼ぐ。」 「興味のあることで働きたい。」 「親や働く人々はどうやって職を決めたのだろう？」 「働くってどんなこと？」	◇単元の大きな流れについて講義形式で提案する。 ◇自分の未来に見通しをもてるようなワークシートを配布し、有効的に活用できるようにする。 ★態①課題解決に向けて自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。記 ◇児童のこれまでの生活経験の中から「働く」ことについて知っていることを出し合うようにする。 ★思①地元で働いている方や就きたい職業の方との関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。　発　つ ◇気付いたことや疑問点などを学級内で共有し、課題設定をする。 ★態①課題解決に向けて自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。　発　つ	○自分の考えを言葉にして伝える。

情報収集	○身近に働く人から話を聞いて、情報収集をする。 ・インタビューで聞きたいことを考えさせる。 「なぜその職に就いたのか。」 「嬉しいと思う場面はどこか。」 「いつも何を思って仕事をしているか。」 「きっかけ、思い、やりがいなど」 ・一番身近な親にインタビューしたことをクラスで共有する。 「体力に自信があるから自衛隊に。 →自分の強みを生かしている。」 「近くで働ける場所を探した。」 「子供を連れていけるサロンがなかったから自宅で開いた。」 「小さいころから好きなことを仕事にして今はパティシエ。」 ・親だけでなく、地域で働く人々や、よく行く店の方にもインタビューをする。	◇課題を基に、調べることやインタビューすることを決め、グループ内で共有させておく。 ★態②自分と違う意見や考え、異なる職業のよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。記 ◇保護者や地域の方へ事前に周知をしておき、子供たちのインタビューがスムーズに行えるようにする。 ★態③地域で働く人、就きたい職業の人との関わり合いの中で自己を見つめ将来について考えようとしている。発　記 ◇インタビューする際、地域や保護者の方と関わることができるように、電話の仕方や言葉遣いなどを指導しておく。 ★知②身近に働く方にインタビューしたり、なりたい職業のことについて調査したりする。発　行 ◇地域や保護者の方と関わることで、「働く」には様々な意味があることに気付くようにする。	保護者 いなげや 無印良品 シェ・ミヤ 河内屋（八百屋） ウェルパーク （薬剤師） カメラマン 栄小職員 蘭亭（中華料理屋） ○インタビューで相手の考えを聞き出す。 △国語 「聞いて考えを深めよう」
整理分析	○調べてきたことを共有し、整理する。 ・身近な人々へのインタビュー結果から、働くとはどんなことか考える。 「大人の人は、自分の特技を生かしていたり、家からの距離で考えたりして、仕事を決めていた。」	◇時間を十分に設け、必要な情報を分析できるようにする。 ★思③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。記	△道徳 「母の仕事」

まとめ 表現	○働くことについて、まとめる。 ・働くということについて、分かったこと、自分なりに考えたことを新聞にまとめる。 「仕事を決めた時期は、高校生や大学生の時が多いので、まだ焦らず考えていきたい。」 「人のためになることがうれしいと答えている人が多く、働くというのは、人のためになることだと思った。」	◇整理したことを新聞にまとめる際に、要点を絞りながら分かりやすく新聞にまとめる。 ★態③地域で働く人、就きたい職業の人との関わり合いの中で自己を見つめ将来について考えようとしている。作　記 ◇働くということは人によって様々な思いをもっていることに気付かせ、今後の学習にも繋げることができるようにする。 ★知①なりたい職業の魅力、特徴、なるまでの道のり、働いている方の思いを理解する。記	△国語 「聞いて考えを深めよう」 △国語 「情報と情報をつなげて伝えるとき」
課題設定	○世の中の職業について話し合い、課題を設定する。 ・１学期に興味をもった職業を中心に疑問をもったことや、調べたいことについて話し合う。 「プロ野球選手になるには、どんな道があるのだろう。」 「警察官になるには、どんなことを勉強したらよいのだろう。」	◇児童の思いや願いを生かした課題設定を行い、地域からなりたいもしくは興味のある職業へ考えられるようにする。 ★態①課題解決に向けて自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。発　つ ◇最終的には、「理想の自分に近づくために、今の自分にできること発表会」に繋がることを認識し、目的を色濃いものにする。	○自分が興味のある職業について、興味をもったことや調べたいことを伝え合う。
情報収集	○興味のある職業を中心に調べ学習をする。 ・キッズライフプランパーク、１３歳のハローワーク公式サイトなどを使って、「もしも…」の人生を想像し、夢の設計図を作成する。 「医者になるためには、６年間大学に通って、研修も２年間しなきゃいけない。」 「料理人になるための、専門学校がある。」 「保育士になるには、免許が必要だ。」	◇本、インターネットなど多様な方法で情報が集められるようにする。 ★思②課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。発　記 ◇情報を集める時には、子供たちそれぞれの思いや願いに沿っているか確認しながら進めることができるようにする。 ★知②　発　記 ◇各自どのような情報を収集しているのか等共有できるような時間を設けていく。 ★態②課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。発	●キッズライフプランパーク ●１３歳のハローワーク公式サイト

整理分析	○集めた情報をマンダラチャートにまとめる。 ・たくさんの夢の設計図をもとに、その職業に必要な力や資格を、書き出していく。	◇興味のある職業のみではマンダラチャートが埋まらない場合は、近い未来の目標を書いてもよいと伝える。	
まとめ 表現	○マンダラチャートから、自分が身に付けたい力をまとめる。 ・マンダラチャートから、自分が今身に付けたい力を書き出し、優先順位をつける。 「コミュニケーション能力はどの職業にもいかせそうだから、今から身に付けたいな。」 「英検３級に受かりたいな。」 「集中力を身に付けたいな。」	◇整理したことは、「マンダラチャート」でまとめるよう伝え、調べたことやインタビューして分かったことを基に必要な力をまとめることができるようにする。 ★思③地域で働く人、就きたい職業の人との関わり合いの中で自己を見つめ将来について考えようとしている。記	△国語 『鳥獣戯画』を読む。 発見。日本文化のみりょく
課題設定	○必要な力を身につけるにはどんな方法があるのか考え、課題設定をする。 ・２学期にまとめた身に付けたい力をつけるにはどうしたらよいか考える。 「自分たちだけでは、わからない。」	◇「マンダラチャート」を使い、自分に必要な力を多面的に分析しながら課題設定できるようにする。 ★態③地域で働く人、就きたい職業の人との関わり合いの中で自己を見つめ将来について考えようとしている。　発　記	
情報収集	○情報を集める。 ・調べ方を考える。 「インターネットで調べます。」 「憧れの職業で働いている人にインタビューしたい。」 「その力がある人に話を聞いたらよい。」 ・考えた方法で情報収集する。	◇本、インターネットなど多様な方法で情報が集められるようにする。 ★思②課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。　発　記	○インタビューで、自分の知りたい情報を聞き出す。
整理分析	○集めてきた情報を共有し、自分にあったものを選ぶ。 ・集めてきた情報を、同じ力をつけたい児童同士のグループで共有する。（本時） ・自分にできそうなことを考える。 「普段あまり話さない人と、１日１回は話すようにする。」 「今日から英単語を５個ずつ覚えよう。」 「あいさつ運動に参加すれば、たくさんの人と関われる。」 「保育園の見学に行けたら、小さい子とのかかわり方が、分かってくるかも。」	◇今の自分にできることとその段階を把握するために「座標軸」を活用する。 ★思③地域で働く人、就きたい職業の人との関わり合いの中で自己を見つめ将来について考えようとしている。記 ※横軸：「今出来ること」「今は難しい（将来取り組めそうな）こと」 ◇集めてきた情報から何ができるのか整理するための技法（思考ツール）を活用できるよう促す。 ★思③地域で働く人、就きたい職業の人と	○自分が集めてきた情報を伝えたり、友達が集めてきた情報を聞いたりする。

	「部活でスタメンをとれるような、持久力をつけるために	の関わり合いの中で自己を見つめ将来について考えようとしている。記 ◇自分の身近な生活と関わっていることと繋げながらできることを考えられるようにする。 ★態②自分と違う意見や考え、異なる職業のよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。発 ◇理想の自分に近づくために今の自分にも取り組めそうなことを搾れるよう、「今できること」という視点を重視し、選択できるように促す。 ★思③地域で働く人、就きたい職業の人との関わり合いの中で自己を見つめ将来について考えようとしている。発　記 ◇収集してきた情報から個人のみならずグループでもできることを考えたり、アドバイスし合ったりしていけるよう、体制を整えておく。	
まとめ 表現	○自分が取り組んだことのまとめをする。 ・活動を振り返り、自分の中に変化はあったか考える。 ・中学校では、どんなことを、がんばりたいか、中学校生活への見通しをもつ。 「英語は引き続き、がんばりたい。」 「部活で、活躍できるように、部活以外でも自主練をがんばりたい。」	◇発表会の様子を公開したり、撮影したりすることで、理想の自分に近づくために、今の自分がチャレンジしてみたことなど友達や保護者へ発信する。 ★思④手や目的に応じて、分かりやすく表現している。発　記 ◇単元を通して学習してきたことを想起しながら、学んだこと、考えたことを書けるようにする。 ★知③自分が就きたい職業についての理解は、その道のプロフェッショナルの協力によって情報を得て自分の将来について探究的に学習してきたことに気付いている。記	△国語 「今、私は、ぼくは」 △外国語 「将来の夢を伝えよう」 △学級活動 「もうすぐ中学生」 ○卒業式で自分の未来への展望を短くまとめ発表する。

		◇国語の学習との関連を図り、教科横断的な学習となるようにする。 ◇計画、準備してきた内容をクラスもしくはで見合う活動を通して、友達が実践したことや将来に対する思いなどにも気付くことができるようにする。 ◇改めて、これから先の自分の将来に大きく関わっている学習内容であること（今回出来たことは自分の将来に繋がっていくこと）と共に今後も継続性があって磨きがかけられるものであることを意識づける。	

６年生の実践記録

①実践しての成果

・地域に出てインタビューすることで、働く人々の実際の考えを聞くことができた。

・最終的に、就職という遠い未来から、中学校進学後という近い未来に材を変えることで児童の意欲が上がることが分かった。

・三中に協力をしてもらい、一つ学年が上の中学１年生にアンケートをし、結果を読み解いていく活動について、子供たちが主体的になれた。

・１３歳のハローワークのサイトで、質問をする活動によって、対外的に質問をする仕方を知ることができた。また、返事が返ってきた質問については、お礼の返信をする活動によって、お礼の仕方を学ぶことができた。

・単元の最終ゴールを、卒業式の証書授与の際の宣言にすることで、最後まで中学校を見通した活動にすることができた。

・カリマネで卒業文集やキャリアパスポートの作成を行い時間の確保ができた。

②実践しての課題

・１３歳のハローワークで質問をした際に、返事が返ってこない児童については、お礼の返事をする活動ができなかった。

・証書授与の宣言を考える際に、１学期から積み重ねが活用できない児童もいた。

活動の流れ　全３５時間

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

小単元名「防災について知ろう」（１２時間）

【小単元の目標】
災害や防災について関心を持ち、自身のイメージを固める。

【課題設定】
○避難訓練を振り返り、避難の方法や必要性について学ぶ。
【情報収集】
○過去に起こった地震について調べ、当時のニュースを見たり関係機関が出している教材等を見ていき、自身のイメージを固めていく。
【整理・分析】
○ロイロノート
○スライド
【まとめ・表現】
○災害は身近に起こるのだという事や、「怖い」ということを自分の言葉で表現する。

小単元名「命を守るための行動を知ろう」（１５時間）

【小単元の目標】
防災館や調べ学習での学習を通して命を守るための行動を知る。

【課題設定】
○防災館を見学し、災害に対してどのような備えをすることができるか考える。
【情報収集】
○起震車での震災体験や災害ダイヤル「１１９」，地震直後を再現したモデルルーム等から、イメージを具体的に形にしていく。
【整理・分析】
○感想や意見を出し合い、周りと比べる
○防災館を見学し、得たことを整理する。
【まとめ・表現】
○防災館で学んだことや体験したことを自分の言葉で表現する。

小単元名「自分が学んできたことについてまとめよう」（８時間）

【小単元の目標】
マイタイムラインや防災パンフレットに学んできたことをまとめる。

【課題設定】
○家庭や学校の教室で可能な地震対策を調べる。
○防災について個人的に深める活動を行う。
【情報収集】
○地震災害にあっても命を守ることができるように、具体的な行動をマイ・タイムラインに記入する。
【整理・分析】
○感想や意見を出し合い、周りと比べる
【まとめ・表現】
○今まで学んできたことをもとに、マイ・タイムラインや防災館での体験を盛り込んだ自分だけの防災マニュアルを作成し、発表する。

【地域人材・関係機関】
・練馬区立防災学習センター

単元名

単元の指導計画・評価計画（３５時間）

探究の過程	○主な学習活動 ・学習内容 「　」予想される児童の反応	◇指導上の留意点（配慮・手立て） ★評価　評価方法 発発言分析　記記述分析 つつぶやき分析　行行動観察　作作品分析	○言語活動 △活用する力 （SDGｓ、関連教科等） ●活用する資料、外部人材
課題設定	○オリエンテーション ・避難訓練を振り返りながら、目的をはっきりさせる。 ・避難訓練を振り返り、避難の方法や必要性について学ぶ。 ・防災について関心を持ち、考えるきっかけを持つ。	◇単元の大きな流れやこれからの見通しを教材を通して児童に説明する。 ★避難訓練を通して感じた防災に対する関心を基に考えるきっかけを持つ。（課題の設定） ★避難訓練の目的や意義について具体的に理解することができた。（概念的な知識）	
情報収集	○過去に起こった地震について調べ、当時のニュースを見たり関係機関が出している教材等を見ていき、自身のイメージを固めていく。 「命を守るためにどんなことが必要なのかな。災害から身を守る方法も知りたいな」 「防災館に行って、体験や見学をすることで自身のイメージを結びつけたいな」 「身近な防災情報を集めたり、学校内の防災設備を確認してみたい」	◇事前に情報を精査しておき、児童に分かりやすい情報を提示できるようにする。 ★災害について漠然としたイメージを固めることができた。（情報収集）つ　行	●各報道機関が公開しているニュース映像やドキュメンタリー，当時の新聞など ○話し合い活動をする。
整理分析	○防災グッズを実際に触ってみたり、学習カードやクロムブックを使ったりして災害の危険性を認識する。 ○VR 動画を使ってシミュレーションをすることで、実際に起こったときにどのように逃げればよいのかを理解する。	◇振り返りがしやすいように、写真やパンフレットなどの具体物を用いて視覚的に提示する。 ★防災グッズの存在を知り、何が必要か取捨選択することができた。行	●自治体がインターネットにあげている VR 形式の動画

		★災害で起こりうる危険を予測して、正しい行動を選ぶことができた。 （整理・分析）行	
まとめ 表現	○災害がいつ起こるか分からない身近なものであることや、「怖い」ものであることを自分の言葉で表現する。 ・学校の各所から校庭に避難するまでを、実際にシミュレートしてみる。 ・シミュレーションを通して知識を経験と結びつける ・シンキングツールを使い、自分の考えを書く。 ・災害が実際に起きた時、どうすればよいかという事や、児童の言葉から災害に対する興味関心を拾い、次の時間につなげる。	◇シミュレーションに用いる教具や具体物は文章を簡潔にし、イラストを用いて視覚的に分かりやすくする。 ★災害がいつ起こるか分からない身近なものであることや、「怖い」ものであることを自分の言葉で表現できた。 （まとめ・表現）発　記	
課題設定	○体験的な活動ができたり、自分たちの学習を発展させることができる方法はないか考える。 ・防災館や市役所にある設備や、どんなことができるかについて調べる。	◇各自どのような情報を収集したか共有する時間を作る。 ★インターネットやパンフレットを使って自分の興味関心を結びつけることができる施設を調べることで見通しを持つことができた。（課題設定）	●池袋、鴻巣、さいたま市、練馬区などの防災館 HP ○話し合い活動をする。
情報収集	○防災館に行く計画を立てよう。 ・近隣の防災館について体験学習の内容やアクセスの良さについて調べる。 ・防災館までの時程やバスのダイヤなどを調べる。 ・児童と教師で話し合い、どの防災館に行くかを決定する。 ○防災館を見学し、起震車での震災体験や災害ダイヤル「１１９」や地震直後を再現したモデルルーム等から、イメージを具体的に形にしていく。	◇防災館の職員と事前の打ち合わせをし、起震車やプログラムにおいて合理的配慮を行う。 ★防災館の情報を手段を使い分けながら多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。（情報収集） ★自分と違う意見や考えのよさを認め合い、協働して学ぶ姿勢を見せている。（主体性・協働性）	●東京都練馬区立防災学習センター ○話し合い活動をする。
整理分析	○学校で学んだことを家庭に持ち帰り、防災対策をする。 ・取り組んだことを整理する。 ・撮影してロイロノートに共有する。	★課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。（整理・分析）	

まとめ 表現	○防災館で学んだことや体験したことを振り返ってまとめる。 ・	★防災館での体験、インターネットでの情報収集、家庭内での話し合いを経て、分かったことを自分の言葉でまとめている。（まとめ・表現）	○感想や意見を出し合い、比べる。
課題設定	○防災について個人的に深める活動を行う。 ○災害時に迅速な行動をとるためにできることは何か考える。	★防災館での体験を通して感じた関心をもとに解決の見通しを持つことができた。（課題設定）	
情報収集	○家庭や学校の教室で可能な地震対策を調べる。 ・学校体験など調査をする。		
整理分析	○地震災害にあっても命を守ることができるように、具体的な行動をマイ・タイムラインに記入する。 ・災害時にどのような行動をとればいいのかまとめる。 ・発表の仕方を考える。	◇実態別にシートの記入内容を変えて難易度を変える。	●各自治体や国がインターネット上で公開しているマイ・タイムラインの映像資料やテンプレート ○感想や意見を出し合い、周りと比べる
まとめ 表現	○今まで学んできたことをもとに、マイ・タイムラインや防災館での体験を盛り込んだ自分だけの防災マニュアルを作成し、発表する。	◇発表の仕方のフォーマットを作る。	

メイプル学級の実践記録

① 本年度の取り組み

○災害について学び、自分の命を守るためにはどのような方法がとれるか、メディアやインターネットから情報収集を行い、自分なりにまとめる。

○防災館を見学し、災害に対してどのような備えをすることができるか考えた。

○マイ・タイムラインや防災館での体験を盛り込んだ自分だけの防災マニュアルを作成し、発表する学習を行った。

② 実践しての成果

○振り返りでは、テンプレートを用意したことによりアウトプットすることができた。

○防災館を見学することによって、イメージしていたものと実際の体験をつなぐことができた。

○ゲームを取り入れた防災についての活動を行うことで児童の意欲関心を引き出すことができた。

③ 実践しての課題

○受動的な活動になってしまったので能動的に活動できるようもっと工夫するべきだった。

○週に１回の活動だったので子供の意欲やモチベーションを保たせるのが難しかった。

○主体的な活動が難しい子に合わせるフォーマットの準備や、支援の体制などが不充分だった。

④ 来年度の向けて

○来年度以降は、活動時間を増やすことで子供のモチベーションの維持を狙っていきたい。具体物を用いて行う授業は一様に意欲が高かったので、来年度以降も積極的に行っていきたい。
また、防災学習センターにも行き、子供達に体験的な活動を行わせることができた。次年度は回数を増やすなどして積極的に、子供が楽しいと思えるような活動を行っていきたい。

C 考察とまとめ

子供たちの思い・教師の願い・教材観(ヒト・モノ・コトのよさ)を勘案しながら授業を組み立てていくことは、子供たちや教師を夢中にすることとなる。本校の子供たちのビジョンとして、①行動や実践から始まり、自分で課題をもつ子、②自分の課題に夢中になって解決に向かう子、③次の(生活、総合の)授業いつやるの？という子を目指しながら授業を行った。

①については、その場に行って気付きや疑問を見付けるつまり本物に触れることは子供たちを本気にさせることに繋がっていた。よりよい表現活動をするためには、体験活動の充実が欠かせない。子供たちにとっての実体験は、机上で勉強しているだけでは感じ取ることのできない人とのつながり、周囲の様子など多くの気付きや疑問を生み出すことが分かった。

②については、課題の解決の見通しとしてどのように授業をつくっていくのか（計画)、解決するために必要な知識は何なのか、得た知識をどのように活用・発揮して解決していくのか、子供たちと同じ目線になって教師も楽しみながら授業をすることができた。教師がファシリテーターとして子供たちの思いを汲み授業をデザインしていくことで、子供たちの内なる心に火をつけ、「もっとやってみたい！」を掻き立て夢中になっていた。また、その中で子供たちへの価値付け・方向付け・意味付けは大きな効用を齎していた。１回１回の授業で、目の前の子供たちの様子を記録し、教師が問い返したり、手立てを施したりすることの大切さも感じた。

③については、授業の積み重ねが功を奏すると感じた。「楽しい」と思える事を考えると、失敗からの成功体験や自分が好きな事をするとき、新しい事にチャレンジするとき等が挙げられる。生活科・総合的な学習の時間の授業は１時間で成り立つものではなく、１時間１時間の積み重ねによって構築される。単元という長い道のりの中で、この瞬間が楽しかった、やっていく中で楽しくなってきた、やってきて(最後に)楽しかった等子供たちによっていつ「楽しい」と感じるのかは様々である。日々の授業を子供たちと共に創ることで、自然と「いつやるの？」という声が聞こえてきた。

これから求められる力は論理的に考え、他者に分かりやすく表現する力などの汎用的能力である。従来のキャッチアップの時代から今はイノベーションの時代へと変化した。それぞれの手元に正確で大量の情報が瞬時に届く社会となった。一つ一つの事実的知識を実際の生活場面や問題場面で活用できることが求められるようになっている。そう考えると、生活科・総合的な学習の時間は、今の時代において非常に重要性が高い教科と言える。

D 次年度に向けて

本年度は、子供たち・教師が楽しい授業づくりをするため子供たちの思いや願いを中心に据え、教師の願いや教材観を三位一体として研究を進めてきた。昨年度よりも生活科・総合的な学習の時間の授業づくりや評価規準など知識的な部分が増えてきたように感じた。成果としては、授業を発想・構想しながら実践を重ねて年間指導計画が作成できたことである。また、昨年度に作成した単元配列表を見ながら教科横断という視点でも改善・見直しを図ることができた。年間指導計画が教師側の仕事の段取りであるのに対し、単元配列表は子供側の学びの段取りと言い換えることができる。このことから、次年度は学年ごとに材の意義を踏まえた上で今年度作成したものをベースにしながら各クラスの児童の実態に応じた様々な過程で授業づくりを進めていけるとよい。

E 参考文献

・田村学.授業を磨く.東洋館出版社.2015,53p
・松村　英治. 学びに向かって突き進む！１年生を育てる.東洋館出版社.2018,79p
・文部科学省，小学校学習指導要領（平成二十九年度告示）解説　生活科編.東洋館出版社.2017,p8
・文部科学省，小学校学習指導要領（平成二十九年度告示）解説　総合的な学習の時間編.東洋館出版社.2017,p8

今年度の SAKAE ロードマップ

４月　　学校課題研修２年目の副題とビジョンの設定、今年度の研究組織について

５月　　指導案の型（A4）を示す　評価規準の作成

６月　　研究推進部にて夏季研修の内容の話し合い及び３年生の指導案検討

７月　　３年生校内研修　学年ごとに夏季研修の計画立て

８月　　夏季研修：ストーリーの作成

９月　　研究推進部にて指導案の型の再検討

１０月　指導案の型をレベルアップ

１１月　単元の指導計画と評価規準の作成、生活・総合アンケート調査

１２月　３学期の生活・総合や支援課訪問に向けての準備

１月　　支援課訪問（生活科・総合的な学習の時間の授業）
研究推進部にて１・５年生の指導案検討

２月　　１・５年生の校内研修、単元配列表の見直し

３月　　次年度に向けて生活・総合アンケートや全国学力テストの分析から育成を目指す児童の資質能力を決定